

一般廃棄物処理基本計画

【総括版】

令和2年3月

玉	名	市
玉	東	町
南	関	町
長	洲	町
和	水	町

有明広域行政事務組合

目 次

第1章 計画の位置付け	1
第1節 計画の位置付け.....	1
第2節 計画目標年度.....	2
第3節 計画対象廃棄物.....	3
第4節 計画の進行管理.....	5
第2章 廃棄物処理の現状と課題	6
第1節 ごみの分別区分に関する現状.....	6
1. 本計画におけるごみの種類の定義	6
2. 計画処理対象区域	6
3. 分別収集区分等に関する状況	6
第2節 廃棄物処理の流れ.....	12
第3節 ごみ排出量の現状.....	14
1. ごみ排出量の実績	14
2. ごみの減量及び再資源化に関する施策概要	22
3. ごみの減量化・再資源化のまとめ	24
第4節 ごみ処理・処分の現状.....	25
1. ごみ処理施設の概要	25
2. 資源化施設の概要	27
3. 最終処分場施設の概要	28
第5節 事務内容及びごみ処理経費.....	29
1. 共同処理する事務	29
2. ごみ処理経費	31
第6節 上位計画.....	32
1. 循環型社会形成推進基本計画	32
2. 熊本県廃棄物処理計画	34
第7節 課題の整理.....	35
第3章 ごみ処理基本計画	36
第1節 基本理念.....	36
第2節 ごみ発生量及び処理量の見込み.....	37
1. 将来推計の方法	37
2. 減量化及び資源化に関する目標値の設定	38

第3節	ごみの減量化・資源化に向けた基本方針.....	40
第4節	ごみの排出抑制のための方策に関する事項.....	41
1.	ごみ発生抑制のための基本方針	41
2.	ごみ排出抑制・再資源化施策	42
第5節	ごみ処理計画.....	45
1.	基本方針.....	45
2.	収集・運搬計画	45
3.	中間処理計画	46
4.	最終処分計画	48
第6節	不法投棄防止対策.....	49
第7節	温室効果ガス削減対策.....	50
第8節	適正処理困難物への対応.....	50
第4章	生活排水処理の実態.....	51
第1節	生活排水処理の体系.....	51
第2節	生活排水処理の状況.....	54
1.	生活排水処理の状況	54
2.	し尿及び浄化槽汚泥の排出状況	59
3.	し尿及び浄化槽汚泥の排出原単位の推移	60
4.	し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬に関する状況	61
5.	中間処理の状況	61
第3節	生活排水処理・処分の現状.....	63
第4節	生活排水処理の課題.....	65
第5章	生活排水処理基本計画.....	66
第1節	基本理念.....	66
第2節	し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み.....	68
1.	生活排水処理人口の見込み	68
第3節	生活排水処理の目標.....	74
第4節	し尿及び浄化槽汚泥の処理計画.....	75
1.	収集・運搬計画	75
2.	中間処理・最終処分計画	75
第5節	住民に対する広報・啓発活動計画.....	79
1.	住民・事業者に対する啓発活動	79
2.	地域に関する諸計画との関係	79

第6章 地域特性	80
第1節 自然環境	80
1. 設立の経緯及び範囲	80
2. 地域特性	81
3. 気象概要	81
第2節 社会環境の把握	83
1. 人口及び世帯数	83
2. 年齢別人口	84
3. 産業概要	89
第3節 土地利用状況	94

【資料編】

1. 将来人口の予測	資料編 1
2. ごみ排出量の予測	資料編 7
3. 生活排水処理人口の予測	資料編 10

第 1 章 計画の位置付け

第 1 節 計画の位置付け

本計画の策定は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年法律第 137 号）の第 6 条第 1 項において義務付けられています。

有明広域行政事務組合（以下「本組合」という。）では、上記の法律に基づいて長期的・総合的な視点から排出される一般廃棄物を適正に処理するための施策や事業に対する基本方針を示す「一般廃棄物処理基本計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

なお、本計画は図 1-1 に示すように、構成市町の総合計画、熊本県廃棄物処理計画、くまもと生活排水処理構想 2016 などの上位計画を踏まえ計画を立案しています。

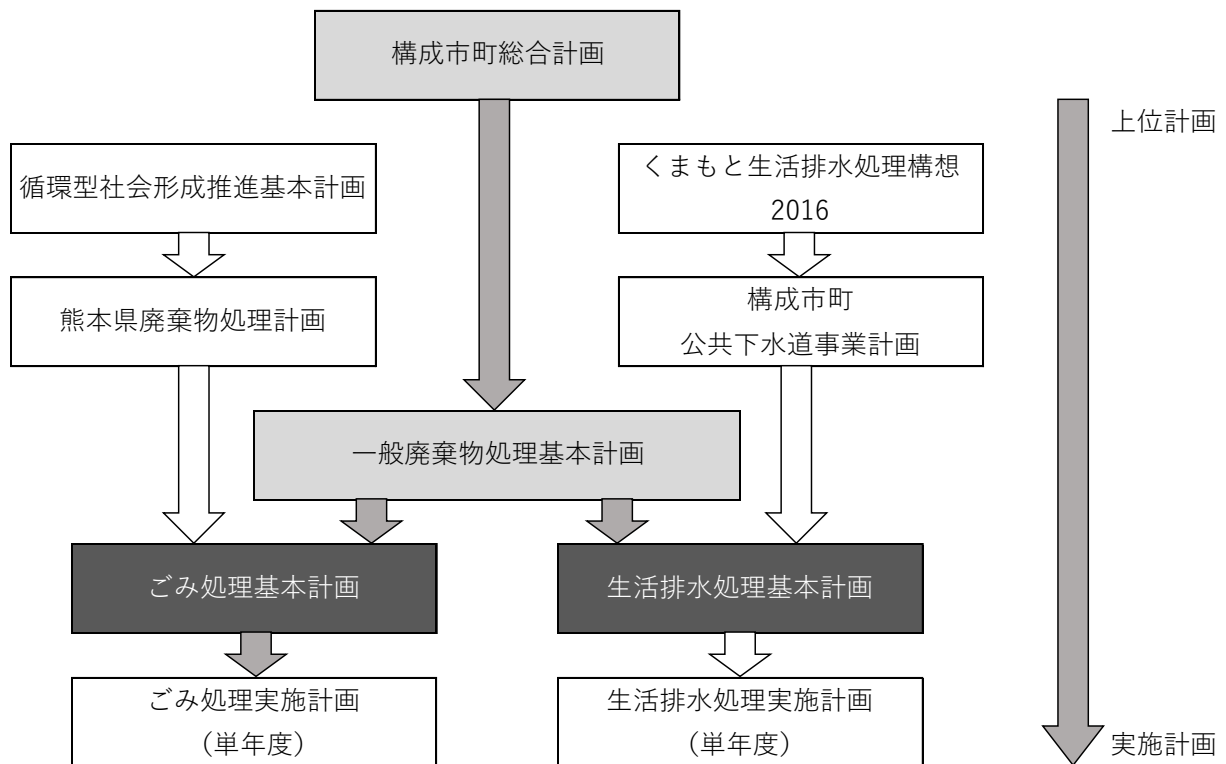


図 1-1 本計画の位置付け

第2節 計画目標年度

本計画は長期的視点に立脚した検討が必要であることから、計画目標年度は15年後の令和15年度として設定し、今後15年間のごみ処理に関する基本方針を示すものとします。

本計画については、概ね5年毎の改訂のほか、各種関係法令及び計画策定の前提条件に大きな変更があった場合に見直しを行うものとします。

計画対象地域：本組合全域

計画期間：令和元年度～令和15年度（15年間）

計画目標年度：令和15年度

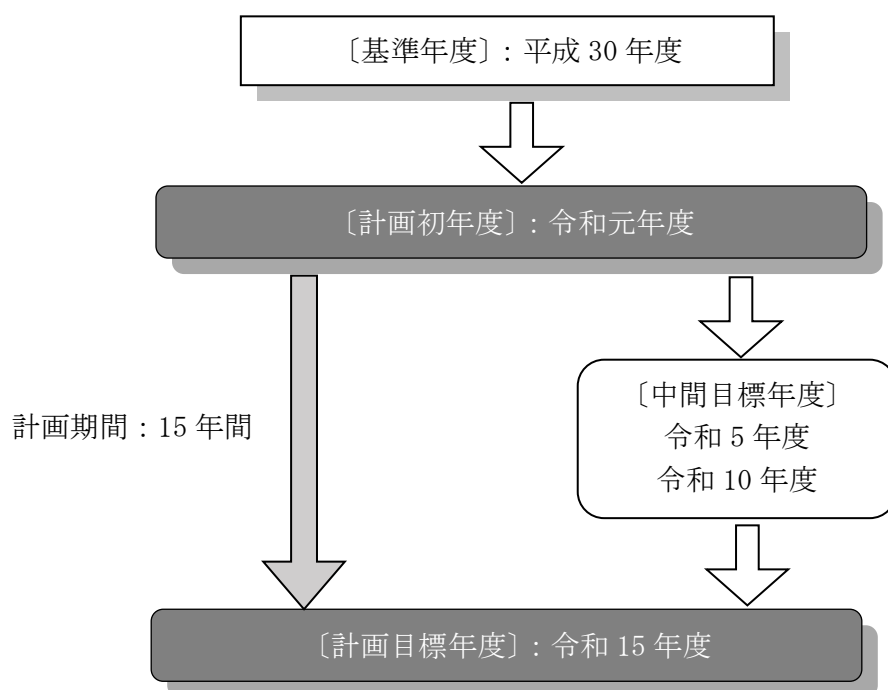


図1-2 本計画の期間

第3節 計画対象廃棄物

本計画の対象廃棄物は図 1-3 に示すとおり、一般廃棄物のうち固形状のものは、家庭や事業所から排出されるごみとし、液状のものは、し尿及び浄化槽汚泥とします。なお、本計画の対象外廃棄物は表 1-1 に示すとおりとします。

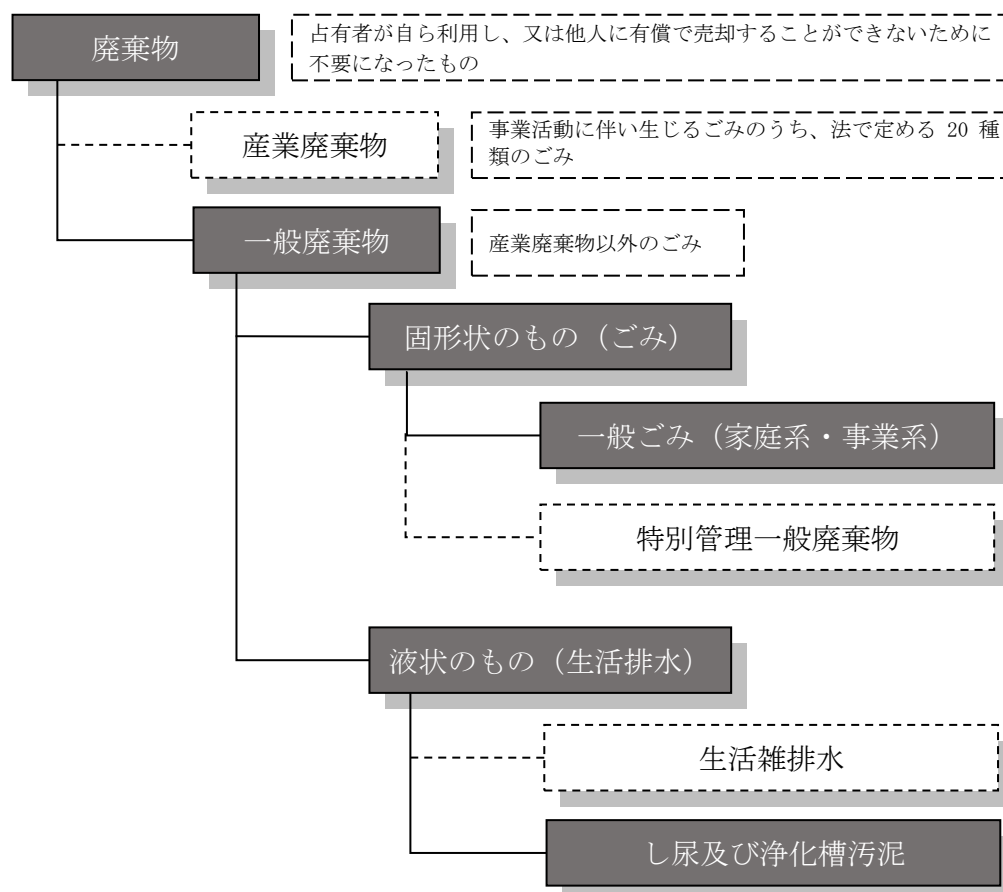


図 1-3 計画対象廃棄物

表 1-1 計画対象外廃棄物の取り扱い

区分	処理・処分先	
家電リサイクル対象物	取り扱い小売店などの引き取り	
	テレビ（ブラウン管、液晶、プラズマテレビ）、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機、家庭用エアコン、室外機等	
パソコンリサイクル対象物	メーカーでの引き取り	
	デスクトップパソコン本体、ノートパソコン、液晶ディスプレイ、液晶ディスプレイ一体型パソコン、CRTディスプレイ、CRTディスプレイ一体型パソコン、デスクトップパソコン本体＋CRTディスプレイ、デスクトップパソコン＋液晶ディスプレイ、標準付属品	
収集・処理困難物	販売店、専門業者、医療機関に依頼又は相談	
	玉名市	岩、医療系廃棄物、FRP強化プラスチック、化学薬品、ガスボンベ（LPG）、瓦、金庫（耐火金庫）、コンクリート（製品・屑）、砂利、土砂、焼却灰、スレート、タイヤ、タイヤ、廃油、農機具類、農業用ビニール、農薬容器、レンガ、フロンガス使用の家庭用電化製品など
	玉東町	消火器、塗料、ガスボンベ（LPG）、オイル、タイヤ、バイク、薬品、劇物、農薬、農機具類、農業用ビニール、マルチ、農薬の容器、肥料袋、金庫、ブロック、コンクリート
	南関町	ガスボンベ、未使用の花火、石油や塗料が入ったままの缶や容器類、劇薬・農薬の入ったびんや容器類及び使用後のびんや容器類、化学薬品、コンクリート、瓦、スレート、タイヤ、農業用ビニール、グランドピアノ、動物の死体（直接搬入のみ可）、感染性廃棄物（注射針等）など
	長洲町	ガスボンベ、石油や塗料が入ったままの缶や容器類、劇薬・農薬の入ったびんや容器類及び使用後のびんや容器類、化学薬品、コンクリート、スレート、タイヤ、瓦、FRP等
	和水町	LPガスボンベ、石油や塗料が入ったままの缶やポリ容器、劇薬、農薬の入った容器類及び使用後の容器類、化学薬品、コンクリート（屑・製品）、瓦、タイヤ、耐火金庫等

出典：構成市町のごみカレンダー

第4節 計画の進行管理

本計画では、Plan（計画の策定）、Do（施策の実行）、Check（評価）、Act（見直し）を行うPDCAサイクルの概念を導入し、計画の進行管理を行うものとします。

計画の進行管理の内容は、表 1-2 に示すとおりとし、PDCA サイクルのイメージは図 1-4 に示すとおりとします。

表 1-2 計画の進行管理

項 目	内 容
Plan (計画の策定)	本計画の「目標」や「施策」などを広く住民や事業者に周知する。
Do (施策の実行)	本計画に基づいた実施計画を作成し、実行する。
Check (評価)	計画の進行状況を客観的に評価する。
Act (見直し)	単年度単位の課題事項は、その都度改善する。 本計画の前提条件に大きな変動があった場合は、本計画の見直しを行う。

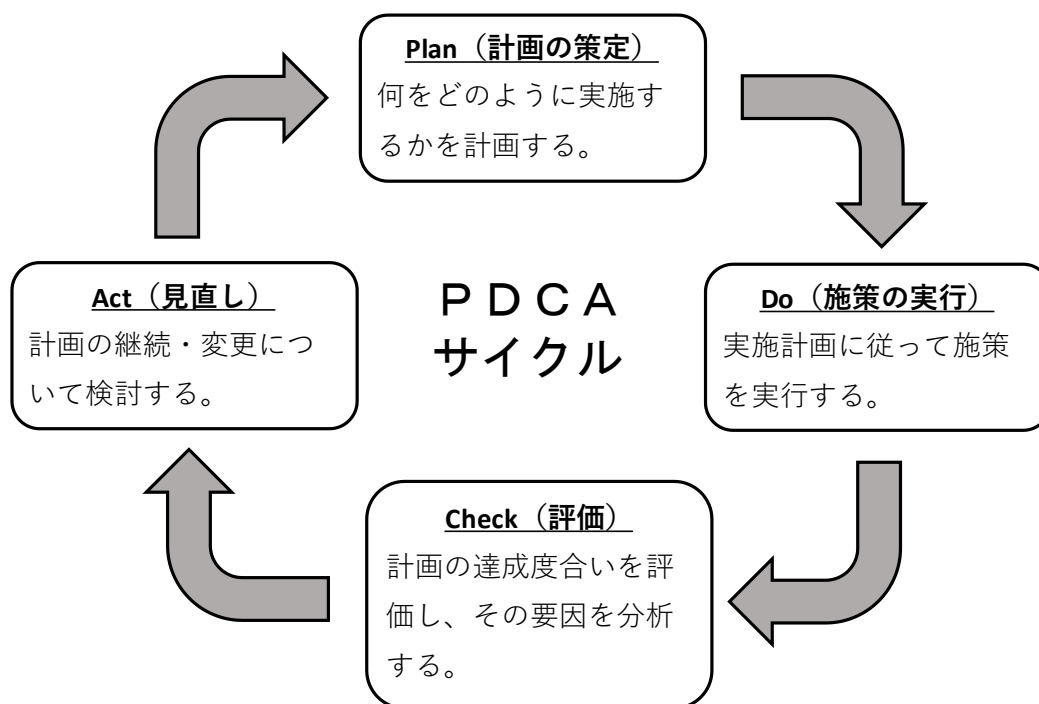


図 1-4 PDCA サイクルのイメージ

第2章 廃棄物処理の現状と課題

第1節 ごみの分別区分に関する現状

1. 本計画におけるごみの種類の定義

本計画では、「家庭系ごみ」と「事業系ごみ」の2種類の区分を用いて、ごみ排出状況の実態を整理しています。

「家庭系ごみ」は、一般家庭から排出されたもので、ごみ集積所から収集したごみと定義し、「事業系ごみ」は、個人又は事業者が直接本組合の処理施設へ搬入するごみや、事業所が収集運搬の許可を持つ収集業者に委託して本組合の処理施設へ搬入するごみとして定義しています。

2. 計画処理対象区域

本計画における計画処理対象区域は、本組合を構成する玉名市、玉東町、南関町、長洲町、和水町の1市4町全域とします。

3. 分別収集区分等に関する状況

本組合を構成する市町では、表2-1-1～2に示す分別区分で、各地域から排出されるごみを収集しています。

あわせて、構成市町別の収集頻度は表2-2-1～2に、排出方法は表2-3-1～2に示すとおりです。

表 2-1-1 分別収集区分（東部環境センター管轄区域）

現状分別区分		東部環境センター管轄区域			
		玉名市			玉東町
		玉名地区	横島地区	天水地区	
もえるごみ		●	●	●	●
リサイクルごみ	金属類	●	●	●	●
燃えないごみ	ガラス類				
粗大ごみ		●	●	●	●
資源ごみ	缶類	●	●	●	—
	びん類	●	●	●	—
	ペットボトル	●	●	●	—
	プラスチック類	●	●	●	—
	新聞・チラシ	●	●	●	—
	ダンボール	●	●	●	—
	紙パック	●	●	●	—
	その他紙類	●	●	●	—
	布類	●	●	●	—
有害ごみ	乾電池	●	●	●	—
	蛍光管・体温計	●	●	●	—
	バッテリー	—	—	—	—
資源ごみ集団回収	無色透明びん	●	—	●	●
	茶色びん	●	—	●	●
	その他のびん	●	—	●	●
	生きびん	●	—	●	●
	スチール缶	●	—	●	●
	アルミ缶	●	—	●	●
	その他の缶	●	—	●	●
	スプレー缶	—	—	—	●
	新聞・チラシ	●	—	●	●
	雑誌	—	—	—	●
	ダンボール	●	—	●	●
	紙パック	●	—	●	●
	その他紙類	●	—	●	●
	布類・古布	●	—	●	●
	ペットボトル	●	—	●	●
	プラスチック類	●	—	●	●
	電池	●	—	●	●
	蛍光管・体温計	●	—	●	●

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

表 2-1-2 分別収集区分（クリーンパークファイブ管轄区域）

現状分別区分		クリーンパークファイブ管轄区域			
		玉名市	南関町	長洲町	和水町
		岱明地区			
もえるごみ		●	●	●	●
リサイクルごみ	金属類	●	●	●	●
	ガラス類・陶器類	●	●	●	●
	缶類	資源ごみと して収集	●	●	●
	びん類		●	●	●
	ペットボトル		●	●	●
粗大ごみ		●	●	●	●
資源ごみ	缶類	●	リサイクルごみとして収集		
	びん類	●			
	ペットボトル	●			
	新聞・チラシ	●	●	●	●
	ダンボール	●	●	●	●
	紙パック	●	●	●	●
	その他紙類	●	●	●	●
	布類	●	●	●	●
有害ごみ	乾電池	●	●	●	●
	蛍光管・体温計	●	●	●	●
	バッテリー	●	●	●	●
資源物ごみ 集団収集	無色透明びん	●	—	—	—
	茶色びん	●	—	—	—
	その他のびん	●	—	—	—
	生きびん	●	—	—	—
	スチール缶	●	—	—	—
	アルミ缶	●	—	—	—
	その他の缶	●	—	—	—
	スプレー缶	—	—	—	—
	新聞・チラシ	●	—	—	—
	雑誌	—	—	—	—
	ダンボール	●	—	—	—
	紙パック	●	—	—	—
	その他紙類	●	—	—	—
	布類・古布	●	—	—	—
	ペットボトル	●	—	—	—
	プラスチック類	●	—	—	—
	電池	●	—	—	—
	蛍光管・体温計	●	—	—	—

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

表 2-2-1 分別区域別の収集頻度（東部環境センター管轄区域）

収集頻度		東部環境センター管轄区域			
		玉名市			玉東町
		玉名地区	横島地区	天水地区	
もえるごみ		週2回	週2回	週2回	週2回
リサイクルごみ	金属類	月1回	月1回	月1回	月1回
燃えないごみ	ガラス類				
粗大ごみ		年6回	年6回	年6回	年7回
資源ごみ	缶類	月2回	月2回	月2回	—
	ペットボトル				—
	プラスチック類				—
	びん類	月1回	月1回	月1回	—
	新聞・チラシ				—
	ダンボール				—
	紙パック				—
	その他紙類				—
	布類				—
有害ごみ	乾電池	年6回	年6回	年6回	—
	蛍光灯・体温計				
	バッテリー	—	—	—	
資源物ごみ 集団収集	無色透明びん	団体及び 地区の回収	団体及び 地区の回収	団体及び 地区の回収	月1回
	茶色びん				
	その他のびん				
	生きびん				
	スチール缶				
	アルミ缶				
	その他の缶				
	スプレー缶				
	新聞・チラシ				
	雑誌				
	ダンボール				
	紙パック				
	その他紙類				
	布類・古布				
	ペットボトル				
	プラスチック類				
	電池	—	—	—	
	蛍光灯・体温計	—	—	—	

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

表 2-2-2 分別区域別の収集頻度（クリーンパークファイブ管轄区域）

収集頻度		クリーンパークファイブ管轄区域			
		玉名市	南関町	長洲町	和水町
		岱明地区			
もえるごみ		週2回	週2回	週2回	週2回
リサイクルごみ	金属類	月1回	月1回	月1回	月1回
	ガラス類・陶器類				
	缶類	資源ごみとして収集	月2回	月2回	月2回
	びん類				
粗大ごみ		年6回	年4回	年12回	年5回
資源ごみ	缶類	月2回	リサイクルごみとして収集		
	びん類				
	ペットボトル				
	新聞・チラシ	月1回	月1回	月2回	月1回
	ダンボール				
	紙パック				
	その他紙類				
	布類				
有害ごみ	乾電池	年6回	年6回	年12回	年6回
	蛍光管・体温計				
	バッテリー				
資源物ごみ 集団収集	無色透明びん	団体及び 地区の回収	—	—	—
	茶色びん		—	—	—
	その他のびん		—	—	—
	生きびん		—	—	—
	スチール缶		—	—	—
	アルミ缶		—	—	—
	その他の缶		—	—	—
	スプレー缶		—	—	—
	新聞・チラシ		—	—	—
	雑誌		—	—	—
	ダンボール		—	—	—
	紙パック		—	—	—
	その他紙類		—	—	—
	布類・古布		—	—	—
	ペットボトル		—	—	—
	プラスチック類		—	—	—
	電池	—	—	—	—
	蛍光管・体温計	—	—	—	—

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

表 2-3-1 排出方法（東部環境センター管轄区域）

収集頻度	東部環境センター管轄区域			
	玉名市			玉東町
	玉名地区	横島地区	天水地区	
もえるごみ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
リサイクル・燃えないごみ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
粗大ごみ	粗大ごみシール	粗大ごみシール	粗大ごみシール	粗大ごみシール
資源ごみ	指定袋	指定袋	指定袋	－
有害ごみ	指定袋	指定袋	指定袋	コンテナ
資源ごみ集団回収	コンテナ	コンテナ	コンテナ	コンテナ

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

表 2-3-2 排出方法（クリーンパークファイブ管轄区域）

収集頻度	クリーンパークファイブ管轄区域			
	玉名市	南関町	長洲町	和水町
	岱明地区			
もえるごみ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
リサイクル・燃えないごみ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
粗大ごみ	粗大ごみシール	粗大ごみシール	粗大ごみシール	粗大ごみシール
資源ごみ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
有害ごみ	指定袋	指定袋又は透明袋	指定袋又は透明袋	指定袋又は透明袋
資源ごみ集団回収	コンテナ	－	－	－

※玉名市の資源ごみ集団回収については、独自収集分となりますが、ごみ出しカレンダーに提示されているため、記載しています。

第2節 廃棄物処理の流れ

本組合を構成する市町の廃棄物の処理の流れは、図 2-1-1～4 示すとおりです。

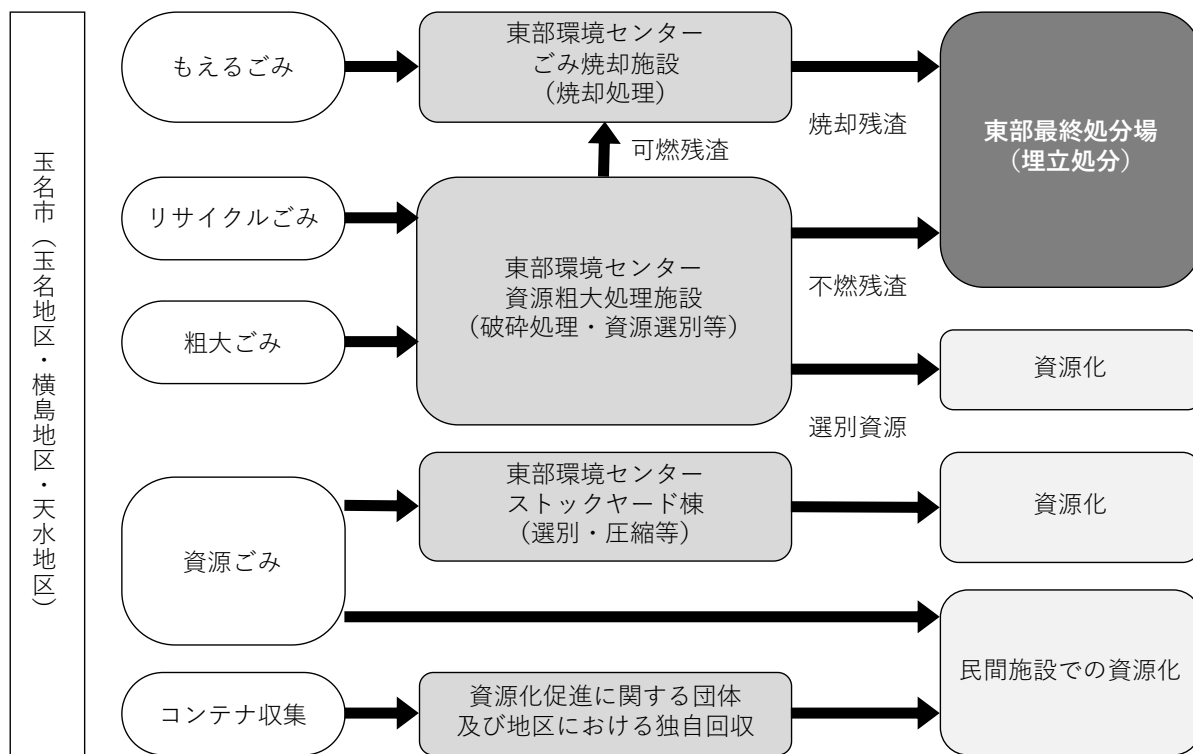


図 2-1-1 玉名市のごみ処理・処分の流れ（東部環境センター管轄区域）

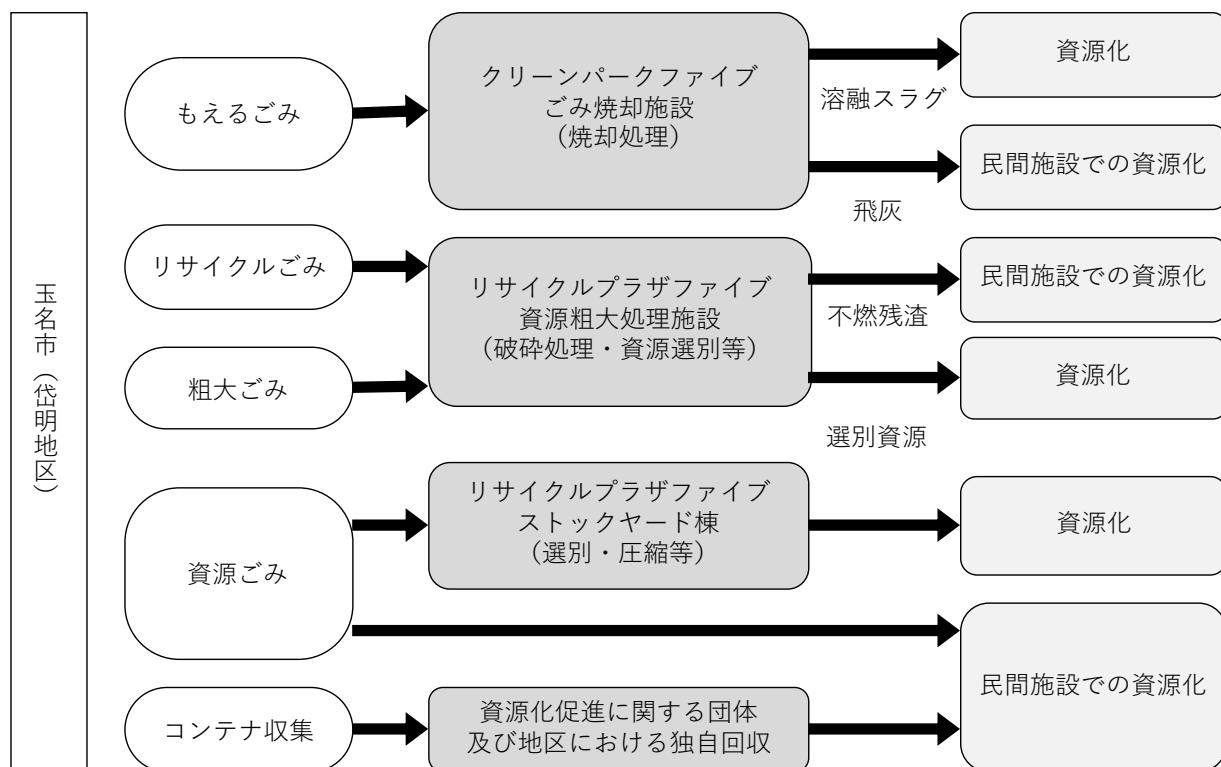


図 2-1-2 玉名市のごみ処理・処分の流れ（クリーンパークファイブ管轄区域）

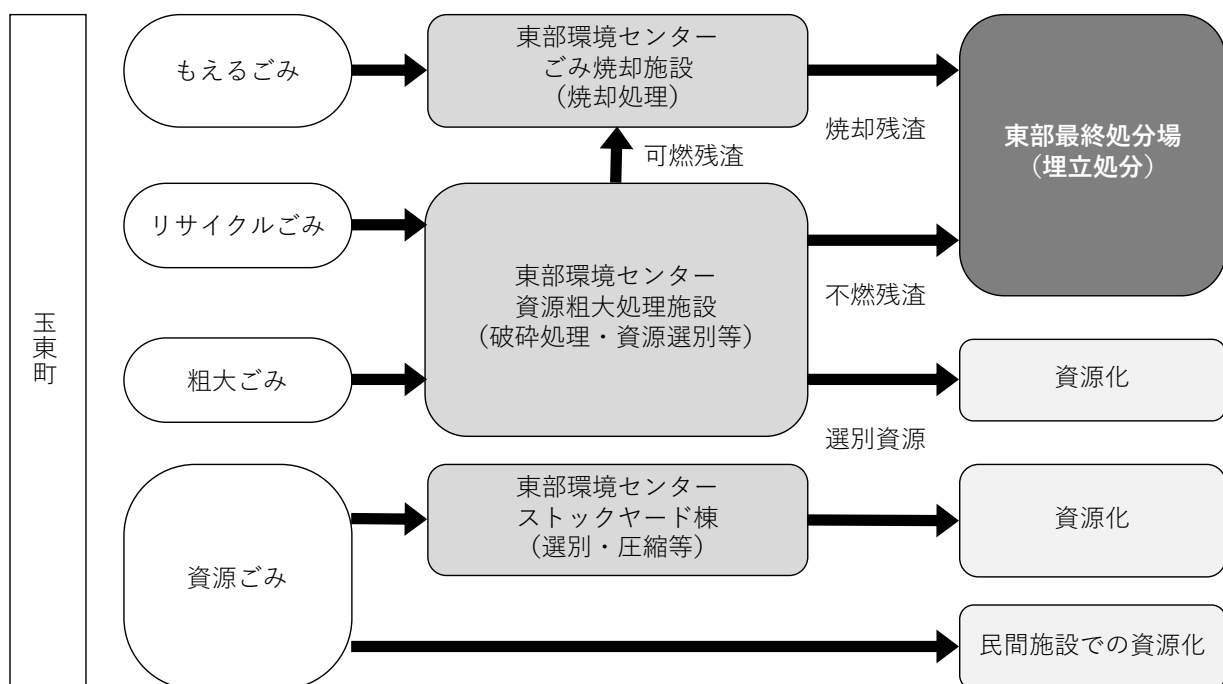


図 2-1-3 玉東町のごみ処理・処分の流れ

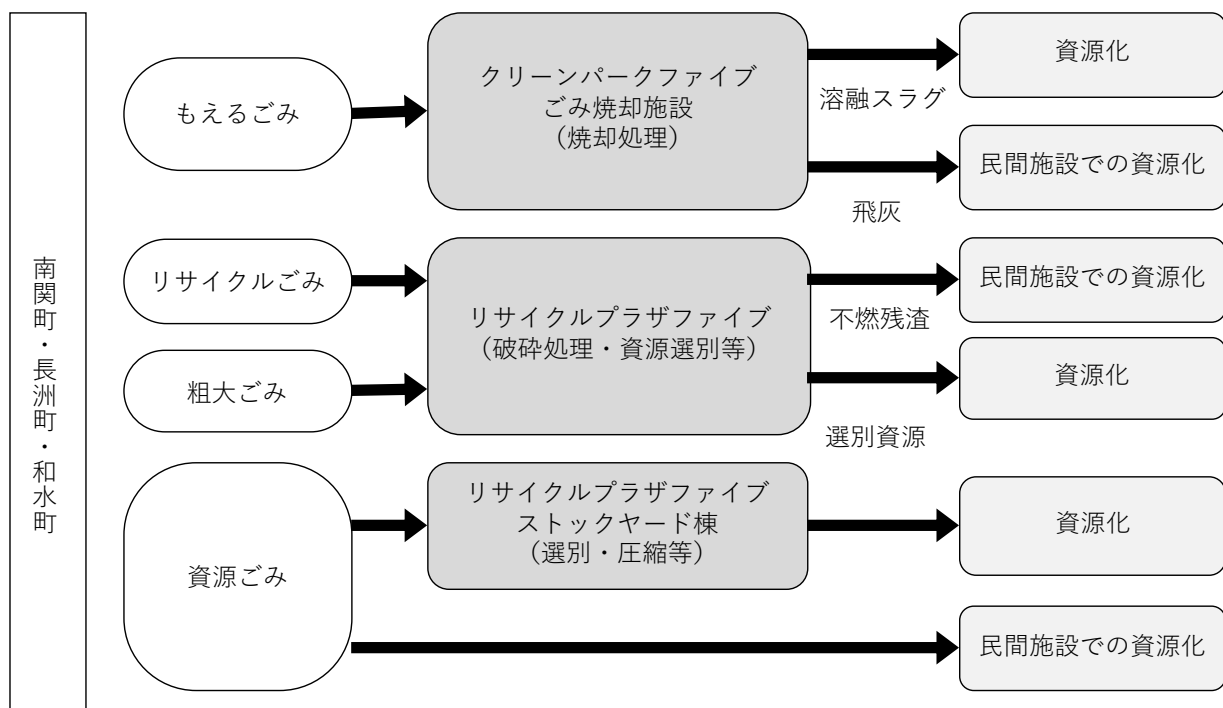


図 2-1-4 南関町・長洲町・和水町のごみ処理・処分の流れ

第3節 ごみ排出量の現状

1. ごみ排出量の実績

(1) 総ごみ排出量

本組合管内全体の総ごみ排出量の推移を図2-2、表2-4に示しました。

総ごみ排出量の推移は、緩やかな減少傾向となっています。

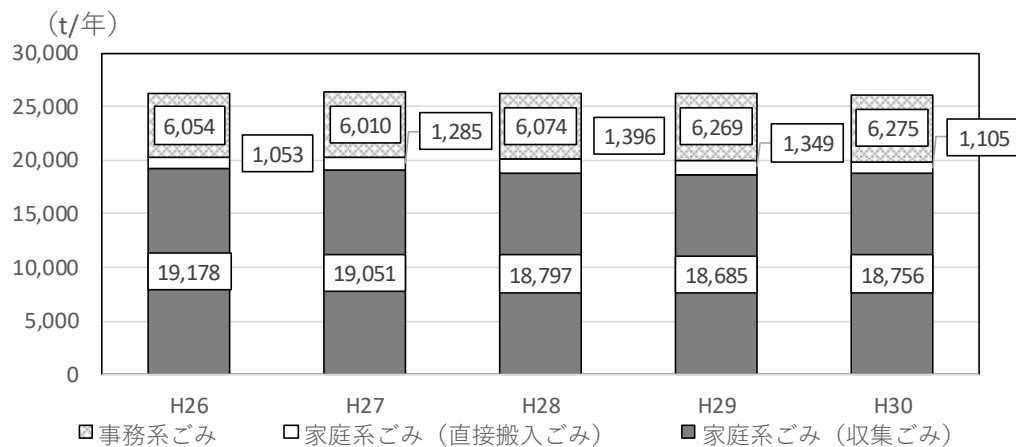


図2-2 総ごみ排出量の推移

表 2-4 総ごみ排出量の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	20,231	20,336	20,193	20,034	19,861
収集ごみ	t/年	19,178	19,051	18,797	18,685	18,756
玉名市	t/年	12,029	11,976	11,846	11,767	11,845
玉東町	t/年	769	779	785	783	784
南関町	t/年	1,544	1,548	1,504	1,489	1,520
長洲町	t/年	3,314	3,224	3,138	3,101	3,044
和水町	t/年	1,522	1,524	1,524	1,545	1,563
直接搬入ごみ	t/年	1,053	1,285	1,396	1,349	1,105
玉名市	t/年	735	865	988	898	752
玉東町	t/年	51	144	134	202	75
南関町	t/年	56	43	26	56	43
長洲町	t/年	181	201	202	174	212
和水町	t/年	30	32	46	19	23
事業系ごみ	t/年	6,054	6,010	6,074	6,269	6,275
玉名市	t/年	4,036	3,945	3,941	4,027	3,971
玉東町	t/年	313	298	294	316	267
南関町	t/年	688	667	681	720	742
長洲町	t/年	679	848	876	825	748
和水町	t/年	338	252	282	381	547
資源ごみ集団回収	t/年	1,282	1,404	1,256	1,255	893
玉名市	t/年	345	371	297	300	240
玉東町	t/年	133	129	121	113	103
南関町	t/年	273	226	218	238	0
長洲町	t/年	270	418	389	369	363
和水町	t/年	261	259	231	235	187
合計	t/年	27,567	27,750	27,523	27,558	27,029

(2) 燃えるごみ

本組合管内全体の燃えるごみの排出量の推移を図 2-3、表 2-5 に示しました。
排出量の推移は、概ね横ばいとなっていますが、少し減少傾向となっています。

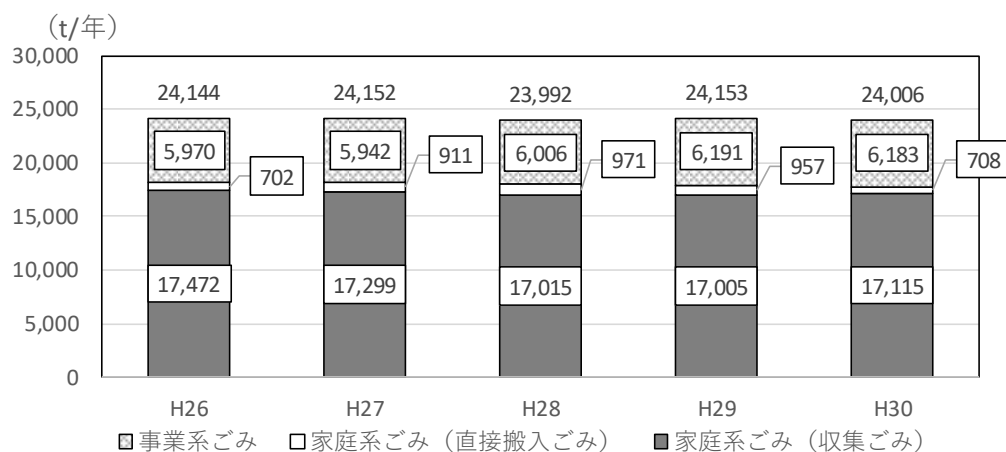


図 2-3 燃えるごみの推移

表 2-5 燃えるごみの推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	18,174	18,210	17,986	17,962	17,823
収集ごみ	t/年	17,472	17,299	17,015	17,005	17,115
玉名市	t/年	11,075	10,976	10,811	10,793	10,894
玉東町	t/年	679	684	688	691	697
南関町	t/年	1,379	1,378	1,338	1,345	1,371
長洲町	t/年	2,992	2,916	2,832	2,810	2,770
和水町	t/年	1,347	1,345	1,346	1,366	1,383
直接搬入ごみ	t/年	702	911	971	957	708
玉名市	t/年	472	601	686	615	475
玉東町	t/年	30	113	86	159	42
南関町	t/年	42	29	18	47	33
長洲町	t/年	137	146	145	122	145
和水町	t/年	21	22	36	14	13
事業系ごみ	t/年	5,970	5,942	6,006	6,191	6,183
玉名市	t/年	3,982	3,901	3,899	3,985	3,921
玉東町	t/年	306	293	291	313	263
南関町	t/年	671	652	664	701	722
長洲町	t/年	675	846	872	820	743
和水町	t/年	336	250	280	372	534
合計	t/年	24,144	24,152	23,992	24,153	24,006

(3) リサイクルごみ（燃えないごみ）

本組合管内全体のリサイクルごみ（燃えないごみ）の排出量の推移を図 2-4、表 2-6 に示しました。

排出量の推移は、平成 28 年度をピークに減少傾向となっています。

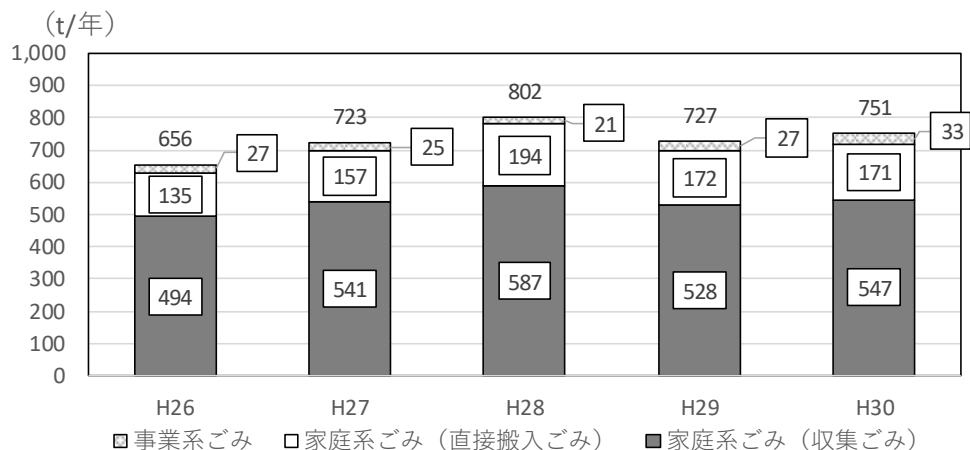


図 2-4 リサイクルごみ（燃えないごみ）の推移

表 2-6 リサイクルごみ（燃えないごみ）の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	629	698	781	700	718
収集ごみ	t/年	494	541	587	528	547
玉名市	t/年	292	323	363	320	326
玉東町	t/年	48	53	56	53	53
南関町	t/年	41	45	49	38	43
長洲町	t/年	71	75	74	72	74
和水町	t/年	42	45	45	45	51
直接搬入ごみ	t/年	135	157	194	172	171
玉名市	t/年	98	102	132	117	115
玉東町	t/年	13	19	30	27	20
南関町	t/年	5	6	4	4	5
長洲町	t/年	16	26	25	21	27
和水町	t/年	3	4	3	3	4
事業系ごみ	t/年	27	25	21	27	33
玉名市	t/年	18	18	12	15	19
玉東町	t/年	3	2	1	1	2
南関町	t/年	3	4	4	4	6
長洲町	t/年	2	0	2	2	2
和水町	t/年	1	1	2	5	4
合計	t/年	656	723	802	727	751

(4) 粗大ごみ

本組合管内全体の粗大ごみの排出量の推移を図 2-5、表 2-7 に示しました。

排出量の推移は、増加傾向となっています。

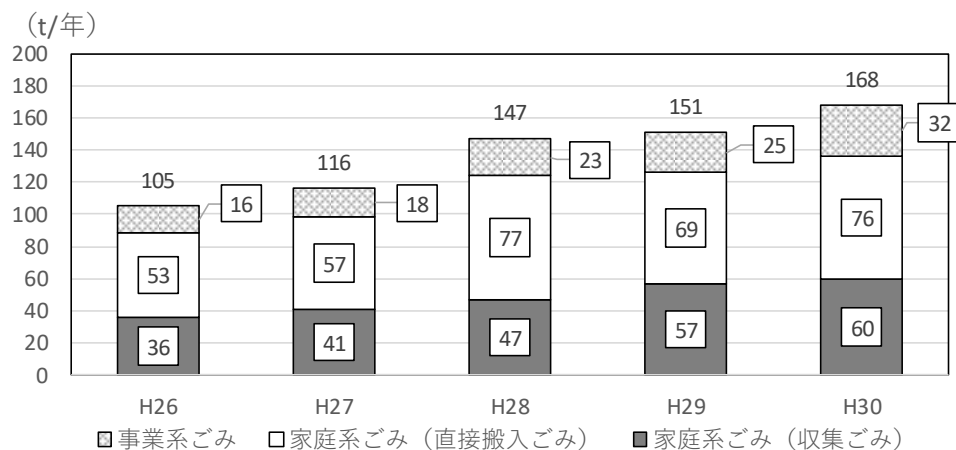


図 2-5 粗大ごみの推移

表 2-7 粗大ごみの推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	89	98	124	126	136
収集ごみ	t/年	36	41	47	57	60
玉名市	t/年	23	24	30	32	35
玉東町	t/年	1	1	1	2	1
南関町	t/年	4	4	4	6	7
長洲町	t/年	6	8	9	11	10
和水町	t/年	2	4	3	6	7
直接搬入ごみ	t/年	53	57	77	69	76
玉名市	t/年	33	33	50	45	50
玉東町	t/年	2	6	10	9	5
南関町	t/年	3	4	2	2	3
長洲町	t/年	12	11	11	12	16
和水町	t/年	3	3	4	1	2
事業系ごみ	t/年	16	18	23	25	32
玉名市	t/年	13	15	20	21	24
玉東町	t/年	1	1	1	1	1
南関町	t/年	0	0	0	0	1
長洲町	t/年	2	2	2	2	3
和水町	t/年	0	0	0	1	3
合計	t/年	105	116	147	151	168

(5) 有害ごみ

本組合管内全体の有害ごみの排出量の推移を図 2-6、表 2-8 に示しました。

排出量の推移は、平成 29 年度で収集ごみの減少がありますが、ほぼ横ばいとなっています。

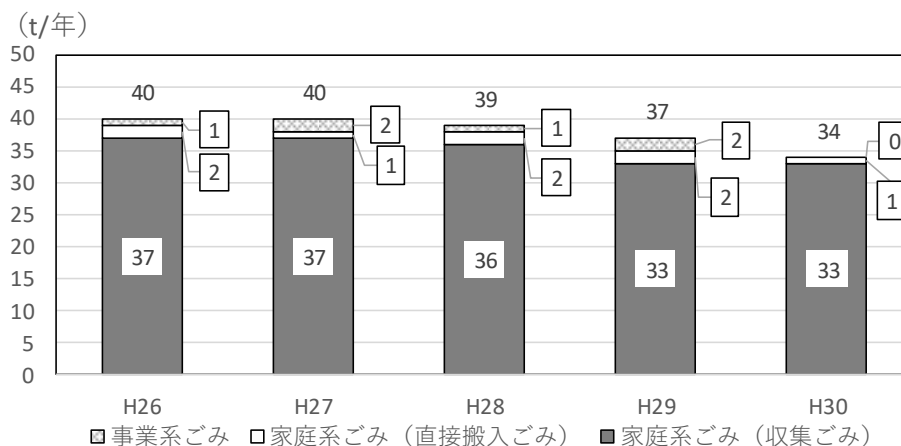


図 2-6 有害ごみの推移

表 2-8 有害ごみの推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	39	38	38	35	34
収集ごみ	t/年	37	37	36	33	33
玉名市	t/年	20	21	21	19	20
玉東町	t/年	3	2	2	3	2
南関町	t/年	4	4	4	3	3
長洲町	t/年	7	6	5	5	4
和水町	t/年	3	4	4	3	4
直接搬入ごみ	t/年	2	1	2	2	1
玉名市	t/年	2	1	2	2	1
玉東町	t/年	0	0	0	0	0
南関町	t/年	0	0	0	0	0
長洲町	t/年	0	0	0	0	0
和水町	t/年	0	0	0	0	0
事業系ごみ	t/年	1	2	1	2	0
玉名市	t/年	0	1	0	0	0
玉東町	t/年	1	0	0	0	0
南関町	t/年	0	1	1	1	0
長洲町	t/年	0	0	0	0	0
和水町	t/年	0	0	0	1	0
合計	t/年	40	40	39	37	34

(6) 資源ごみ

本組合管内全体の資源ごみの排出量の推移を、図 2-7、表 2-9 に示しました。

全体量としては、やや減少傾向にあります。

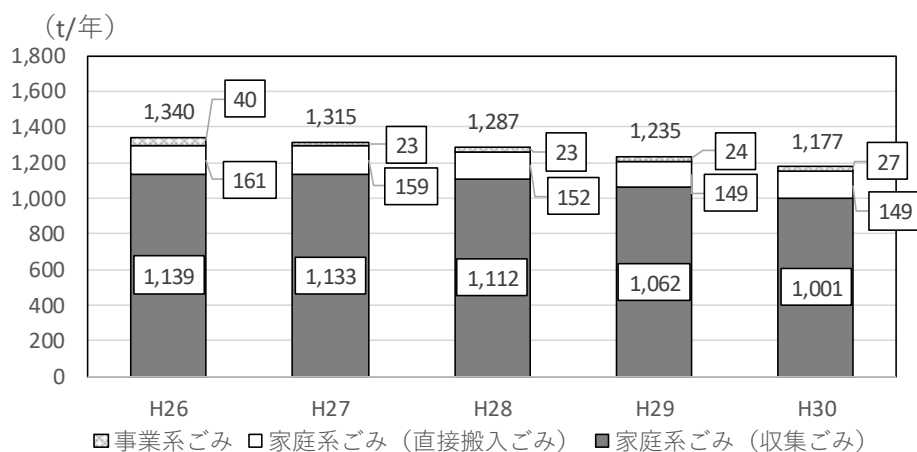


図 2-7 資源ごみ排出量の推移

表 2-9 資源ごみ排出量の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
家庭系ごみ	t/年	1,300	1,292	1,264	1,211	1,150
収集ごみ	t/年	1,139	1,133	1,112	1,062	1,001
玉名市	t/年	619	632	621	603	570
玉東町	t/年	38	39	38	34	31
南関町	t/年	116	117	109	97	96
長洲町	t/年	238	219	218	203	186
和水町	t/年	128	126	126	125	118
直接搬入ごみ	t/年	161	159	152	149	149
玉名市	t/年	130	128	118	119	111
玉東町	t/年	6	6	8	7	8
南関町	t/年	6	4	2	3	2
長洲町	t/年	16	18	21	19	24
和水町	t/年	3	3	3	1	4
事業系ごみ	t/年	40	23	23	24	27
玉名市	t/年	23	10	10	6	7
玉東町	t/年	2	2	1	1	1
南関町	t/年	14	10	12	14	13
長洲町	t/年	0	0	0	1	0
和水町	t/年	1	1	0	2	6
合計	t/年	1,340	1,315	1,287	1,235	1,177

(7) 資源ごみ集団回収量

本組合管内全体の集団回収した資源ごみの排出量の推移を、図 2-8、表 2-10 に示しました。回収量は、継続した減少傾向となっています。

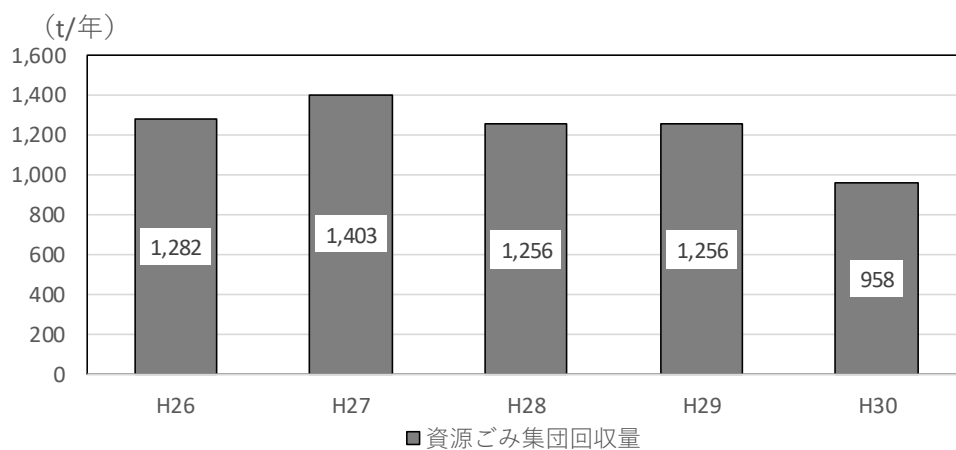


図 2-8 資源ごみ集団回収量の推移

表 2-10 資源ごみ集団回収量の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
玉名市	t/年	345	371	297	300	304
玉東町	t/年	133	129	121	114	103
南関町	t/年	273	226	218	238	0
長洲町	t/年	270	418	389	369	363
和水町	t/年	261	259	231	235	187
合計	t/年	1,282	1,403	1,256	1,256	958

2. ごみの減量及び再資源化に関する施策概要

ごみ減量及び再資源化の施策概要を、以下に整理しました。

(1) 分別の徹底

本組合の構成市町においては、ごみ収集カレンダーや家庭ごみの分け方や出し方を整理した冊子などを各家庭に配布し、分別の徹底を図っています。

(2) 有料化の取り組み

本組合の構成市町においては、家庭系一般廃棄物については指定袋による有料化を実施しています。

また、事業系一般廃棄物や直接本組合の施設に持ち込まれる一般廃棄物については、持ち込み重量に応じた処理料金をごみ処理施設で徴収しています。ただし、家庭から直接持ち込まれる一般廃棄物については、指定袋又は粗大ごみシールを貼った状態であれば、料金は徴収していません。

(3) 事業者の取り組み

一部の商業店舗において、購入された商品の容器包装などを独自に回収する取り組みが実施されています。

(4) レジ袋対策・マイバック運動

熊本県では、資源の消費を抑制し、環境への負荷の少ない「循環型社会」や「低炭素社会」の実現を図るために、住民・事業者・行政が協働したレジ袋の削減の取り組みを推進しています。

本組合の構成市町においても、協議会の設置（玉東町、南関町、長洲町、和水町）や検討会の開催（玉名市）などの取り組みを進めています。

あわせて、マイバック運動についても構成市町にて啓発を推進しています。

(5) 環境啓発の推進

東部環境センター及びクリーンパークファイブにおいて、地域住民を対象としたリサイクルに関する各種体験講座の開設や、小学生を対象とした施設見学などによる環境啓発に

取り組んでいます。

また、本組合では、毎年リサイクルフェスタを開催しており、リサイクル体験などの各種展示コーナーの設置、リサイクル品の抽選大会、フリーマーケットなどを実施することにより、地域住民の方々へリサイクルへの関心を高めて頂く取り組みを実施しています。

あわせて、ごみの減量化及び資源化に関する住民の意識啓発を図るため、第 1 リサイクル工房及び第 2 リサイクル工房において、年 1 回ミニフェスタを実施しており、再利用品の修復及び展示、リサイクル品の提供に関する事業を実施しています。

(6) 各種の支援事業

本組合の構成市町においては、再生資源の回収を行う地域住民団体（婦人会、子供会等）に対して、資源化推進の支援策の一環として、回収量に応じた奨励金を交付しています。

あわせて、ごみの減量化に貢献する生ごみ処理機器の購入に関して一部購入費の補助を実施しています。

また、南関町においては生ごみ集積箱の貸与事業の実施、長洲町においては新聞、雑誌、段ボールなどを保管する資源ごみ保管庫の設置に関する補助金の交付、和水町においてはごみ集積箱の設置に関する補助金の交付を実施しています。

(7) 不法投棄対策等への取り組み

本組合の構成市町においては、環境美化に関する条例を定めることや、不法投棄監視員を設置するなどの取り組みを実施しています。

3. ごみの減量化・再資源化のまとめ

本組合管内より排出されるごみの減量化及び再資源化の流れを、図 2-9 に示しました。

総排出量は、集団回収量も含めて 27,093 t であり、再生利用される「総資源化量」は 3,271 t、リサイクル率（＝（直接資源化量＋処理後再生利用量＋集団回収量）÷総排出量）は 12.07%となっています。

中間処理による減量化量は 21,780t であり、計画処理量の概ね 83.33%が減量化されています。また、計画処理量の 7.81%に当たる 2,042 t が埋立処分されています。

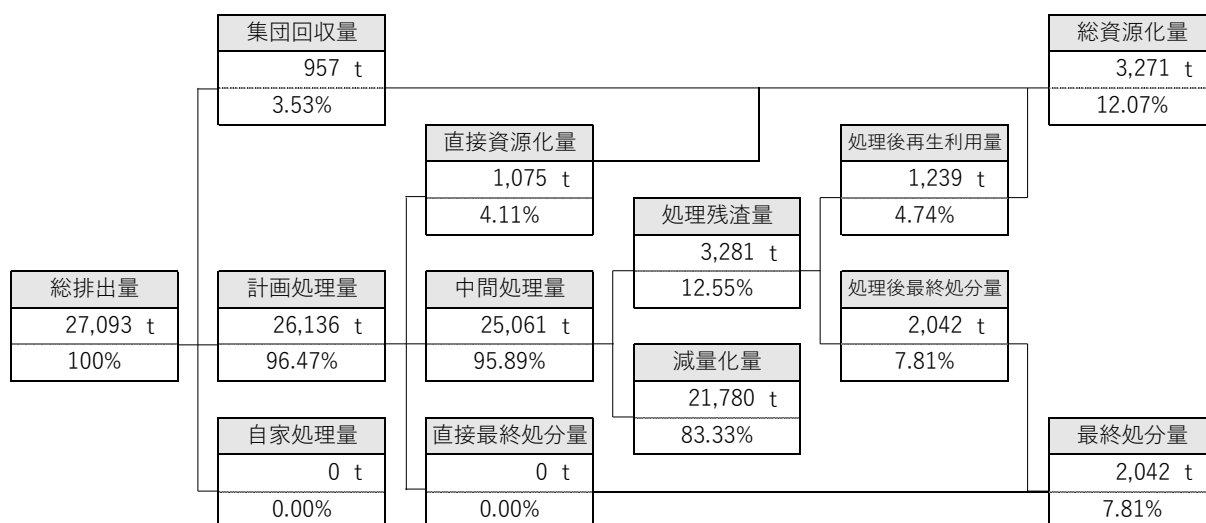


図 2-9 ごみ減量化及び再資源化の流れ (H30 年度)

第4節 ごみ処理・処分の現状

1. ごみ処理施設の概要

(1) 東部環境センター

東部環境センターの施設概要を表 2-11 に示しました。

本施設は 1999 年 4 月（平成 11 年 4 月）にごみ焼却施設及びリサイクル施設（資源粗大ごみ処理施設）、2000 年 4 月（平成 12 年 4 月）に最終処分場を竣工した複合施設となっております。

そのうち、ごみ処理施設については、2014～2016 年度（平成 26～28 年度）で該当施設の基幹的設備補修工事を環境省の交付金を用いて実施し、1 日 16 時間運転であった施設を 24 時間連続運転に変更すると同時に、機械設備も焼却処理による排熱を利用した発電設備を設け、場内の消費電力を削減する工事を行っています。

表 2-11 施設概要

項目	概要
施設名称	東部環境センター
所在地	熊本県玉名郡玉東町大字木葉386番地
敷地面積	9,800㎡
処理能力	70 t / 16 h（35 t / 16 h × 2 炉）：竣工時 98 t / 24 h（49 t / 24 h × 2 炉）：基幹的設備補修工事後
処理方式	准連続燃焼方式（ストーカ式）
竣工年月	1999年4月（平成11年4月） 2017年3月（平成29年3月）：基幹的設備補修工事



(2) クリーンパークファイブ

クリーンパークファイブの施設概要を表 2-12 に示しました。

本施設は、供用開始から約 13 年が経過しており、これまでの間で大規模な補修工事等を行っていないことから、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザともに主要機器の老朽化が進んでおり、将来的な施設のあり方を検討する時期となっています。

表 2-12 施設概要

項目	概要
施設名称	クリーンパークファイブ
所在地	熊本県玉名郡長洲町大字名石浜42-1
敷地面積	23,645.07㎡
処理能力	50 t /24 h (25 t /24 h × 2炉)
処理方式	流動床ガス化溶融方式
竣工年月	平成18年5月



2. 資源化施設の概要

(1) 東部環境センター（資源粗大処理施設）

東部環境センター（資源粗大処理施設）の施設概要を表 2-13 に示しました。

資源粗大処理施設では、不燃ごみ・粗大ごみ・アルミ缶・スチール缶を破碎・選別・圧縮処理し、その他の資源物についてはストックヤード棟で選別・圧縮処理及び各種資源化物の保管を行っています。

表 2-13 施設概要

項目	概要
施設名称	東部環境センター（資源粗大処理施設）
所在地	熊本県玉名郡玉東町大字木葉386番地
処理能力	（資源粗大処理施設）16 t /5 h （ストックヤード棟）保管面積：675m ²
処理方式	（資源粗大処理施設）破碎・選別・圧縮処理 （ストックヤード棟）選別・圧縮処理、保管
竣工年月	1999年4月（平成11年4月）

(2) リサイクルプラザファイブ（リサイクルプラザ）

リサイクルプラザファイブ（リサイクルプラザ）の施設概要を表 2-14 に示しました。

本施設では、不燃ごみ・粗大ごみを破碎・選別・圧縮処理、古紙類・布類・ペットボトルは選別・圧縮処理、その他の資源についてはストックヤード棟で保管を行っています。

供用開始から約 13 年が経過しており、これまでの間で大規模な補修工事等を行っていないことから、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザともに主要機器の老朽化が進んでおり、将来的な施設のあり方を検討する時期となっています。

表 2-14 施設概要

項目	概要
施設名称	リサイクルプラザファイブ
所在地	熊本県玉名郡長洲町大字名石浜42番地1
処理能力	（不燃物・不燃性粗大ごみ）5 t /5 h （資源ごみ）4.468 t /5 h
処理方式	（不燃系ごみ）破碎・選別・圧縮処理 （資源ごみ）選別・圧縮処理、保管
竣工年月	2006年4月（平成18年3月）

3. 最終処分場施設の概要

東部環境センター最終処分場の施設概要を表 2-15 に示しました。

本施設での埋立対象物は、東部環境センター（ごみ焼却施設）から排出される焼却灰、東部環境センター（資源粗大処理施設）から排出される破碎残渣及び汚泥となっています。

本施設は、2008 年度（平成 20 年度）に 1 回目の嵩上げ工事を、2015 年度（平成 27 年度）に 2 回目の嵩上げ工事を実施し、設計当初通りの計画で進んでいます。

表 2-15 施設概要

項目	概要
施設名称	東部環境センター最終処分場
所在地	熊本県玉名郡玉東町大字木葉228番地
埋立面積	7,100㎡
埋立容量	79,500㎡
竣工年月	2000年4月（平成12年4月）
	2009年3月（平成21年3月）：第1回目嵩上げ工事
	2016年3月（平成28年3月）：第2回目嵩上げ工事
浸出水処理施設	原水ピット 浸出水調整槽 凝集沈殿処理 砂ろ化处理 滅菌処理 再利用水槽

第5節 事務内容及びごみ処理経費

1. 共同処理する事務

本組合において共同処理する事務の内容は表 2-16 に、関係する構成市町は表 2-17 に示すとおりです。

表 2-16 共同処理する事務内容

事務所掌範囲	
①	広域にわたる総合的な計画の策定並びに計画に基づく事業の実施及び連絡調整に関する事務
②	消防に関する事務 (消防団に関する事務並びに消防水利用施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)
③	し尿処理施設の設置、管理及び運営に関する事務 (荒尾市及び玉名市(岱明町、横島町及び天水町の区域を除く。)に係る事務を除く。)
④	ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関する事務 (荒尾市に係る事務を除く。)
⑤	リサイクルプラザの設置、管理及び運営に関する事務 (荒尾市に係る事務を除く。)
⑥	斎場施設の設置、管理及び運営に関する事務 (荒尾市、南関町、長洲町、和水町に係る事務を除く。)
⑦	介護保険法(平成9年法律第123号)に基づく介護認定審査会の設置及び運営に関する事務
⑧	熊本県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例(平成11年熊本県条例第58号)第2条の規定により市町村が処理することとされる事務のうち、次に掲げる事務 ア. 火薬類取締法(昭和25年法律第149号)に基づく事務 イ. 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務
⑨	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)に基づく介護給付費等の支援に関する審査会の設置及び管理に関する事務
⑩	多目的公園(パークファイブ)の設置及び管理に関する事務 (玉名市(岱明町の区域に限る。)、南関町、長洲町及び和水町に係る事務に限る。)
⑪	結婚活動支援に関する事務
⑫	広域観光に関する事務

表 2-17 構成市町の関係

区 分	関係市町					
	荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町
事務局	○	○	○	○	○	○
消防	○	○	○	○	○	○
第1衛生センター		○	○	○	○	○
玉名斎場		○	○			
東部環境センター		○	○			
クリーンパークファイブ・パークファイブ		○		○	○	○
介護保険・総合支援	○	○	○	○	○	○

2. ごみ処理経費

本組合のごみ処理経費に関する推移を、表 2-18 に整理しました。

年間収集量に対するごみ 1 t 当たりの処理経費（建設・改良費除く）は、36,422～40,081 円の範囲で推移しています。

行政区域内人口に対する 1 人当たりの処理経費（建設・改良費除く）は、平成 27 年度以降、増加傾向となっています。

表 2-18 ごみ処理費用

項 目		単位	H26	H27	H28	H29	H30
ごみ処理事業経費	建設・改良費	千円/年	1,080,242	2,601,933	1,983,369	972,834	1,039,467
	工事費	千円/年	71,901	1,643,664	1,006,116	0	0
	最終処分場	千円/年	0	4,428	0	0	0
	その他	千円/年	5,776	5,209	3,520	0	0
	処理及び維持管理費	千円/年	974,566	928,599	953,978	965,058	1,029,428
	その他	千円/年	27,999	20,033	19,755	7,776	10,039
	年間収集量	t/年	26,087	26,045	25,979	25,979	25,934
経 費 単 価	1 t 当たりの処理経費	円/ t	41,409	99,900	76,346	37,446	40,081
	建設・改良費を除く処理経費	円/ t	38,431	36,422	37,482	37,446	40,081
	行政区域内人口	人	68,904	68,254	67,479	66,672	65,977
	1人当たりの処理経費	円/人	15,677	38,121	29,392	14,591	15,755
	建設・改良費除く処理経費	円/ t	14,550	13,899	14,430	14,591	15,755

第6節 上位計画

1. 循環型社会形成推進基本計画

国においては、循環型社会形成推進基本法に基づき、第4次循環型社会形成推進基本計画を平成30年6月に策定しています。本計画の概要は、図2-10に示すとおりです。

循環型社会の方向性

- ① 持続可能な社会づくりとの総合的取組
- ② 多種多様な地域循環共生圏形成による地域活性化
- ③ ライフサイクル全体での徹底的な資源循環
- ④ 適正処理の更なる推進と環境再生
- ⑤ 万全な災害廃棄物処理体制の構築
- ⑥ 適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開の推進
- ⑦ 循環分野における基盤整備

数 値 目 標

- ◆ 物質フロー（マテリアルフロー）目標
 - ① 資源生産性 → 約49万円/トン（2000年度の約2倍）
 - ② 入口側の循環利用率 → 約18%（2000年度の約1.8倍）
 - ③ 出口側の循環利用率 → 約47%（2000年度の約1.3倍）
 - ④ 最終処分量 → 約13百万トン（2000年度から約77%減）
- ◆ 一般廃棄物の取組指標（2025年度）
 - ① ごみ排出量 → 1人1日当たりの排出量 約850g/人/日
 - ② 家庭系ごみ排出量 → 1人1日当たりの排出量 約440g/人/日
 - ③ 事業系ごみ排出量 → 約1,100万トン
- ◆ 産業廃棄物の取組指標（2025年度）
 - ① 最終処分量 → 約10百万トン（2000年度から約77%減）

取 組

- ◆ 持続可能な社会づくりとの統合的取組
 - 地域循環共生圏の形成
 - シェアリング等の2 Rビジネスの促進、評価
 - 家庭系食品ロス半減に向けた国民運動
 - 高齢化社会に対応した廃棄物処理体制
 - 未利用間伐材等のエネルギー源としての活用
 - 廃棄物エネルギーの徹底活用
 - マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策
 - 災害廃棄物処理事業の円滑化・効率化の推進
 - 廃棄物・リサイクル分野のインフラの国際展開
- ◆ 多種多様な地域循環共生圏形成による地域活性化
 - 地域循環共生圏の形成に向けた施策
 - コンパクトで強靱なまちづくり
 - バイオマスの地域内での利活用
- ◆ ライフサイクル全体での徹底的な資源循環
 - 開発設計段階での省資源化等の普及促進
 - シェアリング等の2 Rビジネスの促進、評価
 - 素材別の取組等
- ◆ 適正処理の推進と環境再生
 - 適正処理
 - 環境再生
 - 東日本大震災からの環境再生
- ◆ 万全な災害廃棄物処理体制の構築
 - 【自治体レベル】
 - 災害廃棄物処理計画の策定
 - 国民に対して自治体等が協力を得られるよう情報発信、コミュニケーションの場の設置を支援
 - 【地域レベル】
 - 地域ブロック協議会の運営、行動計画の見直し
 - 共同訓練、人材交流の場、セミナーの開催等
 - 【全国レベル】
 - 災害廃棄物処理実績を蓄積、情報プラットフォームを整備・運営
 - 災害廃棄物処理の円滑化・高効率化
 - D.Waste-Net の体制強化、平時の取組の充実
 - 災害時に拠点となる廃棄物処理施設の整備
- ◆ 適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開の推進
 - 【国際資源循環体制の構築】
 - 2016 年「富山物質循環フレームワーク」等に基づき、資源効率性の向上や3 Rの推進
 - 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」の活動に協力、知見の共有
 - 国内外で発生した二次資源について日本の環境先進技術を活かしつつリサイクルを適正に推進（バーゼル法の改正等）
 - 【循環産業の海外展開】
 - 「もったいない精神」を海外に紹介、モノを大切にする意識の向上
 - 我が国の質の高い環境インフラについて、制度・システム・技術等をパッケージとして海外展開
 - 日本の災害廃棄物対策ノウハウの提供、JICA 等と連携した被災国支援スキーム
- ◆ 循環分野における基盤整備
 - 【情報整備】
 - 各主体の取組の成果を評価する手法、分かりやすく示す指標
 - 各種手続等の廃棄物に関する情報の電子化、電子マニフェストを含む情報の活用
 - 【技術開発等】
 - 廃棄物収集の効率化や高度選別技術の普及促進
 - 世界に先駆けた革新的低炭素化技術の研究開発
 - 【人材育成、普及啓発等】
 - Re-Style キャンペーンを通じて、若年層を中心にサブカルチャー等と連携した意識醸成、行動喚起
 - 多数の企業が参加した消費者キャンペーン

図 2-10 循環型社会形成推進基本計画の概要

2. 熊本県廃棄物処理計画

熊本県では、平成 28 年 3 月に「熊本県廃棄物処理計画（第 4 期）」を策定しています。
本計画の位置付けを図 2-11 に、目標値を表 2-19 に示しました。

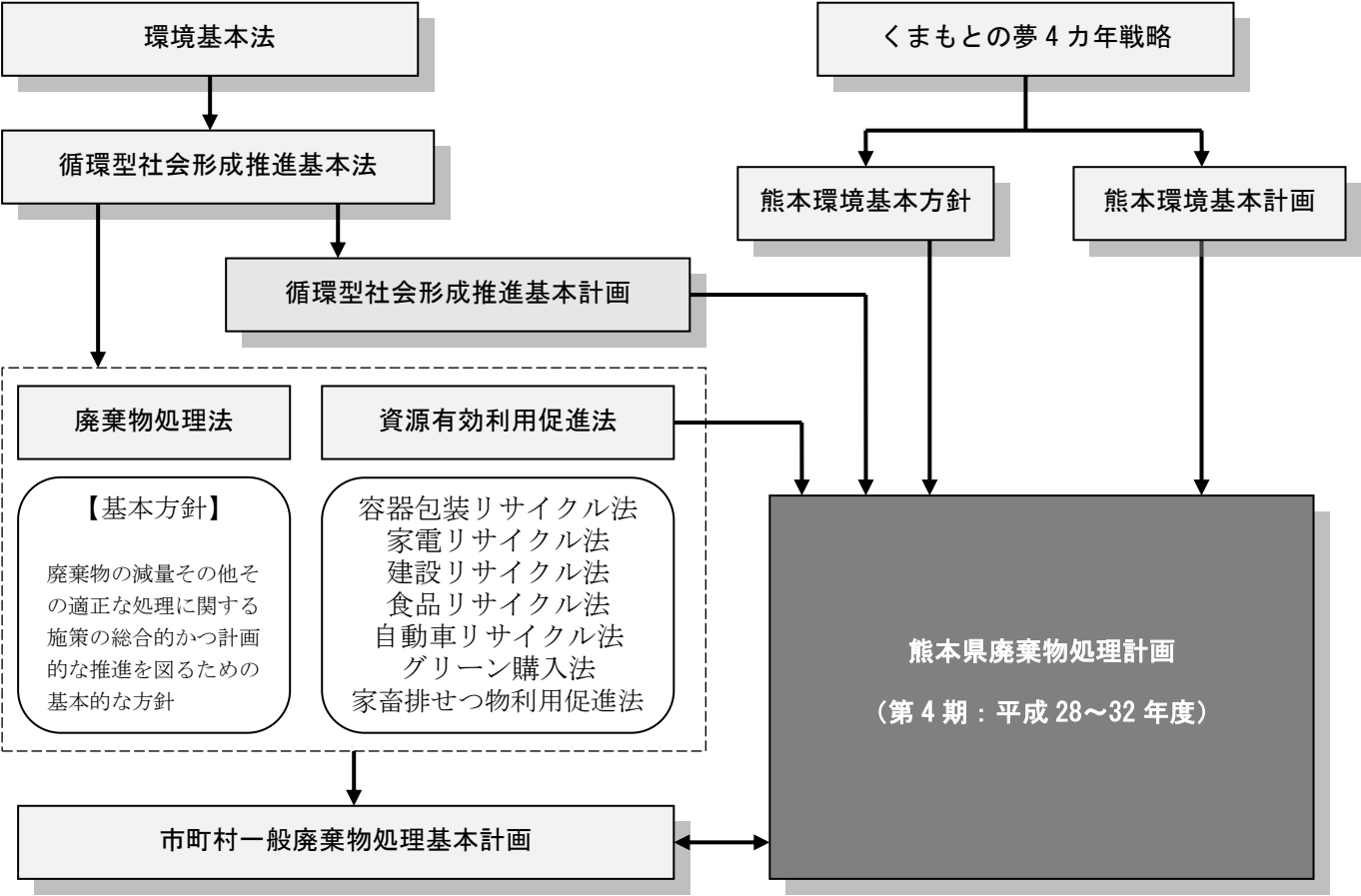


図 2-11 熊本県廃棄物処理計画（第 4 期）の位置付け

表 2-19 一般廃棄物の減量に関する目標

計画	熊本県廃棄物処理計画		第四次循環型社会形成推進基本計画	
策定年月	平成28年3月		平成30年6月	
基準年度	平成24年度		平成12（2000）年度	
目標年度	平成32年度		令和 7（2025）年度	
排出ごみ量の目標	1人1日当たり排出量	約12%削減	1人1日当たり排出量	約850 g / 人・日
	リサイクル率	27%	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	約440 g / 人・日
	最終処分量	約14%削減	事業系ごみ排出量	約1,100万 t

第7節 課題の整理

本組合におけるごみ処理行政に関する課題を以下に整理しました。

(1) 家庭系ごみの適正分別の推進

ごみの減量化については、住民の皆様方の協力により緩やかな減少傾向となっているため、こうした状況を維持していく必要があります。

あわせて、ごみ収集カレンダー等の冊子に基づいた適正分別に、率先して住民の皆様が取り組んでもらえるような啓発・広報活動を強化していく必要があります。

(2) 事業系ごみの減量化

事業系ごみについては、排出者処理責任に関する指導や、許可業者へのごみ収集委託の実施に関する指導を行うなどの取り組みを推進する必要があります。

また、多量排出事業者を対象に「実績報告書」の提出を求めるなどして、事業者の動向が把握できる環境を整えていく必要があります。

(3) 各種助成制度の維持

本組合を構成する市町において、資源化の推進の一環として住民団体等が率先して行う資源物の回収に奨励金を交付する事業や、ごみ減量化の推進の一環として生ごみ処理機の購入費補助などを行っているため、こうした各種助成制度の取組みを継続していく必要があります。

(4) 既存の廃棄物処理施設の延命化対策

クリーンパークファイブについては、供用開始から13年が経過していることから、施設の延命化を計画する時期に差し掛かっています。

(5) 最終処分場の延命化

東部環境センターの最終処分場は、2008年度（平成20年度）に1回目の嵩上げ工事を、2015年度（平成27年度）に2回目の嵩上げ工事を実施しました。

第3章 ごみ処理基本計画

第1節 基本理念

本組合では、循環型社会形成推進基本法で定められた処理の優先順位(図3-1)を踏まえて、廃棄物による環境への負荷をできる限り低減するため、廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3R活動を推進することで、限りある資源とエネルギーの消費の節約と循環的な利用を促進していくものとします。

そこで本組合では、住民・事業者・行政の3者が協働して3R活動に取り組むことを基本に、循環型社会の構築を進めていく方針とします。

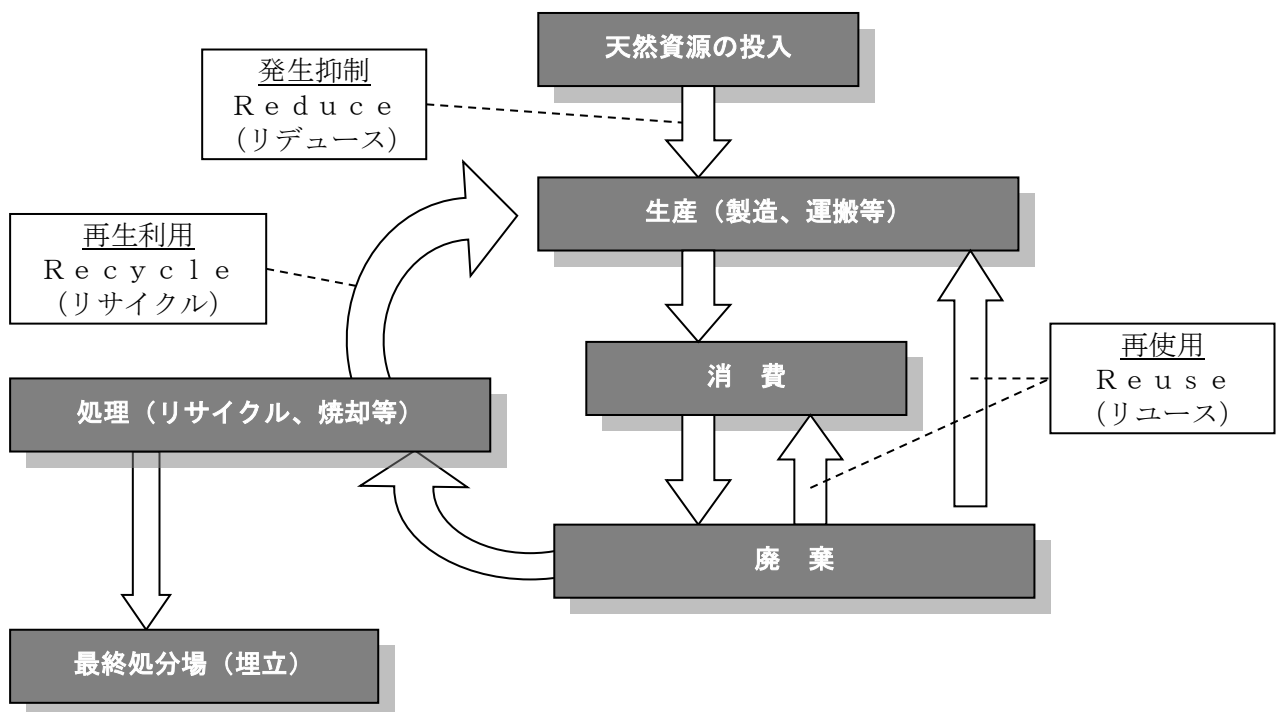


図3-1 循環型社会に向けた処理の優先順位

第2節 ごみ発生量及び処理量の見込み

1. 将来推計の方法

人口及びごみ量の将来の推計方法は、「ごみ処理施設構造指針解説」にて示されている記述をもとに、下記に示す5つの推計式をもとに推計を行っています。

なお、原則として人口は過去10年間（平成21年度～平成30年度）の実績値、ごみ量は過去5年間（平成26年度～平成30年度）の実績値を基本として推計しました。

【予測式】

◆一次傾向線	: $y = a \cdot x + b$
◆二次傾向線	: $y = a \cdot x^2 + b \cdot x + c$
◆一次指数曲線	: $y = a \cdot b^x$
◆べき乗曲線（ハイオーダー法）	: $y = a \cdot x^b$
◆対数曲線	: $y = a \cdot \ln(x) + b$

【備考】

- x : 基本年度からの経過年数
- y : 基本年度から x 年後の推計値
- a, b, c : 最小二乗法により求められる定数

2. 減量化及び資源化に関する目標値の設定

(1) 推計方法

ごみ排出量等の将来推計方法を、図 3-2 に示しました。

本組合管内の平成 30 年度における 1 人 1 日当たりの排出量（直搬搬入系ごみ含む）は、約 531g であり、全国平均（平成 29 年度）の 920g/人・日を大幅に下回っています。

そのため、本計画での減量化の目標については、人口の減少等による自然減のみとし、努力目標などの特別な目標値の設定は見込んでいません。

一方で、資源化の目標については適正分別を推進することにより、資源系ごみの排出量を平成 30 年度レベルで維持していく方針としました。

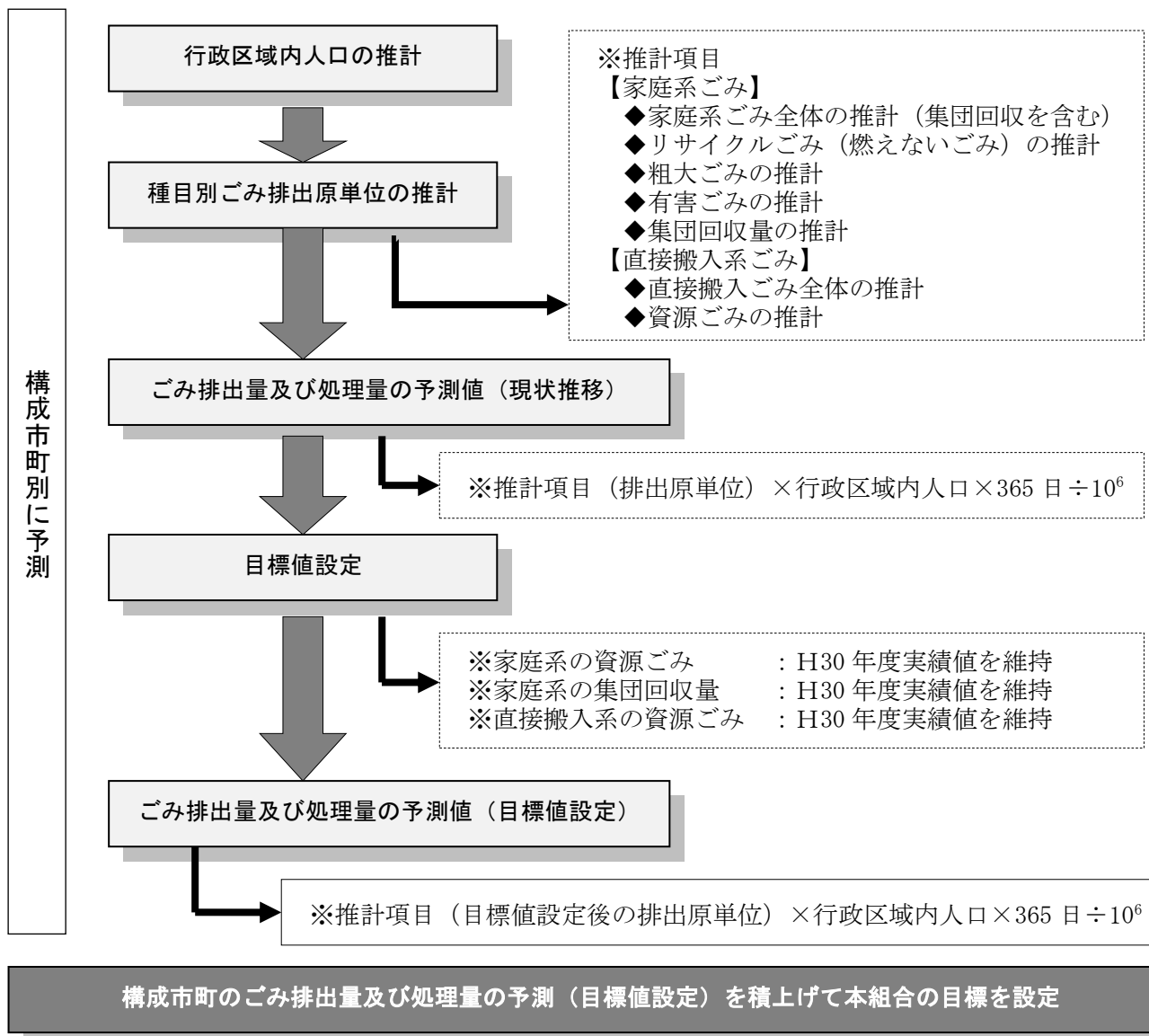


図 3-2 将来推計方法

(2) 目標値達成後の姿

減量目標達成後の推計結果を、表 3-1 及び図 3-3 に示しました。

本計画の推計結果については、第四次循環型社会形成推進基本計画に掲げた政策指標を達成する目標としました。

表 3-1 減量目標達成後の推計結果

項 目	単位	実績		中間目標値		最終目標値
		H26	H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人	111,250	107,407	103,287	100,043	97,201
総排出量	t/年	27,567	27,093	25,798	24,699	23,695
家庭系ごみ	t/年	20,460	19,713	18,609	17,690	16,861
直接搬入系ごみ	t/年	1,053	1,105	1,042	989	1,413
排出原単位	g/人・日	679	691	702	718	942
1人1日当たりの家庭ごみ排出量 （集団回収量、資源ごみ等を除	g/人・日	444	453	444	434	425
減量化率（対H26）	—	—	-1.7%	-6.4%	-10.4%	-14.0%
総資源化量	t/年	3,559	3,272	3,750	3,754	3,751
資源化率	—	12.9%	12.1%	14.5%	15.2%	15.8%
最終処分量	t/年	2,308	2,042	1,432	1,276	1,162
最終処分率	—	8.4%	7.5%	5.6%	5.2%	4.9%

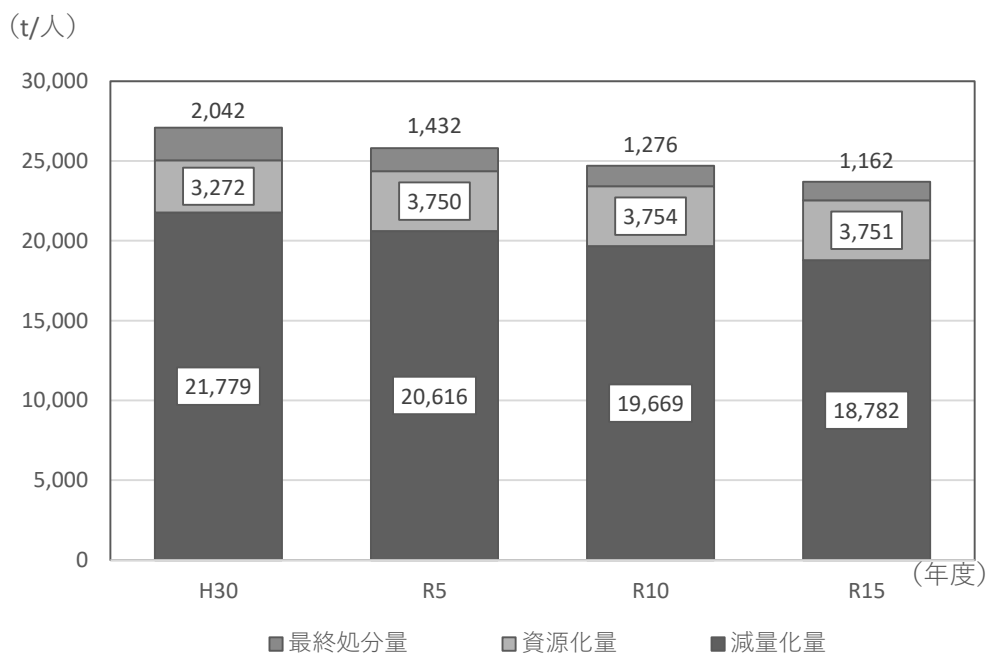


図 3-3 減量目標達成後の推計結果

第3節 ごみの減量化・資源化に向けた基本方針

前述したごみの減量化や資源化を進めていくために、今後実施または検討する施策の基本フレームを図3-4に示しました。

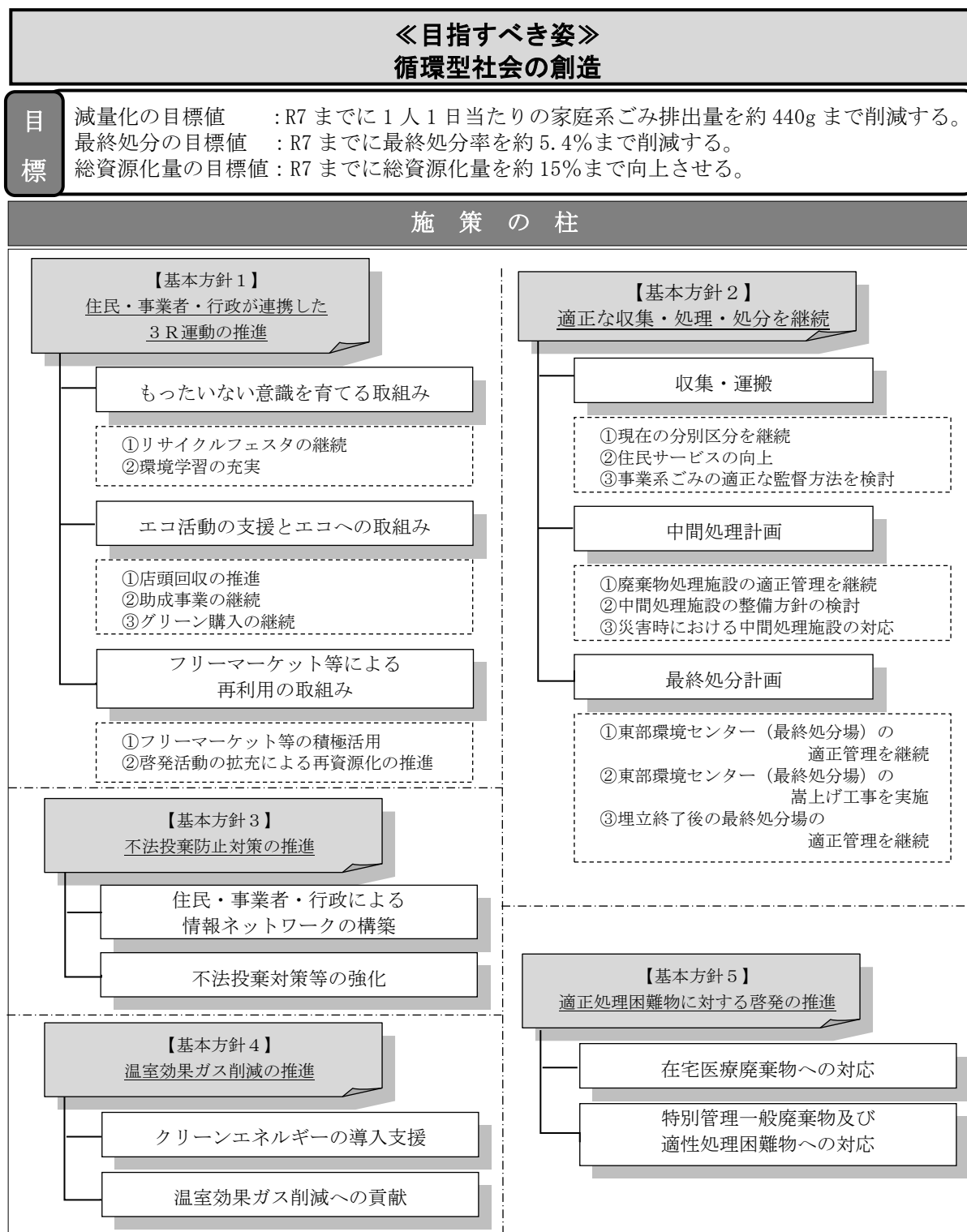


図3-4 本計画の基本フレーム

第4節 ごみの排出抑制のための方策に関する事項

1. ごみ発生抑制のための基本方針

ごみ発生抑制の基本方針は、以下の通りとします。

ごみの発生・排出削減の目標を達成するためには、住民・事業者・行政がごみの削減に対する意識を持ち、それぞれの役割と責任を果たし、互いの協力と連携のもとで持続的な努力を続けていくことが必要となります。

こうした連携を深めていくためには、消費者である住民は一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、資源・環境問題に配慮したライフスタイルに転換する行動を、事業者は資源・環境に配慮した事業活動や商品づくり及び流通システムづくりを進める行動を、行政は様々な角度から住民、事業者の取り組みを支援していくという行動を、3者協働により実施しつつ、循環型社会の構築に努めていかなければなりません。

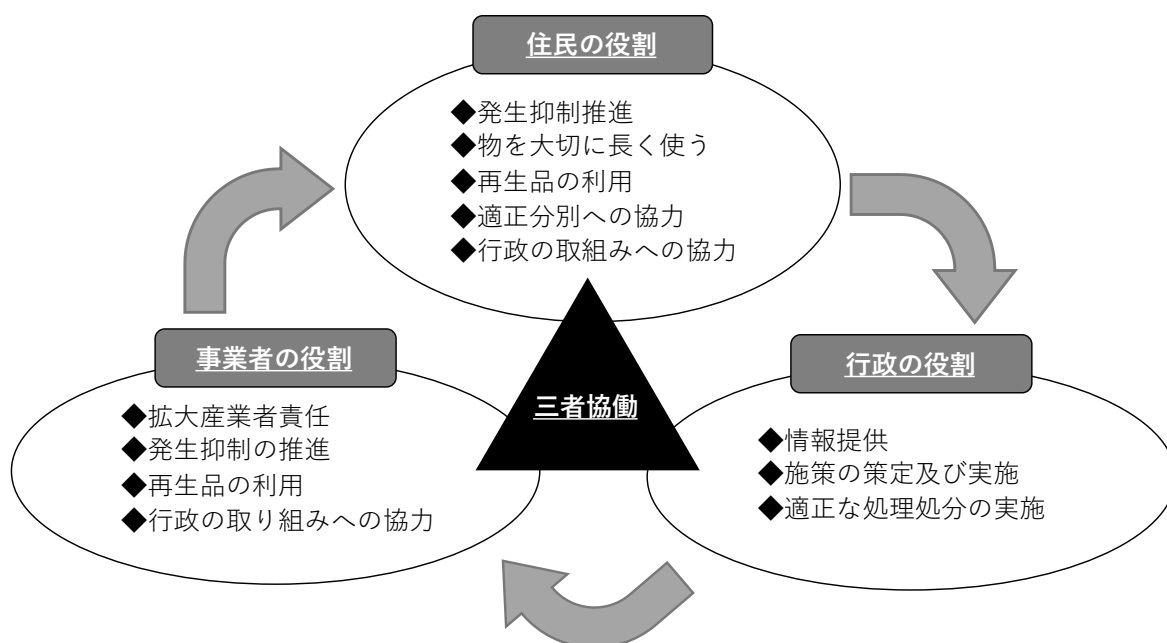


図 3-5 ごみ発生・排出削減における住民・事業者・行政の役割と連携

2. ごみ排出抑制・再資源化施策

本組合では、以下に示すごみ排出抑制・再資源化施策を推進するものとし、住民への啓発を実施し浸透を図っていくものとします。

基本方針1 住民・事業者・行政が連携した3R運動の推進

(1) もったいない意識を育てる取組み

1) リサイクルフェスタの継続

本組合では、リサイクルフェスタを開催しており、本フェスタ開催にあわせて、リサイクル体験などの各種展示コーナーを設置するなどして、こうした機会に住民に環境問題に対して興味を持ってもらうと同時に、現在のライフスタイルの見直し、環境問題への積極的な取り組みについて啓発していることから、今後も継続するものとします。

あわせて、第1リサイクル工房及び第2リサイクル工房において実施しているミニフェスタにおいても再利用品の修復、展示、リサイクル品の提供などを実施し、住民啓発を行っていることから、今後も継続するものとします。

2) 環境学習の充実

東部環境センター及びクリーンパークファイブにおいては、地域住民を対象としたリサイクルに関する各種体験講座の開設や、小学生を対象とした施設見学などを実施しており、こうした取り組みを継続していくものとします。

また、公共施設や地域社会の場において、各種イベントや副読本・ポスターなどを活用した啓発活動も実施していくものとします。

(2) エコ活動の支援とエコへの取組み

1) 店頭回収の推進

構成市町において、スーパー等で実施されているペットボトル、食品トレイ等の店頭回収を推進・拡大することを検討します。

2) マイバック運動の推進

マイバック持参を呼びかける取り組みを継続するとともに、レジ袋の有料化についても検討を進めていくものとします。

3) 助成事業の継続

本組合を構成する市町では、再生資源の集団回収を行う地域住民団体（婦人会、子供会等）に対して、回収量に応じた奨励金を交付しているため、今後も継続するものとしします。

また、ごみ減量化に貢献する生ごみ処理機器等の購入補助についても、今後も継続するものとしします。

南関町においては生ごみ集積箱の貸与事業の実施、長洲町においては新聞、雑誌、段ボールなどを保管する資源ごみ保管庫の設置に関する補助金の交付、和水町においてはごみ集積箱の設置に関する補助金の交付を実施しています。

4) グリーン購入の継続

エコへの取組みの一環として、環境への負荷ができるだけ小さい商品などを優先的に購入するグリーン購入を実施していることから、今後も継続するものとしします。

(3) フリーマーケット等による再利用の取組み

1) フリーマーケット等の積極活用

リサイクルフェスタなどで開催するフリーマーケットの情報などについて、本組合のホームページや構成市町においてチラシの配布や広報などで情報提供していることから、今後も継続するものとしします。

2) 啓発活動の拡充による再資源化の推進

本組合を構成する市町では、ごみの分別の徹底を図るために全世帯にパンフレットやカレンダーを配布しており、住民のご協力を頂いていますが、今後も継続した分別の徹底を図るための啓発を強化し、再資源化を推進していくものとしします。

(4) 住民・事業者・行政の取り組み例

前述した施策について、住民・事業者・行政の3者が行っていく具体的な取り組み例を表3-2に示しました。

表3-2に示した具体的な取り組み例を参考に、それぞれが「もったいない」という意識を持ち、ごみの減量化や資源化へ取り組んでいくものとします。

表3-2 具体的な取り組み例

住民	事業者	行政
レジ袋や過剰包装を断る	レジ袋や過剰包装をしない	住民の取り組みをサポートする
マイバックを持参する	マイバック運動をPRする	事業者の取り組みをサポートする
詰め替え商品を選ぶ	店頭回収を実施する	啓発活動を強化する
必要なものだけ購入する	自社でごみを出さない工夫をする	環境教育を強化する
生ごみの水切りを行う	修理推奨をPRする	出前講座等を継続する
マイ箸を持参する	裏紙を利用する	グリーン購入を継続する
壊れたものも修理して使う	適正な分別を心がける	適正分別をPRする
裏紙を利用する	・・・など	集団回収に対する支援を継続する
フリーマーケットを活用する		・・・など
再利用できるものを購入する		
適正な分別を心がける		
・・・など		

第5節 ごみ処理計画

1. 基本方針

本組合における収集・運搬・中間処理・最終処分計画を総括した基本方針は、以下に示す通りとします。

基本方針2 適正な収集・処理・処分を継続

2. 収集・運搬計画

収集・運搬計画の方向性は、以下に示すとおりとします。

- ◆ 現在の分別区分を継続
- ◆ 住民サービスの向上
- ◆ 事業系ごみの適正な監督方法を検討

(1) 現在の分別区分を継続

分別収集区分については、東部環境センターの管轄自治体とクリーンパークファイブの管轄自治体で、部分的に統一が図れていないものもありますが、現段階において統一を必要とする要因がないことから、現状の分別区分を継続していくものとします。

(2) 住民サービスの向上

ごみを迅速かつ衛生的に処理するためには、効率的なごみ収集体制が必要となります。現段階においては、地域的な偏りがない収集を目標に取り組んでいますが、必要に応じて住民サービスの向上を図るため収集体制の見直しを行うものとします。

(3) 事業系ごみの適正な監督方法を検討

事業者に対し、排出者処理責任に関する指導や、家庭系ごみと事業系ごみの分別区分の徹底を図るために許可業者への指導などが適正排出に向けた施策の一環となるため、こうした取組みについて検討していくものとします。

3. 中間処理計画

本組合における中間処理計画の方向性を、以下に示します。

- ◆ 廃棄物処理施設の適正管理を継続
- ◆ 中間処理施設の整備方針を検討
- ◆ 災害時における中間処理施設の対応

(1) 廃棄物処理施設の適正管理を継続

本組合が管轄する東部環境センター及びクリーンパークファイブなどの廃棄物処理施設については、これまでと同様に適切な補修等を継続することはもとより、施設を適正に維持管理し、施設の延命化を図っていくものとします。

また、平成 23 年 4 月 1 日施行の廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）の一部改正に伴い、廃棄物処理施設の維持管理における透明性を図るため、本組合のホームページにおいて東部環境センター及びクリーンパークファイブの各種分析結果を公表していることから、これを継続するものとします。

(2) 中間処理施設の整備方針を検討

1) クリーンパークファイブ

クリーンパークファイブについては、供用開始から 15 年目を目途に大規模補修（基幹的設備改良）の検討を行い、運転期間の延命化を図る方針とします。なお、詳細な工程や整備方針等については、精密機能検査や定期点検など結果を踏まえて、今後、総合的に判断して進めていくものとします。

2) エネルギー回収推進施設の整備に向けた検討

クリーンパークファイブ及び東部環境センターは、基幹的設備改良工事を行い、運転期間の延命化を図る方針としていますが、将来的には「熊本県一般廃棄物処理広域化計画」の進展状況を踏まえた上で、処理経費等の効率化を図るために施設の一元化を視野に入れた更新を行う必要があります。

そのため、本組合では、令和 2 年度を目途にエネルギー回収推進施設整備に向けた建設準備室の立上げ、事業実施に向けた各種検討を実施する方針としています。

（３）災害時における中間処理施設の対応

台風や地震等の大規模災害の発生時には、日常発生する廃棄物とは別に多量の災害廃棄物が発生することが想定されます。組合圏域から発生する災害廃棄物等の処理について、構成市町と組合の連携を強化し、迅速かつ適正な対応に努めます。

4. 最終処分計画

本組合における最終処分計画の方向性を、以下に示しました。

- ◆ 東部環境センター（最終処分場）の適正管理を継続
- ◆ 東部環境センター（最終処分場）の嵩上げ工事を実施
- ◆ 埋立終了後の最終処分場の適正管理を継続

（１）東部環境センター（最終処分場）の適正管理を継続

東部環境センター（ごみ焼却施設）において中間処理された残渣を、今後も東部環境センター（最終処分場）において適正処分していくものとします。

また、中間処理計画と同様に、廃棄物処理施設の維持管理における透明性を図るため、本組合のホームページにおいて東部環境センター（最終処分場）の各種分析結果を公表していることから、これを継続するものとします。

（２）東部環境センター（最終処分場）の嵩上げ工事を実施

東部環境センター（最終処分場）は、計画容量が 79,500m³ の施設であり、2 回の嵩上げ工事で計画容量に達する計画としています。

これに基づき平成 20 年度に第 1 回目の嵩上げ工事を実施し、埋立容量を 52,010m³ としましたが、延命化を図っているものの、第 3 期の嵩上げ工事が必要な時期となっていることから、第 2 回目の嵩上げ工事を実施しました。

（３）埋立終了後の最終処分場の適正管理を継続

埋立処分が終了した第 1 最終処分場及び第 2 最終処分場については、一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場に係る技術上の基準を定める省令の維持管理基準を遵守し、浸出水処理施設の適正な維持管理を継続していくものとします。

また、当該施設においても、廃棄物処理施設の維持管理における透明性を図るため、本組合のホームページにおいて各種分析結果の公表を継続するものとします。

第6節 不法投棄防止対策

不法投棄防止対策に関する基本方針は、以下に示す通りとします。

基本方針3 不法投棄防止対策の推進

(1) 住民・事業者・行政による情報ネットワークの構築

環境美化への取り組みとして、空き缶やタバコなどのポイ捨てのないまちづくりに向けた啓発活動を実施すると同時に、不法投棄などの取締りの強化を行っていくものとします。

また、こうしたまちづくりを実現していくために、住民・事業者・行政の3者による情報ネットワークの構築を進めていく必要があることから、今後検討を行っていくものとします。

(2) 不法投棄対策等の強化

自治会と連携し、パトロールなどを継続して実施していくものとします。

なお、大規模な不法投棄に対しては、警察機関と連携して対応する方針とします。

第7節 温室効果ガス削減対策

温室効果ガスの削減対策に関する基本方針は、以下に示す通りとします。

基本方針4 温室効果ガス削減の推進

(1) 温室効果ガスの削減への貢献

適正分別の推進による焼却量の削減により、焼却施設から発生する温室効果ガス（CO₂など）の排出抑制を進めていくものとします。

あわせて、廃棄物処理施設全般において、節電を継続して実施するものとします。

なお、クリーンパークファイブの長寿命化にあたっては、温室効果ガスの削減に資する設備更新を計画していくものとします。

第8節 適正処理困難物への対応

適正処理が困難な廃棄物に対する基本方針は、以下に示す通りとします。

基本方針5 適正処理困難物に対する啓発の推進

(1) 在宅医療廃棄物への対応

在宅医療に係る医療処置に伴い家庭から排出される廃棄物のうち、感染性の廃棄物や注射針などは本組合の施設では処理できないため受入は行わないものとします。

また、こうした廃棄物の処理については、各家庭で医療機関を通じて処理するものとなりますが、具体的な処分方法等については、住民に啓発していくものとします。

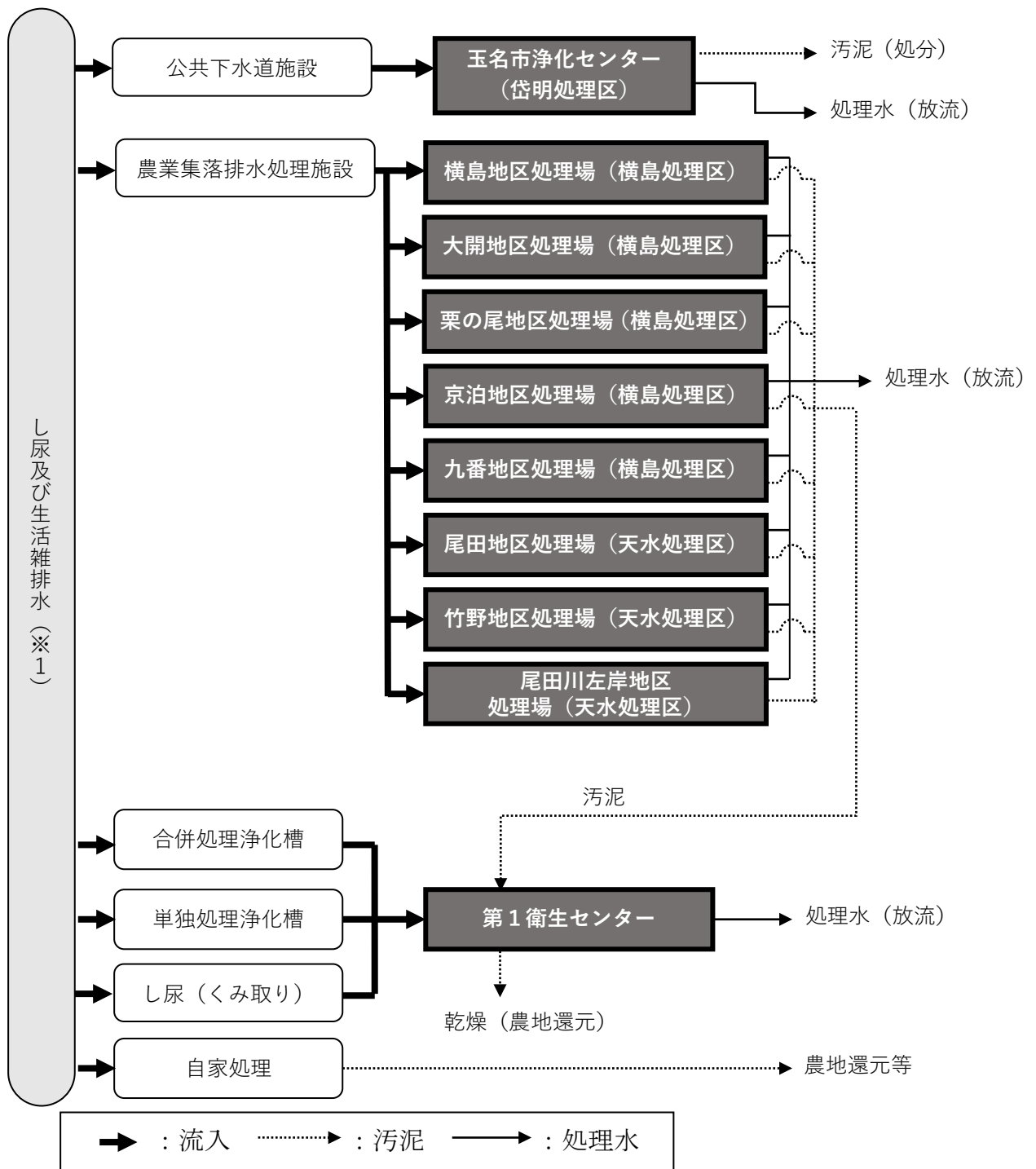
(2) 特別管理一般廃棄物及び適正処理困難物への対応

特別管理一般廃棄物は、廃棄物処理法において、ばいじん（事業者排出分）、PCB 使用製品、感染性医療廃棄物が指定されており、本組合の施設では処理・処分ができないため受入は行わないものとします。

第4章 生活排水処理の実態

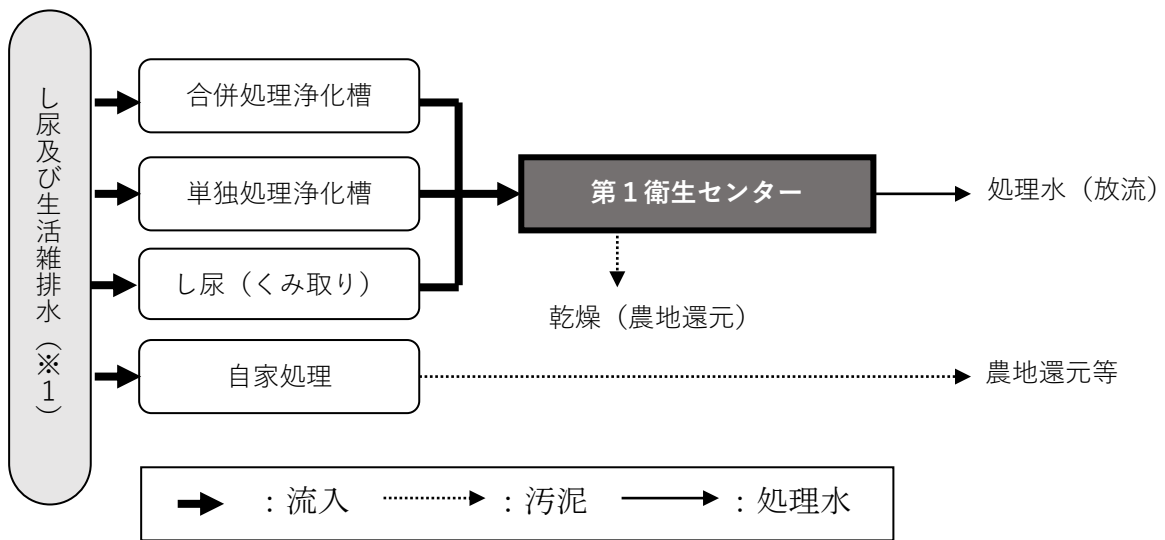
第1節 生活排水処理の体系

本組合の各構成市町における生活排水の処理フローは、図4-1～5に示す通りです。



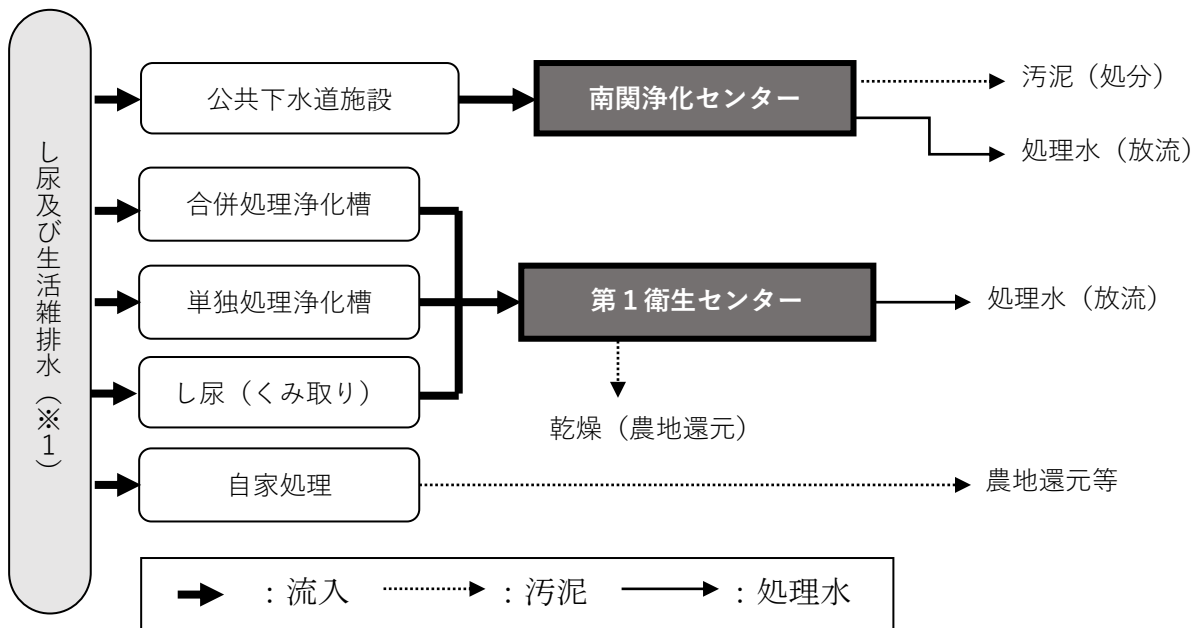
※1：単独処理浄化槽及びし尿（くみ取り）の流入は生活雑排水を除く

図4-1 生活排水処理フロー（玉名市：玉名処理区を除く）



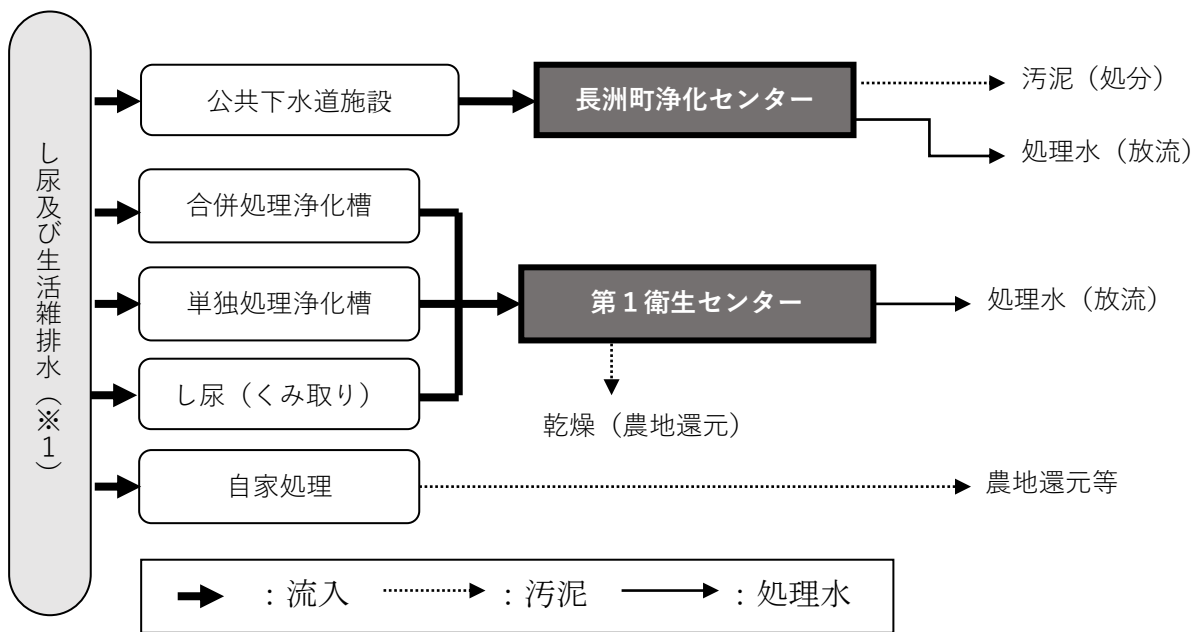
※1：単独処理浄化槽及びし尿（くみ取り）の流入は生活雑排水を除く

図 4-2 生活排水処理フロー（玉東町）



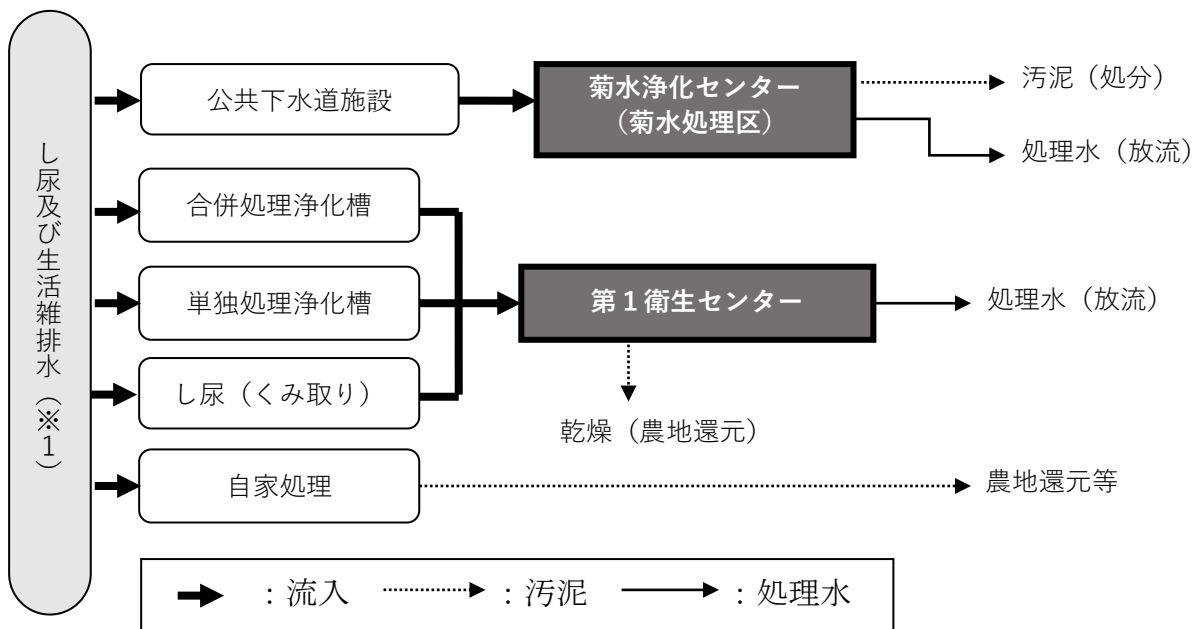
※1：単独処理浄化槽及びし尿（くみ取り）の流入は生活雑排水を除く

図 4-3 生活排水処理フロー（南関町）



※1：単独処理浄化槽及びし尿（くみ取り）の流入は生活雑排水を除く

図 4-4 生活排水処理フロー（長洲町）



※1：単独処理浄化槽及びし尿（くみ取り）の流入は生活雑排水を除く

図 4-5 生活排水処理フロー（和水町）

第2節 生活排水処理の状況

1. 生活排水処理の状況

(1) 生活排水の処理主体

各構成市町における生活排水の処理主体は、表 4-1 に示す通りです。

表 4-1 生活排水処理の処理主体

項目	生活排水の種類	処理主体						
		玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	個人	組合
公共下水道	し尿及び生活雑排水	●	-	●	●	●	-	-
農業集落排水	し尿及び生活雑排水	●	-	-	-	-	-	-
合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水	-	-	-	-	-	●	-
単独浄化槽	し尿	-	-	-	-	-	●	-
し尿（汲み取り）	し尿	-	-	-	-	-	●	-
自家処理	し尿	-	-	-	-	-	●	-
し尿処理施設	し尿及び浄化槽汚泥	●	-	-	-	-	-	●

※し尿処理施設の処理主体については、玉名市（玉名処理区）は含みません。

(2) 汚水衛生処理率の推移

本組管内における水洗化人口と汚水衛生処理率の推移は、表 4-2 及び図 4-6 に示す通りです。

本組合の汚水衛生処理率は、公共下水道、合併処理浄化槽及び農業集落排水の普及により、緩やかな増加傾向となっています。

表 4-2 水洗化人口と汚水衛生処理率の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口	人	68,904	68,254	67,479	66,672	65,977
水洗化人口	人	48,341	48,757	49,005	49,057	48,944
公共下水道人口	人	25,262	25,753	25,799	25,927	26,044
合併処理浄化槽人口	人	18,153	18,090	18,285	18,229	18,010
農業集落排水処理人口	人	4,926	4,914	4,921	4,901	4,890
汚水衛生処理率		70.2%	71.4%	72.6%	73.6%	74.2%

※汚水衛生処理率は、環境省の統計に準じて「水洗化人口（単独浄化槽除く）÷行政区域内人口」で算出しています。

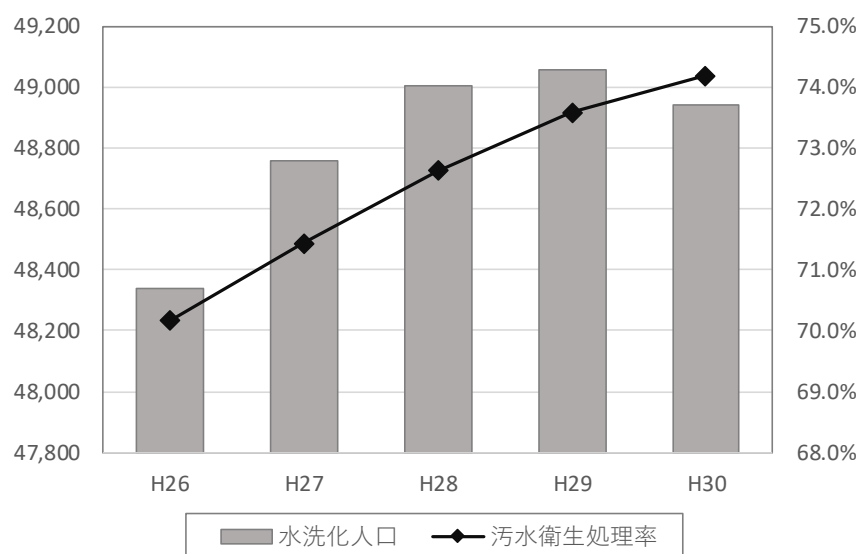


図 4-6 水洗化人口と汚水衛生処理率の推移

(3) 公共下水道事業

玉名市（岱明処理区）、南関町、長洲町、和水町（菊水処理区）では、生活環境の改善、公共用水域の水質汚濁防止を目標として、公共下水道の整備を進めています。

本事業の計画概要は表 4-3 に、公共下水道事業の進捗状況は表 4-4 に示すとおりです。

表 4-3 公共下水道事業計画の概要

処理区	区分	目標年度	面積	計画処理人口
玉名市（岱明処理区）	全体計画	令和17年 (2035年)	652.0 ha	10,450 人
南関町	全体計画	令和17年 (2035年)	118.0 ha	2,100 人
長洲町	全体計画	令和5年度 (2023年)	633.0 ha	14,300 人
和水町（菊水処理区）	全体計画	令和8年度 (2026年)	62.0 ha	1,300 人
全体	全体計画	-	1,465.0 ha	28,150 人

表 4-4 公共下水道事業計画の進捗状況

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口 (A)	人	47,054	46,659	46,191	45,665	45,243
玉名市 (岱明処理区)	人	14,051	14,032	14,006	13,816	13,664
南関町	人	10,428	10,209	10,086	9,934	9,740
長洲町	人	16,463	16,336	16,125	16,049	16,048
和水町 (菊水処理区)	人	6,112	6,082	5,974	5,866	5,791
公共下水道人口 (B)	人	25,262	25,753	25,799	25,927	26,044
玉名市 (岱明処理区)	人	8,752	9,006	9,136	9,149	9,257
南関町	人	1,616	1,728	1,629	1,678	1,510
長洲町	人	13,867	13,942	13,902	13,902	14,067
和水町 (菊水処理区)	人	1,027	1,077	1,132	1,198	1,210
普及率 (B/A)	-	53.7%	55.2%	55.9%	56.8%	57.6%
玉名市 (岱明処理区)	-	62.3%	64.2%	65.2%	66.2%	67.7%
南関町	-	15.5%	16.9%	16.2%	16.9%	15.5%
長洲町	-	84.2%	85.3%	86.2%	86.6%	87.7%
和水町 (菊水処理区)	-	16.8%	17.7%	18.9%	20.4%	20.9%
全体計画に対する普及率	-	89.7%	91.5%	91.6%	92.1%	92.5%
玉名市 (岱明処理区)	-	83.8%	86.2%	87.4%	87.6%	88.6%
南関町	-	77.0%	82.3%	77.6%	79.9%	71.9%
長洲町	-	97.0%	97.5%	97.2%	97.2%	98.4%
和水町 (菊水処理区)	-	79.0%	82.8%	87.1%	92.2%	93.1%

※全体計画に対する普及率は、「公共下水道人口÷計画処理人口(表2-3)」により試算しています。

(4) 農業集落排水処理事業

玉名市（横島処理区、天水処理区）では、農業の生産環境や農村の生活環境の改善を図るとともに、公共用水域の水質保全を目的とした農業集落排水処理施設を整備しています。

本事業の計画概要は表 4-5 に、農業集落排水処理事業の進捗状況は表 4-6 に示すとおり着実に事業を進めています。

表 4-5 農業集落排水処理事業計画の概要

処理区	供用開始	計画戸数	計画処理人口
横島地区	平成5年9月	184 戸	860 人
栗の尾地区	平成7年4月	441 戸	1,890 人
京泊地区	平成7年6月	357 戸	1,460 人
大開地区	平成10年4月	328 戸	1,340 人
九番地区	平成20年8月	269 戸	1,240 人
尾田地区	平成5年10月	149 戸	690 人
竹野地区	平成7年4月	134 戸	590 人
尾田川左岸地区	平成21年8月	353 戸	1,530 人
全体	-	2,215 戸	9,600 人

表 4-6 農業集落排水処理事業の進捗状況

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口 (A)	人	11,679	11,567	11,428	11,334	11,225
玉名市（横島処理区）	人	5,325	5,298	5,258	5,202	5,157
玉名市（天水処理区）	人	6,354	6,269	6,170	6,132	6,068
農業集落排水人口 (B)	人	4,926	4,914	4,921	4,901	4,890
玉名市（横島処理区）	人	3,842	3,836	3,858	3,840	3,825
玉名市（天水処理区）	人	1,084	1,078	1,063	1,061	1,065
普及率 (B/A)	-	42.2%	42.5%	43.1%	43.2%	43.6%
玉名市（横島処理区）	-	72.2%	72.4%	73.4%	73.8%	74.2%
玉名市（天水処理区）	-	17.1%	17.2%	17.2%	17.3%	17.6%
全体計画に対する普及率	-	51.3%	51.2%	51.3%	51.1%	50.9%
玉名市（横島処理区）	-	56.6%	56.5%	56.8%	56.6%	56.3%
玉名市（天水処理区）	-	38.6%	38.4%	37.8%	37.8%	37.9%

※全体計画に対する普及率は、「農業集落排水人口÷計画処理人口（表2-5）」により試算しています。

(5) 合併処理浄化槽事業

各構成市町においては、公共下水道事業または、農業集落排水処理事業の認可区域を除いた区域において、合併処理浄化槽の設置に関する推進を図っています。

合併処理浄化槽設置に関する進捗状況は、表 4-7 に示す通りで、横ばいとなっています。

表 4-7 合併処理浄化槽設置の進捗状況

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口 (A)	人	68,904	68,254	67,479	66,672	65,977
玉名市 (玉名処理区を除く)	人	25,730	25,599	25,434	25,150	24,889
玉東町	人	5,476	5,463	5,363	5,295	5,295
南関町	人	10,428	10,209	10,086	9,934	9,740
長洲町	人	16,463	16,336	16,125	16,049	16,048
和水町	人	10,807	10,647	10,471	10,244	10,005
合併処理浄化槽人口 (B)	人	18,153	18,090	18,285	18,229	18,010
玉名市 (玉名処理区を除く)	人	3,589	3,568	3,543	3,524	3,410
玉東町	人	2,931	3,009	3,224	3,240	3,260
南関町	人	3,539	3,548	3,586	3,597	3,645
長洲町	人	291	251	235	210	192
和水町	人	7,803	7,714	7,697	7,658	7,503
普及率 (B/A)	-	26.3%	26.5%	27.1%	27.3%	27.3%
玉名市 (玉名処理区を除く)	-	13.9%	13.9%	13.9%	14.0%	13.7%
玉東町	-	53.5%	55.1%	60.1%	61.2%	61.6%
南関町	-	33.9%	34.8%	35.6%	36.2%	37.4%
長洲町	-	1.8%	1.5%	1.5%	1.3%	1.2%
和水町	-	72.2%	72.5%	73.5%	74.8%	75.0%

2. し尿及び浄化槽汚泥の排出状況

本組合におけるし尿及び浄化槽汚泥の処理人口及び排出状況の推移は、表 4-8 に示す通りです。

し尿収集人口及び単独処理浄化槽人口は、公共下水道人口の増加及び人口減少を背景に、減少傾向となっています。また合併処理浄化槽人口、農業集落排水人口は人口減少に伴い、減少傾向となっています。

し尿の排出量は減少傾向、浄化槽汚泥の排出量は増加傾向となっています。

なお、し尿及び浄化槽汚泥の割合は、平成 30 年度実績でし尿が 30.9%、浄化槽汚泥が 69.1% となっており、浄化槽汚泥主体に移行しています。

表 4-8 処理人口及びし尿・浄化槽汚泥の排出状況の推移

項目		単位	H26	H27	H28	H29	H30
人 口	処理人口	人	43368	42243	41427	40499	39692
	し尿収集人口	人	13,013	12,269	11,454	10,843	10,435
	浄化槽人口	人	30355	29974	29973	29656	29257
	合併処理浄化槽人口	人	18,153	18,090	18,285	18,229	18,010
	農業集落排水処理人口	人	4,926	4,914	4,921	4,901	4,890
	単独処理浄化槽人口	人	7,276	6,970	6,767	6,526	6,357
排 出 量	し尿年間排出量	kL/年	11,896	11,541	11,568	10,484	10,315
	一日排出量	kL/日	32.59	31.62	31.69	28.72	28.26
	原単位	L/(人・日)	2.50	2.58	2.77	2.65	2.71
	浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	22,602	22,812	22,826	22,626	23,047
	一日排出量	kL/日	61.92	62.5	62.54	61.99	63.14
	原単位	L/(人・日)	2.04	2.09	2.09	2.09	2.16
	総排出量	kL/年	34,498	34,353	34,394	33,110	33,362
	一日排出量	kL/日	94.51	94.12	94.23	90.71	91.4
	原単位	L/(人・日)	2.18	2.23	2.27	2.24	2.30
割 合	し尿		34.5%	33.6%	33.6%	31.7%	30.9%
	浄化槽汚泥		65.5%	66.4%	66.4%	68.3%	69.1%

※公共下水道人口は含みません。

3. し尿及び浄化槽汚泥の排出原単位の推移

し尿及び浄化槽汚泥の排出原単位の推移は、表 4-9 及び図 4-7 に示す通りです。

本組合のし尿の原単位の推移は増加傾向、浄化槽汚泥の推移は微増傾向となっています。

表 4-9 し尿及び浄化槽汚泥の排出原単位の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
し尿原単位	L/(人・日)	2.50	2.58	2.77	2.65	2.71
浄化槽汚泥原単位	L/(人・日)	2.04	2.09	2.09	2.09	2.16

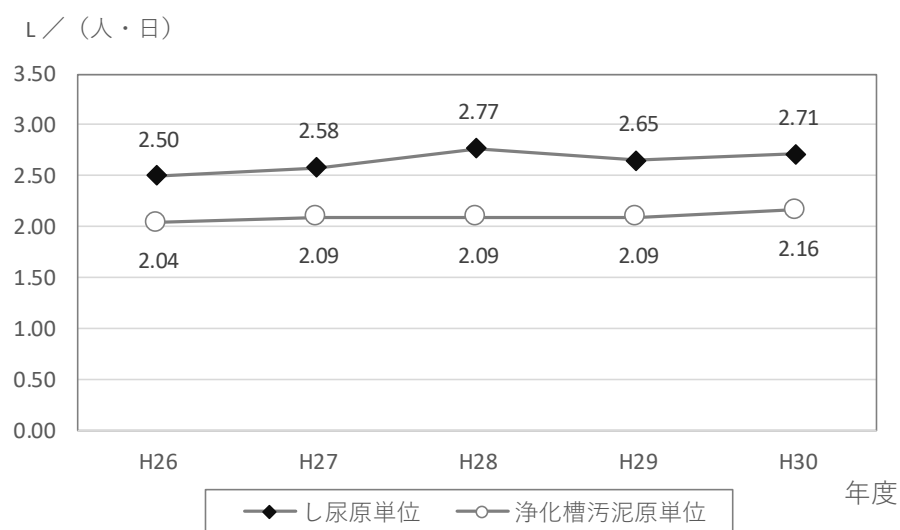


図 4-7 し尿及び浄化槽汚泥の排出原単位の推移

4. し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬に関する状況

本組合管内において排出されたし尿及び浄化槽汚泥は、許可業者によって収集・運搬及び清掃が行われています。なお、長洲町においてはし尿のみ収集・運搬を委託しています。

本組合管内における収集・運搬の状況は、表 4-10 に示す通りです

表 4-10 収集・運搬の状況

項目	し尿	浄化槽汚泥
区分	収集・運搬	収集・運搬、清掃
形態	許可業者	
	委託業者（長洲町）	許可業者（長洲町）

5. 中間処理の状況

（1）し尿処理施設の概要

本組合管内から収集されたし尿及び浄化槽汚泥は、本組合が管理する第 1 衛生センターにて処理を行っています。

本組合のし尿処理施設は、玉名市にある第 1 衛生センターと和水町にある第 2 衛生センターの両施設を有し、処理しておりましたが、両施設の著しい老朽化や近年の生活様式の変化に伴い、両施設を統合することにより、処理規模を拡張し、1 日に 90kL のし尿・浄化槽汚泥を処理できる能力を持ち、高負荷脱窒素処理方式に浄化槽汚泥の混入の増加にも柔軟に対応できる膜分離装置を付加し、有機性廃棄物のリサイクル推進施設として令和元年 8 月にリニューアルしました。

各施設の概要は、表 4-11 に示す通りです。

表 4-11 第 1 衛生センターの概要

項 目	概 要
施設名称	第 1 衛生センター
所在地	玉名市岱明町野口1631番地 1
処理対象物	し尿及び浄化槽汚泥
処理能力	90kL （し尿：24 kL/日 浄化槽汚泥：66 kL/日）
処理方式	膜分離高負荷生物脱窒素処理方式 + 高度処理
資源化方式	乾燥設備による肥料化
竣工年月	平成8年3月
リニューアル建設工事	平成28年10月1日～令和元年8月31日

(2) し尿処理事業費の推移

本組合のし尿処理経費に関する推移を、表 4-12 に示しました。

年間処理量に対する建設・改良費を除く 1kL 当たりの処理経費及び処理人口に対する 1 人当たりの処理経費は、減少傾向となっています。

表 4-12 し尿処理事業費の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
生活排水処理事業経費	千円/年	222,863	198,150	383,920	1,144,182	910,136
建設・改良費	千円/年	0	9,160	207,770	988,074	753,240
工事費	千円/年	0	0	201,000	975,120	743,364
調査費	千円/年	0	5,350	2,294	0	0
その他	千円/年	0	3,810	4,476	12,954	9,876
処理及び維持管理費	千円/年	157,782	145,961	143,494	138,963	149,350
その他	千円/年	65,081	43,029	32,656	17,145	7,546
年間収集量	kL/年	34,498	34,353	34,394	33,110	33,362
1kL当たりの処理経費	円/kL	6.5	5.8	11.2	34.6	27.3
建設・改良費を除く 1kL当たり処理経費	円/kL	6.5	5.6	5.3	5.1	5.0
行政区内人口	人	111,250	110,232	109,287	108,372	107,407
1人当たりの処理経費	円/人	2.0	1.8	3.5	10.6	8.5
建設・改良費を除く 1人当たり処理経費	円/人	2.0	1.7	1.6	1.4	1.5

※行政区内人口は組合圏域人口

第3節 生活排水処理・処分の現状

全国の処理形態別人口の推移を表 4-13 に示しました。

全国的な動向としては下水道による水洗化と合併処理浄化槽の整備が進む一方、単独処理浄化槽人口、し尿収集人口、自家処理人口が減少する傾向となっています。浄化槽法の改正により、平成 13 年 4 月から単独処理浄化槽の新設ができないため、今後も単独処理浄化槽人口の減少が顕著になると考えられます。

全国の下水道水洗化人口、合併処理浄化槽人口（集落排水処理人口及び漁業集落排水処理人口を含む）の合計を総人口で除した汚水衛生処理率は、平成 29 年度において約 86.6%であり、本組合管内の汚水衛生処理率は 73.6%低い値となっています。

次に、処理人口及びし尿・浄化槽汚泥の排出状況の全国推移を表 4-14 に示しました。

全国的な処理人口及びし尿・浄化槽汚泥の排出状況の推移は、本組合と同様に減少傾向となっています。全国的なし尿及び浄化槽汚泥の排出割合は、平成 29 年度実績で、し尿 29.5%、浄化槽汚泥 70.5%と浄化槽汚泥の構成比が高くなっています。

全国的な汚水衛生処理率の向上に当たっては、環境省、国土交通省、農林水産省の 3 省が策定した「生活排水処理施設整備計画策定マニュアル」に基づいて、今後の生活排水処理施設整備の効率化を図るため、合併処理浄化槽、下水道、農業集落排水処理施設の建設費・維持管理費等について比較検討を行い、下水道だけでなく合併処理浄化槽や農業集落排水処理施設など、地域の特性に応じた最も有効な手法を選択するなどの検討が進められています。

なお、本組合管内においても、公共下水道事業、農業集落排水処理事業、合併処理浄化槽設置事業などを地域の特性に応じて選択しており、今後も汚水衛生処理率の向上に努めるものとします。

表 4-13 全国の処理形態別人口の推移

項目	単位	H26	H27	H28	H29
総人口	千人	128,181	128,039	127,924	127,718
計画処理区域内人口	千人	128,181	128,039	127,924	127,719
①下水道人口	千人	93,685	94,463	95,056	95,703
②合併処理浄化槽人口	千人	14,865	14,894	14,917	14,877
③単独処理浄化槽人口	千人	11,822	11,415	11,018	10,543
④し尿収集人口	千人	7,727	7,197	6,871	6,528
⑤自家処理人口	千人	83	70	62	68
水洗化率	-	93.9%	94.3%	94.6%	94.8%
汚水衛生処理率	-	84.7%	85.4%	86.0%	86.6%

出典：「日本の廃棄物処理 平成29年度版」（平成31年4月）

※表中の水洗化率は「 $(①+②+③) \div \text{総人口} \times 100$ 」で算出しています。

※表中の汚水衛生処理率は「 $(①+②) \div \text{総人口} \times 100$ 」で算出しています。

表 4-14 処理人口及びし尿・浄化槽汚泥の排出状況の全国推移

項目		単位	H26	H27	H28	H29
人口	処理区域内人口	千人	34414.1	33505.7	32806	31948
	し尿収集人口	千人	7,727	7,197	6,871	6,528
	浄化槽人口	千人	26,687	26,309	25,935	25,420
	合併処理浄化槽人口	千人	14,865	14,894	14,917	14,877
	単独処理浄化槽人口	千人	11,822	11,415	11,018	10,543
排出量	し尿年間排出量	千kL/年	6,864	6,634	6,326	6,049
		一日排出量	千kL/日	18.81	18.17	17.33
		原単位	L/(人・日)	2.43	2.52	2.54
	浄化槽汚泥年間排出量	千kL/年	14,625	14,535	14,554	14,486
		一日排出量	千kL/日	40.07	39.82	39.87
		原単位	L/(人・日)	1.50	1.51	1.54
	総排出量	千kL/年	21,490	21,169	20,880	20,535
		一日排出量	千kL/日	58.88	57.99	57.2
		原単位	L/(人・日)	1.71	1.73	1.74
割合	し尿		31.9%	31.3%	30.3%	29.5%
	浄化槽汚泥		68.1%	68.7%	69.7%	70.5%

出典：「日本の廃棄物処理 平成29年度版」（平成31年4月）

※表中の合併処理浄化槽人口にはコミュニティプラント人口や集落排水人口を含んでいます。

第4節 生活排水処理の課題

本組合管内における生活排水処理に関する課題を以下に整理しました。

(1) 切り替えに関する費用負担

公共下水道、農業集落排水への切り替え及び合併浄化槽設置に関しては、個人としての費用負担の関係から、切り替えが進まないことが課題となっています。

(2) 合併処理浄化槽の適正管理についての啓発

合併処理浄化槽については、浄化槽法により年1回の法定検査が義務付けられていますが、こうした検査については設置者個人が行うこととなるため、合併処理浄化槽の適正管理の必要性に関する啓発が課題となっています。

第5章 生活排水処理基本計画

第1節 基本理念

本組合管内の汚水衛生処理率は、平成29年度実績で73.6%と全国平均の86.6%より低い状況となっています。

そのため本組合管内では、「公共下水道事業及び農業集落排水処理事業の更なる整備・普及」、「集合処理区域以外の地域や点在家屋等への合併処理浄化槽の整備・普及」、「くみ取り及び単独浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えの促進」、「水環境保全に向けた取り組みの重要性を住民に理解して頂けるような啓発活動」を推進していくものとします。

また、本組合としては「生活排水処理施設の適正な管理を継続」を進めていく方針とします。

以下に、本組合としての生活排水処理に関する基本方針を示しました。

基本方針1：公共下水道及び農業集落排水への接続率の向上

玉名市（岱明処理区）、南関町、長洲町、和水町（菊水処理区）については、公共下水道事業処理区域内にある家屋等については、公共下水道への接続に関する啓発・指導を行います。あわせて、認可区域の公共下水道の敷設を推進していくものとします。

玉名市（横島処理区、天水処理区）については、農業集落排水への接続に関する啓発・指導を行うものとします。

基本方針2：合併処理浄化槽の普及

構成市町においては、公共下水道事業や農業集落排水処理事業などの集合処理区域外の地域においては、率先して合併処理浄化槽を整備する方針とし、住民への啓発・指導を行うものとします。

基本方針 3：合併処理浄化槽への切り替え促進

構成市町においては、生活排水状況の改善のために、くみ取り及び単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に切り替えすることに対しても、積極的な啓発・指導を行っていくものとしします。

基本方針 4：住民に分かりやすい生活排水処理事業の展開

生活排水処理事業の重要性を分かりやすく住民に伝え、住民一人ひとりが水環境保全に向けた取り組みができる環境にしていくものとしします。

基本方針 5：保有施設の適切な維持管理を継続

本組合が保有している生活排水処理に関する処理施設については、これまで同様に適正な維持管理を継続していくものとしします。

第2節 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み

1. 生活排水処理人口の見込み

(1) 公共下水道人口

本計画における公共下水道人口の予測値は、表 5-1 に示す通りとします。

各構成市町の公共下水道人口は、構成市町事業計画の事業計画内容を踏まえたものとなりました。

表 5-1 公共下水道人口の予測値

	単位	H30	R5	R10	R15
玉名市（岱明処理区）	人	9,257	9,657	10,057	10,450
南関町	人	1,510	1,684	1,857	2,031
長洲町	人	14,067	14,078	13,874	13,700
和水町（菊水処理区）	人	1,210	1,267	1,283	1,239
合計	人	26,044	26,685	27,071	27,419

(2) 農業集落排水人口

本計画における農業集落排水人口の予測値は、表 5-2 に示す通りとします。

平成 26 年～30 年度の実績の推移を考慮した上で、農業集落人口が減少する計画値としました。

表 5-2 農業集落排水人口の予測値

	単位	H30	R5	R10	R15
玉名市（横島処理区）	人	3,825	3,794	3,762	3,730
玉名市（天水処理区）	人	1,065	1,057	1,047	1,038
合計	人	4,890	4,851	4,809	4,768

(3) 合併処理浄化槽人口

本計画における合併処理浄化槽人口の予測値は、表 5-3 に示す通りとします。

本計画では、①新規設置、②くみ取りからの切り替え、③単独処理浄化槽からの切り替えを想定し、平成 26～30 年度の実績の推移を考慮した上で、人口減少による合併処理浄化槽人口が減少する計画としました。

表 5-3 合併処理浄化槽人口の予測値

	単位	H30	R5	R10	R15
玉名市（岱明処理区）	人	3,410	2,948	2,703	2,394
玉東町	人	3,260	3,297	3,165	3,138
南関町	人	3,645	3,717	3,655	3,515
長洲町	人	192	170	147	125
和水町	人	7,503	7,501	7,311	7,074
合計	人	18,010	17,633	16,981	16,246

(4) 非水洗化人口及び単独処理浄化槽人口

本計画における非水洗化人口（くみ取り及び自家処理人口）及び単独処理浄化槽人口の予測値は、表 5-4～5 に示す通りとします。

本計画では、公共下水道及び農業集落排水への接続、合併処理浄化槽の設置などに伴い、減少傾向となる計画としました。

表 5-4 非水洗化人口（くみ取り及び自家処理人口）の予測値

	単位	H30	R5	R10	R15
玉名市（岱明処理区）	人	3,951	3,240	2,735	2,355
玉東町	人	309	107	47	23
南関町	人	4,070	3,531	3,147	2,843
長洲町	人	1,577	1,209	921	701
和水町	人	769	422	251	159
合計	人	10,676	8,509	7,101	6,081

表 5-5 単独処理浄化槽人口の予測値

	単位	H30	R5	R10	R15
玉名市（岱明処理区）	人	3,381	3,058	2,801	2,592
玉東町	人	1,726	1,508	1,302	1,096
南関町	人	515	396	307	239
長洲町	人	212	124	74	44
和水町	人	523	380	290	228
合計	人	6,357	5,466	4,774	4,199

(5) 生活排水処理人口のまとめ

本組合管内全域における生活排水処理人口の見込みは、表 5-6 に示す通りです。

本組合管内では、公共下水道の整備及び接続の促進、農業集落排水への接続の促進を図ると同時に、くみ取り及び単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ切り替える施策を積極的に実施することにより、将来的には汚水衛生処理率を約 89.6%とする目標としました。

なお、構成市町別の生活排水処理人口の見込みは、表 5-7～11 に示す通りです。

表 5-6 生活排水処理人口の見込み（組合全域）

項目		年度			
		実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人	65,977	63,144	60,736	58,713
計画処理区域内人口	人	65,977	63,144	60,736	58,713
非水洗化人口	人	10,676	8,509	7,101	6,081
し尿収集人口	人	10,435	8,317	6,941	5,944
自家処理人口	人	241	192	160	137
水洗化人口	人	55,301	54,635	53,635	52,632
公共下水道人口	人	26,044	26,685	27,071	27,419
浄化槽人口	人	29,257	27,950	26,564	25,213
合併処理浄化槽人口	人	18,010	17,633	16,981	16,246
農業集落排水処理人口	人	4,890	4,851	4,809	4,768
単独処理浄化槽人口	人	6,357	5,466	4,774	4,199
汚水衛生処理率		83.8%	86.5%	88.3%	89.6%

表 5-7 生活排水処理人口の見込み（玉名市：玉名処理区除く）

項目 \ 年度		実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人	24,889	23,754	23,105	22,559
計画処理区域内人口	人	24,889	23,754	23,105	22,559
非水洗化人口	人	3,951	3,240	2,735	2,355
し尿収集人口	人	3,818	3,131	2,643	2,276
自家処理人口	人	133	109	92	79
水洗化人口	人	20,938	20,514	20,370	20,204
公共下水道人口	人	9,257	9,657	10,057	10,450
浄化槽人口	人	11,681	10,857	10,313	9,754
合併処理浄化槽人口	人	3,410	2,948	2,703	2,394
農業集落排水処理人口	人	4,890	4,851	4,809	4,768
単独処理浄化槽人口	人	3,381	3,058	2,801	2,592
汚水衛生処理率		84.1%	86.4%	88.2%	89.6%

表 5-8 生活排水処理人口の見込み（玉東町）

項目 \ 年度		実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人	5,295	4,912	4,514	4,257
計画処理区域内人口	人	5,295	4,912	4,514	4,257
非水洗化人口	人	309	107	47	23
し尿収集人口	人	282	98	43	21
自家処理人口	人	27	9	4	2
水洗化人口	人	4,986	4,805	4,467	4,234
公共下水道人口	人	0	0	0	0
浄化槽人口	人	4,986	4,805	4,467	4,234
合併処理浄化槽人口	人	3,260	3,297	3,165	3,138
農業集落排水処理人口	人	0	0	0	0
単独処理浄化槽人口	人	1,726	1,508	1,302	1,096
汚水衛生処理率		94.2%	97.8%	99.0%	99.5%

表 5-9 生活排水処理人口の見込み（南関町）

項目		年度		実績←→推計			
				H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人			9,740	9,328	8,966	8,628
計画処理区域内人口	人			9,740	9,328	8,966	8,628
非水洗化人口	人			4,070	3,531	3,147	2,843
し尿収集人口	人			4,022	3,489	3,110	2,809
自家処理人口	人			48	42	37	34
水洗化人口	人			5,670	5,797	5,819	5,785
公共下水道人口	人			1,510	1,684	1,857	2,031
浄化槽人口	人			4,160	4,113	3,962	3,754
合併処理浄化槽人口	人			3,645	3,717	3,655	3,515
農業集落排水処理人口	人			0	0	0	0
単独処理浄化槽人口	人			515	396	307	239
汚水衛生処理率				58.2%	62.1%	64.9%	67.0%

表 5-10 生活排水処理人口の見込み（長洲町）

項目		年度		実績←→推計			
				H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人			16,048	15,580	15,016	14,569
計画処理区域内人口	人			16,048	15,580	15,016	14,569
非水洗化人口	人			1,577	1,209	921	701
し尿収集人口	人			1,569	1,203	916	697
自家処理人口	人			8	6	5	4
水洗化人口	人			14,471	14,371	14,095	13,868
公共下水道人口	人			14,067	14,078	13,874	13,700
浄化槽人口	人			404	294	221	169
合併処理浄化槽人口	人			192	170	147	125
農業集落排水処理人口	人			0	0	0	0
単独処理浄化槽人口	人			212	124	74	44
汚水衛生処理率				90.2%	92.2%	93.9%	95.2%

表 5-11 生活排水処理人口の見込み（和水町）

項目 \ 年度		実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
行政区域内人口	人	10,005	9,570	9,135	8,700
計画処理区域内人口	人	10,005	9,570	9,135	8,700
非水洗化人口	人	769	422	251	159
し尿収集人口	人	744	408	243	154
自家処理人口	人	25	14	8	5
水洗化人口	人	9,236	9,148	8,884	8,541
公共下水道人口	人	1,210	1,267	1,283	1,239
浄化槽人口	人	8,026	7,881	7,601	7,302
合併処理浄化槽人口	人	7,503	7,501	7,311	7,074
農業集落排水処理人口	人	0	0	0	0
単独処理浄化槽人口	人	523	380	290	228
汚水衛生処理率		92.3%	95.6%	97.3%	98.2%

第3節 生活排水処理の目標

本計画の生活排水処理に関する基本方針として設定した「公共下水道等への接続率の向上及び施設整備の推進」及び「合併処理浄化槽の普及」に基づき、公共下水道、合併処理浄化槽の整備・転換を促すことにより、生活排水処理の適正化を進めていくものとします。

また、公共下水道及び合併処理浄化槽の整備を進めることにより、本計画の目標年度である令和15年度においては、施設整備や施策の展開を継続している段階であるため、当面の目標として汚水衛生処理率を89.7%まで引き上げることとしました。

計画目標年度：令和15年度

本計画での達成目標

【汚水衛生処理率】

⇒ 約89.6%まで引き上げ（平成30年度実績：83.8%）

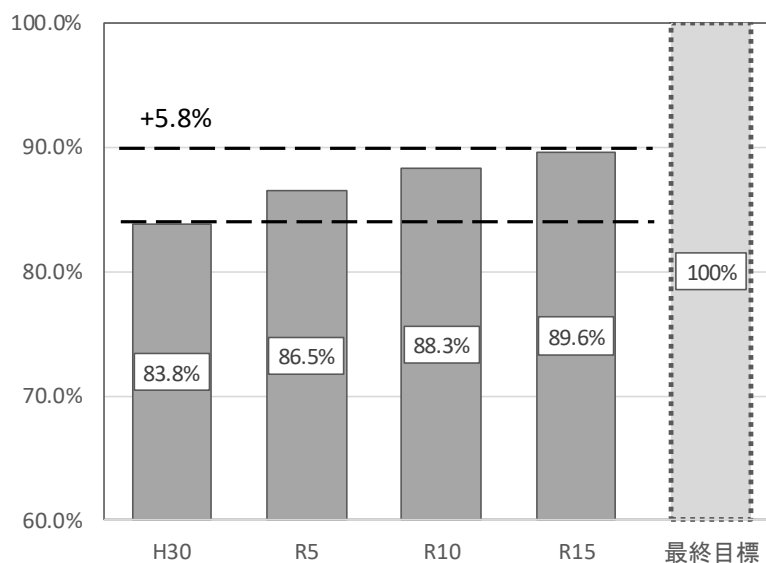


図 5-1 達成目標

第4節 し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

1. 収集・運搬計画

し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬計画では、以下の方針を実施していくものとします。

◆現行の収集・運搬体制を継続

し尿及び浄化槽汚泥の収集は構成市町とし、これまで同様、許可業者による収集・運搬体制を継続していく方針とします。なお、長洲町についてはし尿の収集・運搬は委託業者にて行う方針とします。

2. 中間処理・最終処分計画

本中間処理及び最終処分計画では、以下の方針を実施していくものとします。

◆現行の処理・処分を継続

◆施設の適切な維持管理を継続

(1) 現行の処理・処分を継続

し尿及び浄化槽汚泥の中間処理については、第1衛生センターにおいて適正に処理を行っていくものとします。

また、発生する汚泥については肥料化などの資源化を推進し、同センターから排出されるし渣については現在と同様に、焼却処理するものとします。

表 5-12 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（本組合全域）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	10,315	7,791	6,367	5,383
一日排出量	kL/日	28.26	21.35	17.44	14.75
原単位	L/(人・日)	2.71	2.57	2.51	2.48
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	23,047	19,477	17,774	16,224
一日排出量	kL/日	63.14	53.36	48.7	44.45
原単位	L/(人・日)	2.16	1.92	1.84	1.76
総排出量	kL/年	33,362	27,268	24,141	21,607
一日排出量	kL/日	91.4	74.71	66.14	59.20
原単位	L/(人・日)	2.3	2.07	1.98	1.9

表 5-13 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（玉名市：岱明処理区除く）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	2,667	2,223	1,877	1,616
一日排出量	kL/日	7.31	6.09	5.14	4.43
原単位	L/(人・日)	1.91	1.95	1.94	1.95
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	8,238	6,854	6,282	5,662
一日排出量	kL/日	22.57	18.78	17.21	15.51
原単位	L/(人・日)	1.93	1.73	1.67	1.59
総排出量	kL/年	10,905	9,077	8,159	7,278
一日排出量	kL/日	29.88	24.87	22.35	19.94
原単位	L/(人・日)	1.93	1.78	1.73	1.66

表 5-14 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（玉東町）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	676	208	91	45
一日排出量	kL/日	1.85	0.57	0.25	0.12
原単位	L/(人・日)	6.56	5.82	5.81	5.71
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	3,228	3,227	2,995	2,830
一日排出量	kL/日	8.84	8.84	8.21	7.75
原単位	L/(人・日)	1.77	1.84	1.84	1.83
総排出量	kL/年	3,904	3,435	3,086	2,875
一日排出量	kL/日	10.7	9.41	8.45	7.88
原単位	L/(人・日)	2.03	1.92	1.87	1.85

表 5-15 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（南関町）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	3,797	3,390	3,021	2,729
一日排出量	kL/日	10.4	9.29	8.28	7.48
原単位	L/(人・日)	2.59	2.66	2.66	2.66
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	4,484	3,887	3,584	3,284
一日排出量	kL/日	12.28	10.65	9.82	9
原単位	L/(人・日)	2.95	2.59	2.48	2.4
総排出量	kL/年	8,281	7,277	6,605	6,013
一日排出量	kL/日	22.69	19.94	18.1	16.47
原単位	L/(人・日)	2.77	2.62	2.56	2.51

表 5-16 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（長洲町）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	1,619	1,231	938	714
一日排出量	kL/日	4.44	3.37	2.57	1.96
原単位	L/(人・日)	2.83	2.8	2.81	2.81
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	1,786	1,162	914	723
一日排出量	kL/日	4.89	3.18	2.5	1.98
原単位	L/(人・日)	12.1	10.83	11.31	11.75
総排出量	kL/年	3,405	2,393	1,852	1,437
一日排出量	kL/日	9.33	6.56	5.07	3.94
原単位	L/(人・日)	4.73	4.38	4.46	4.55

表 5-17 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の見込み（和水町）

項目	単位	実績←	→推計		
		H30	R5	R10	R15
し尿年間排出量	kL/年	1,556	739	440	279
一日排出量	kL/日	4.26	2.02	1.21	0.76
原単位	L/(人・日)	5.73	4.95	4.98	4.94
浄化槽汚泥年間排出量	kL/年	5,311	4,435	4,050	3,740
一日排出量	kL/日	14.55	12.15	11.1	10.25
原単位	L/(人・日)	1.81	1.54	1.46	1.4
総排出量	kL/年	6,867	5,174	4,490	4,019
一日排出量	kL/日	18.81	14.18	12.3	11.01
原単位	L/(人・日)	2.14	1.71	1.57	1.48

（２）施設の適切な維持管理を継続

第１衛生センターは、今後も適切な維持管理を継続することはもとより、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行規則第５条に基づき実施する精密機能検査を継続して実施することにより、施設状況及び処理機能を把握した上で、適切な運転管理を行っていくものとします。

第5節 住民に対する広報・啓発活動計画

1. 住民・事業者に対する啓発活動

生活排水の流入する河川及び海域の環境負荷を低減していくことが必要となるため、生活排水処理事業の重要性を、わかりやすく住民へ伝えることを目的とした啓発活動を推進していくものとします。

2. 地域に関する諸計画との関係

構成市町の総合計画や公共下水道事業計画などを踏まえた上で、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理のための方策を講じていくものとします。

また、地域の開発計画等の作成に当たっては、公共下水道、農業集落排水への接続を指導します。

あわせて、こうした事業に該当しない地域については、合併処理浄化槽の設置及び切り替えの指導をします。

第6章 地域特性

第1節 自然環境

1. 設立の経緯及び範囲

有明広域行政事務組合は、昭和45年7月に荒尾市、玉名市、岱明町、横島町、天水町、玉東町、菊水町、三加和町、南関町、長洲町の2市8町により、「有明広域市町村圏協議会」として発足し、平成6年4月に圏域内の一部事務組合を複合化し「有明広域行政事務組合」が設立されました。

その後、平成17年10月に旧玉名市、岱明町、横島町、天水町が合併し「玉名市」に、平成18年3月に菊水町、三加和町が合併し「和水町」となり、本組合は現在2市4町で構成されています。

なお、本組合では、ごみを処理する構成市町は、荒尾市を除く、玉名市、玉東町、南関町、長洲町、和水町の1市4町となります。

生活排水を処理する構成市町は、荒尾市及び玉名市（旧玉名地区）を除く、玉名市（岱明町、横島町、天水町）、玉東町、南関町、長洲町、和水町の1市4町となっています。



出典：有明広域行政事務組合のホームページ

図 6-1 本組合構成市町

2. 地域特性

本組合は、熊本県の北部に位置しており、北は福岡県大牟田市、南は熊本市に隣接し、九州のほぼ中央にあります。

圏域の中心を流れる菊池川が有明海へ注ぎ、県立公園の小岱山や温泉などの豊かな自然環境に恵まれた地域となっています。

3. 気象概要

本組合管内の代表として、岱明気象観測所における過去 5 年間（平成 26 年～平成 30 年）の気象概要を表 6-1、年間降水量を表 6-2、各種気象概要のグラフを図 6-2～3 に示します。

5 年間の平均気温は概ね 17.0℃で温暖な気候であり、冬の 1 月・2 月でも平均気温は 5.7～6.4℃となっています。また、年間降水量の平均は約 1,878mm であるものの、年間降水量は年により差があり、その範囲は概ね 1,644mm～2,170mm となっています。

表 6-1 気象概要（5 年間平均値）

項目	降水量 (mm)	平均気温 (℃)	風速 (m/s)		日照時間 (hr)
			平均	最大	
1月	59.6	5.7	1.9	8.0	140.8
2月	66.6	6.4	2.1	8.0	145.4
3月	117.2	10.6	2.1	8.1	194.2
4月	143.2	16.2	2.1	7.7	183.1
5月	154.4	20.3	1.9	7.4	223.2
6月	352.2	23.0	1.8	7.7	131.5
7月	340.2	27.7	2.1	9.8	202.6
8月	167.6	28.4	2.1	10.0	235.0
9月	219.8	24.2	1.8	9.5	151.1
10月	122.8	19.4	1.9	9.7	183.4
11月	71.3	13.6	1.6	6.8	152.7
12月	63.2	7.8	2.0	7.6	136.1

出典：気象庁ホームページ（岱明気象観測所データ）

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

表 6-2 年間降水量

項目	H26	H27	H28	H29	H30
年間降水量(mm)	1,692	2,131	2,170	1,644	1,754

出典：気象庁ホームページ（岱明気象観測所データ）

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

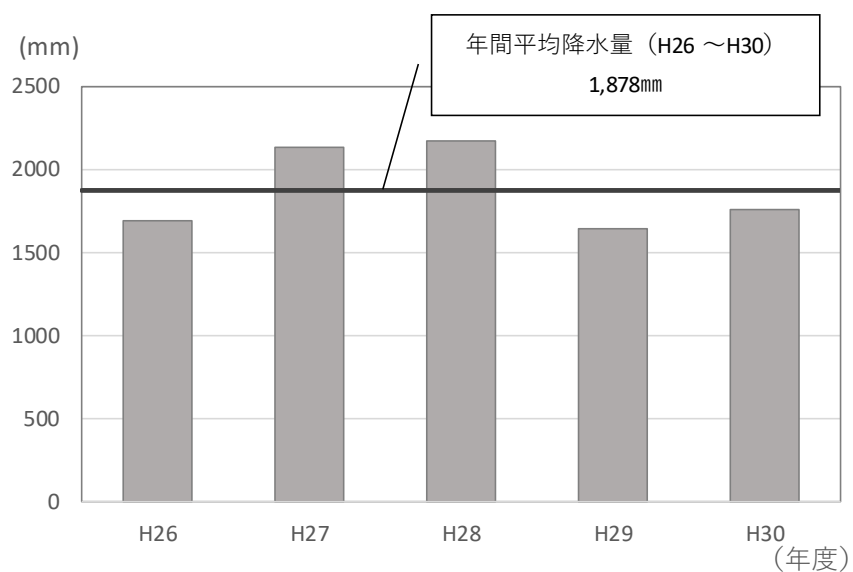


図 6-2 年間降水量の推移

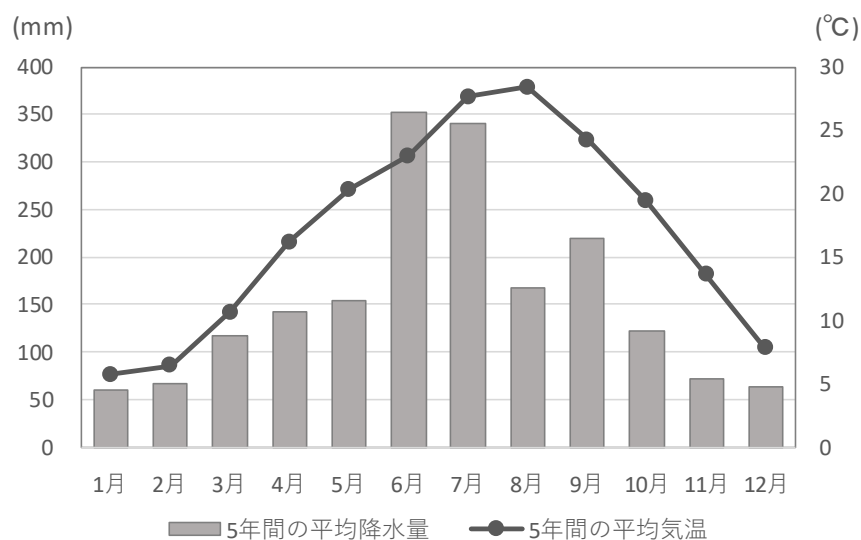


図 6-3 雨温図の推移

第2節 社会環境の把握

1. 人口及び世帯数

平成7年から平成27年度の国勢調査結果における本組合の人口及び世帯数を、表6-3、図6-4に示します。

人口は減少傾向、世帯数は微増傾向となっています。

また、1世帯あたりの人口についても減少傾向にあり、核家族化が進行しています。

表6-3 人口及び世帯数の推移（本組合全域）

項目	単位	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口（組合合計）	人	121,749	120,999	117,961	113,500	107,913
玉名市	人	72,900	73,051	71,851	69,541	66,782
玉東町	人	6,038	5,781	5,626	5,554	5,265
南関町	人	12,076	11,821	11,203	10,564	9,786
長洲町	人	17,833	17,956	17,381	16,594	15,889
和水町	人	12,902	12,390	11,900	11,247	10,191
世帯数（組合合計）	世帯	35,917	38,069	38,791	39,525	39,510
玉名市	世帯	21,459	23,089	23,721	24,344	24,474
玉東町	世帯	1,730	1,750	1,778	1,825	1,825
南関町	世帯	3,557	3,651	3,645	3,681	3,560
長洲町	世帯	5,490	5,899	5,960	6,051	6,139
和水町	世帯	3,681	3,680	3,687	3,624	3,512
1世帯あたりの人口	人/世帯	3.39	3.18	3.04	2.87	2.73

出典：総務省「国勢調査報告」（平成27年度）

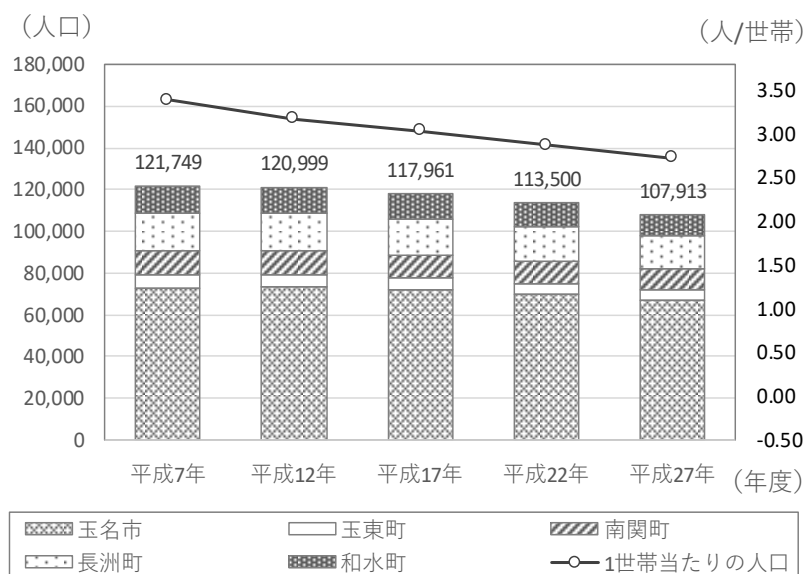


図6-4 人口及び世帯数の推移（本組合全域）

2. 年齢別人口

(1) 玉名市

図 6-5 に玉名市の年齢別人口分布を整理しました。

平成 27 年度の国勢調査結果における年齢別人口分布は、15 歳未満の人口が 12.7%、労働の対象となる 15～64 歳の人口が 55.9%、65 歳以上の人口が 31.2%となっており、高齢化が進行しています。

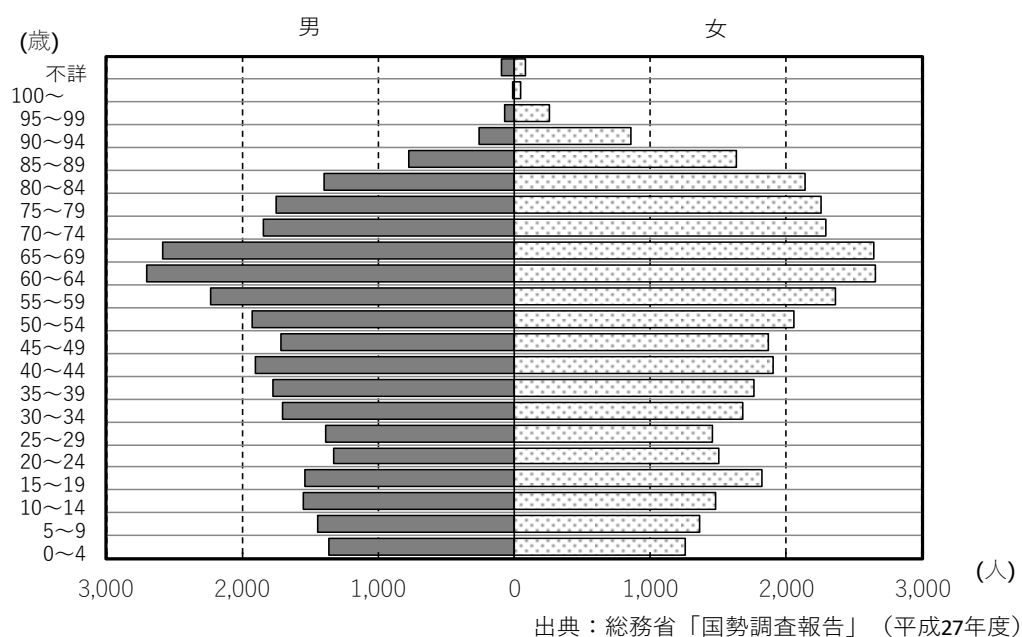


図 6-5 玉名市年齢別人口分布

(2) 玉東町

図 6-6 に玉東町の年齢別人口分布を整理しました。

平成 27 年度の国勢調査結果における年齢別人口分布は、15 歳未満の人口が 13.8%、労働の対象となる 15～64 歳の人口が 53.1%、65 歳以上の人口が 33.1%となっており、高齢化が進行しています。

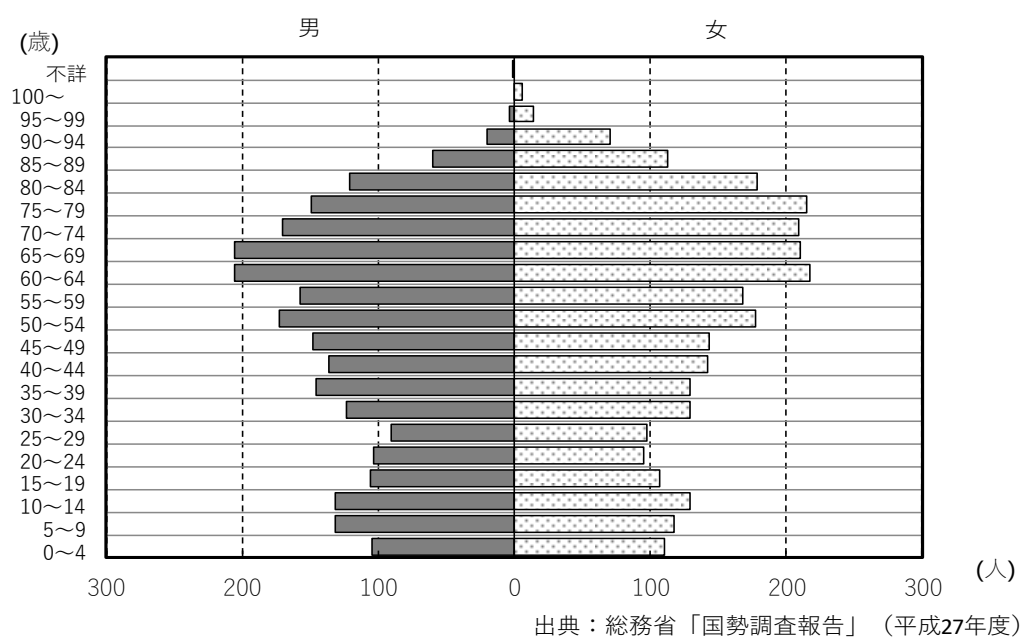


図 6-6 玉東町年齢別人口分布

(3) 南関町

図 6-7 に南関町の年齢別人口分布を整理しました。

平成 27 年度の国勢調査結果における年齢別人口分布は、15 歳未満の人口が 11.0%、労働の対象となる 15～64 歳の人口が 53.2%、65 歳以上の人口が 35.8%となっており、高齢化が顕著となっています。

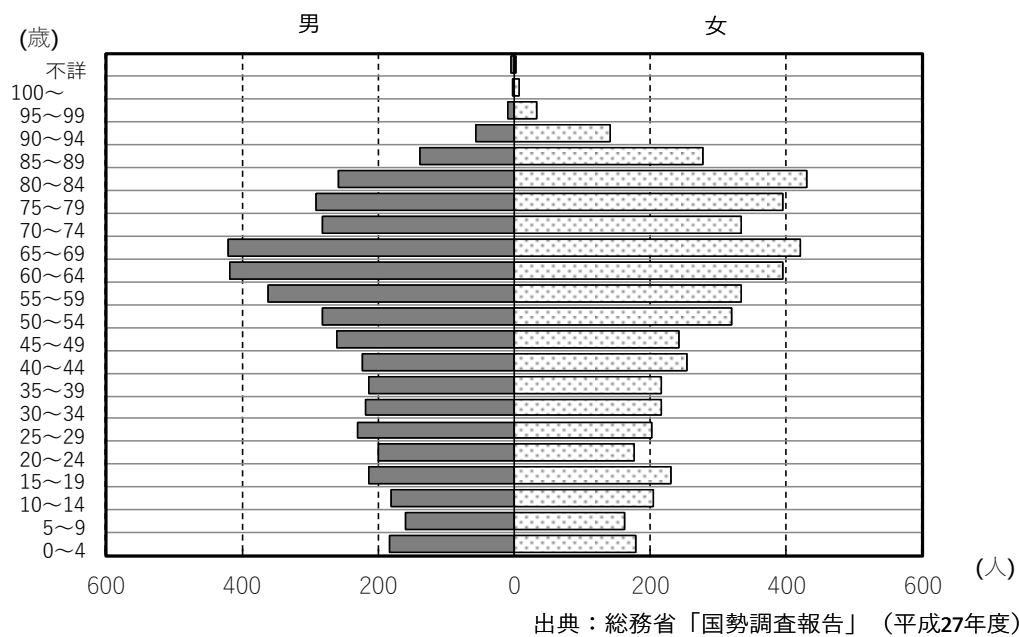


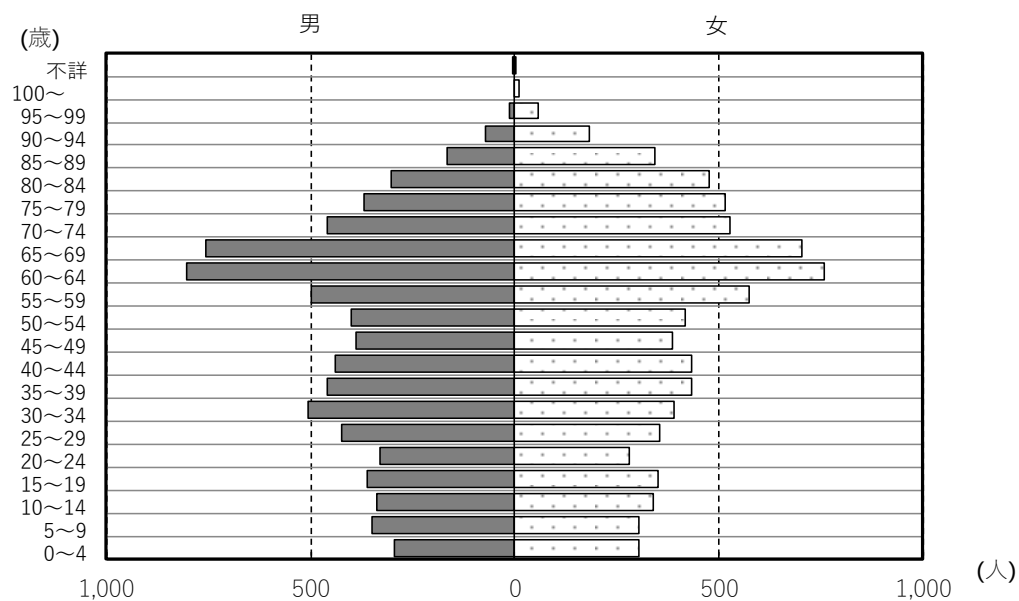
図 6-7 南関町年齢別人口分布

(4) 長洲町

図 6-8 に長洲町の年齢別人口分布を整理しました。

平成 27 年度の国勢調査結果における年齢別人口分布は、15 歳未満の人口が 12.2%、労働の対象となる 15～64 歳の人口が 56.6%、65 歳以上の人口が 31.2%となっています。

特に、60～69 歳の構成比が高いことから、今後急速な高齢化が進むものと予測されます。



出典：総務省「国勢調査報告」（平成27年度）

図 6-8 長洲町年齢別人口分布

(5) 和水町

図 6-9 に和水町の年齢別人口分布を整理しました。

平成 27 年度の国勢調査結果における年齢別人口分布は、15 歳未満の人口が 10.1%、労働の対象となる 15～64 歳の人口が 50.6%、65 歳以上の人口が 39.3%となっており、高齢化が顕著となっています。

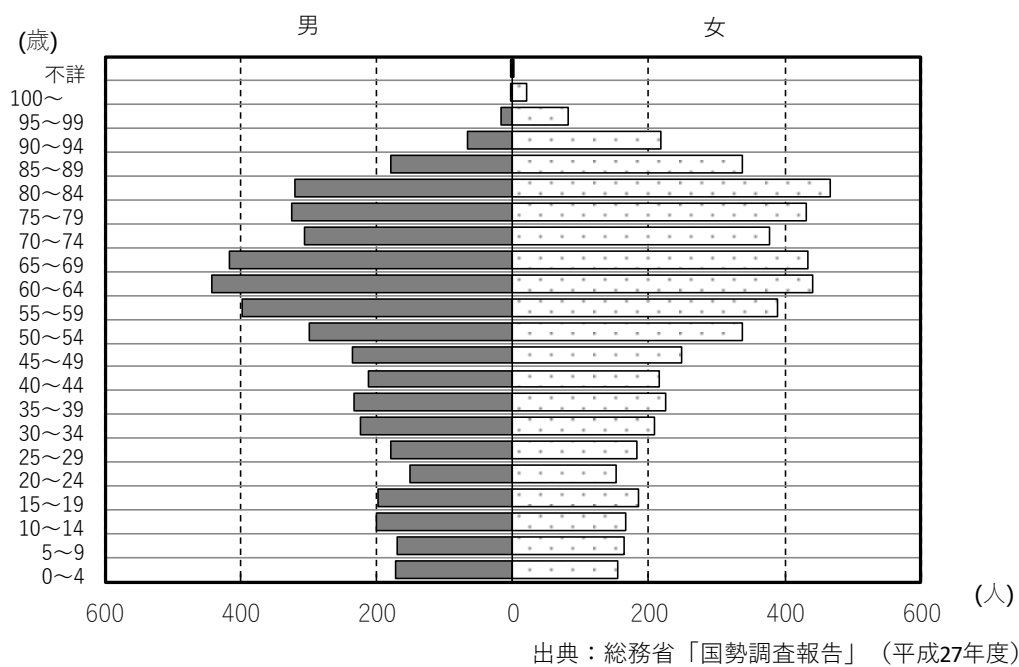


図 6-9 和水町年齢別人口分布

3. 産業概要

(1) 玉名市

玉名市の平成 27 年度の産業別就業者の構成割合は、第 1 次産業が 16.57%、第 2 次産業が 25.2%、第 3 次産業が 57.13%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業の農業（15.94%）、第 2 次産業の製造業（18.23%）、第 3 次産業の卸売・小売業（12.74%）、医療・福祉（15.27%）が大きな割合を占めています。

表 6-4 玉名市における従業員数の概要

分類	従業者数(人)	構成比
第1次産業	5,170	16.57%
農業	4,973	15.94%
林業	7	0.02%
漁業	190	0.61%
第2次産業	7,861	25.20%
鉱業	31	0.10%
建設業	2,143	6.87%
製造業	5,687	18.23%
第3次産業	17,819	57.13%
電気・ガス・熱供給・水道業	117	0.38%
情報通信業	165	0.53%
運輸業・郵送業	954	3.06%
卸売・小売業	3,975	12.74%
金融・保険業	441	1.41%
不動産業・物品賃貸業	239	0.77%
学術研究，専門・技術サービス業	483	1.55%
宿泊業・飲食サービス業	1,264	4.05%
生活関連サービス業，娯楽業	1,078	3.46%
教育・学習支援業	1,547	4.96%
医療・福祉	4,764	15.27%
複合サービス事業	483	1.55%
他に分類されないもの	1,329	4.26%
公務	980	3.14%
分類不能	342	1.10%
総計	31,192	100.00%

出典：総務省「国勢調査報告書」（平成27年）

(2) 玉東町

玉東町の平成 27 年度の産業別就業者の構成割合は、第 1 次産業が 23.14%、第 2 次産業が 23.40%、第 3 次産業が 53.38%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業の農業 (23.03%)、第 2 次産業の製造業 (16.39%)、第 3 次産業の卸売業・小売業 (12.84%)、医療・福祉 (14.33%) が大きな割合を占めています。

表 6-5 玉東町における従業員数の概要

分類	従業者数	構成比
第1次産業	620	23.14%
農業	617	23.03%
林業	1	0.04%
漁業	2	0.07%
第2次産業	627	23.40%
鉱業	8	0.30%
建設業	180	6.72%
製造業	439	16.39%
第3次産業	1,430	53.38%
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.22%
情報通信業	9	0.34%
運輸業・郵送業	91	3.40%
卸売・小売業	344	12.84%
金融・保険業	28	1.05%
不動産業・物品賃貸業	11	0.41%
学術研究、専門・技術サービス業	35	1.31%
宿泊業・飲食サービス業	86	3.21%
生活関連サービス業、娯楽業	95	3.55%
教育・学習支援業	83	3.10%
医療・福祉	384	14.33%
複合サービス事業	27	1.01%
他に分類されないもの	115	4.29%
公務	116	4.33%
分類不能	2	0.07%
総計	2,679	100.00%

出典：総務省「国勢調査報告書」（平成27年）

(3) 南関町

南関町の平成 27 年度の産業別就業者の構成割合は、第 1 次産業が 15.39%、第 2 次産業が 32.88%、第 3 次産業が 51.50%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業の農業 (15.13%)、第 2 次産業の製造業 (23.58%)、第 3 次産業の卸売業・小売業 (12.42%)、医療・福祉 (14.09%) が大きな割合を占めています。

表 6-6 南関町における従業員数の概要

分類	従業者数	構成比
第1次産業	720	15.39%
農業	708	15.13%
林業	10	0.21%
漁業	2	0.04%
第2次産業	1,538	32.88%
鉱業	7	0.15%
建設業	428	9.15%
製造業	1,103	23.58%
第3次産業	2,409	51.50%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	0.06%
情報通信業	18	0.38%
運輸業・郵送業	162	3.46%
卸売・小売業	581	12.42%
金融・保険業	43	0.92%
不動産業・物品賃貸業	18	0.38%
学術研究, 専門・技術サービス業	44	0.94%
宿泊業・飲食サービス業	193	4.13%
生活関連サービス業, 娯楽業	141	3.01%
教育・学習支援業	127	2.71%
医療・福祉	659	14.09%
複合サービス事業	66	1.41%
他に分類されないもの	223	4.77%
公務	131	2.80%
分類不能	11	0.24%
総計	4,678	100.00%

出典：総務省「国勢調査報告書」（平成27年）

(4) 長洲町

長洲町の平成 27 年度の産業別就業者の構成割合は、第 1 次産業が 5.42%、第 2 次産業が 38.43%、第 3 次産業が 55.25%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業の農業（4.62%）、第 2 次産業の製造業（30.73%）、第 3 次産業の卸売業・小売業（12.12%）、医療・福祉（16.05%）が大きな割合を占めています。

表 6-7 長洲町における従業員数の概要

分類	従業者数	構成比
第1次産業	393	5.42%
農業	335	4.62%
林業	0	0.00%
漁業	58	0.80%
第2次産業	2,787	38.43%
鉱業	2	0.03%
建設業	556	7.67%
製造業	2,229	30.73%
第3次産業	4,007	55.25%
電気・ガス・熱供給・水道業	22	0.30%
情報通信業	44	0.61%
運輸業・郵送業	255	3.52%
卸売・小売業	879	12.12%
金融・保険業	83	1.14%
不動産業・物品賃貸業	53	0.73%
学術研究，専門・技術サービス業	80	1.10%
宿泊業・飲食サービス業	282	3.89%
生活関連サービス業，娯楽業	279	3.85%
教育・学習支援業	208	2.87%
医療・福祉	1,164	16.05%
複合サービス事業	80	1.10%
他に分類されないもの	352	4.85%
公務	226	3.12%
分類不能	66	0.91%
総計	7,253	100.00%

出典：総務省「国勢調査報告書」（平成27年）

(5) 和水町

和水町の平成 27 年度の産業別就業者の構成割合は、第 1 次産業が 19.82%、第 2 次産業が 27.04%、第 3 次産業が 52.71%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業の農業 (19.61%)、第 2 次産業の製造業 (18.85%)、第 3 次産業の卸売業、小売業 (10.25%)、医療、福祉 (15.59%) が大きな割合を占めています。

表 6-8 和水町における従業員数の概要

分類	従業者数	構成比
第1次産業	965	19.82%
農業	955	19.61%
林業	10	0.21%
漁業	0	0.00%
第2次産業	1,317	27.04%
鉱業	25	0.51%
建設業	374	7.68%
製造業	918	18.85%
第3次産業	2,567	52.71%
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.12%
情報通信業	19	0.39%
運輸業・郵送業	133	2.73%
卸売・小売業	499	10.25%
金融・保険業	42	0.86%
不動産業・物品賃貸業	24	0.49%
学術研究、専門・技術サービス業	60	1.23%
宿泊業・飲食サービス業	221	4.54%
生活関連サービス業、娯楽業	176	3.61%
教育・学習支援業	160	3.29%
医療・福祉	759	15.59%
複合サービス事業	74	1.52%
他に分類されないもの	218	4.48%
公務	176	3.61%
分類不能	21	0.43%
総計	4,870	100.00%

出典：総務省「国勢調査報告書」（平成27年）

第3節 土地利用状況

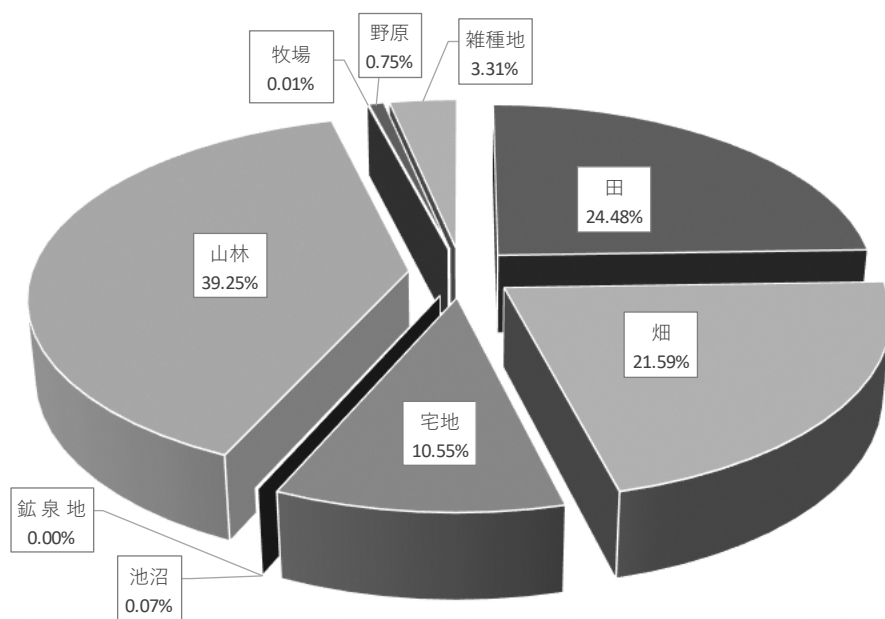
本組管内における地目別民有地面積を表6-9、図6-10に示します。

管内合計の構成比としては、山林(39.25%)の地目が最も高く、次いで田(24.48%)、畑(21.59%)、宅地(10.55%)の順で高くなっています。

表6-9 地目面積

項目	単位	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	面積	構成比
田	ha	4,368	197	962	590	940	7,057	24.48%
畑	ha	2,855	830	1,022	215	1,300	6,222	21.59%
宅地	ha	1,522	143	406	567	401	3,040	10.55%
鉱泉地	ha	0	0	0	0	0	0	0.00%
池沼	ha	10	0	0	10	0	19	0.07%
山林	ha	2,275	711	3,253	67	5,007	11,312	39.25%
牧場	ha	3	0	0	0	0	3	0.01%
野原	ha	109	5	96	2	3	215	0.75%
雑種地	ha	392	54	194	55	261	955	3.31%
総面積	ha	11,533	1,940	5,933	1,506	7,911	28,824	100.00%

出典：熊本県統計年鑑（平成30年度版）



出典：熊本県統計年鑑（平成30年度版）

図6-10 地目別民有地面積

一般廃棄物処理基本計画

【資料編】

1. 将来人口の予測

本組管内全体の将来人口の予測結果は表 1-1 に示す通りです。

将来人口の予測は構成市町の人口ビジョンに基づく推計値を採用します。参考として平成 21 年から平成 30 年度までの 3 月 31 日実績を用いた人口予測を行いました。

なお、構成市町別の生活排水処理人口の見込みは、表 1-2～1-6 に示す通りです。

表 1-1 組管内全体の人口予測結果

(単位:人)

項目			本組合 圏域	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	玉名処理区を除く 組合圏域
実績	H21	2008	115,998	70,484	5,707	11,048	17,051	11,708	72,372
	H22	2009	115,163	70,049	5,684	10,911	16,968	11,551	71,734
	H23	2010	114,372	69,587	5,661	10,797	16,938	11,389	71,179
	H24	2011	113,389	69,182	5,625	10,733	16,655	11,194	70,286
	H25	2012	112,446	68,777	5,568	10,601	16,503	10,997	69,646
	H26	2013	111,250	68,060	5,492	10,428	16,463	10,807	68,920
	H27	2014	110,232	67,577	5,463	10,209	16,336	10,647	68,254
	H28	2015	109,287	67,242	5,363	10,086	16,125	10,471	67,479
	H29	2016	108,372	66,850	5,295	9,934	16,049	10,244	66,672
	H30	2017	107,407	66,319	5,295	9,740	16,048	10,005	65,977
予測	R1	2018	106,505	65,627	5,222	9,657	15,974	10,025	65,312
	R2	2019	105,468	64,936	5,150	9,574	15,901	9,907	64,708
	R3	2020	104,725	64,547	5,103	9,488	15,791	9,796	64,210
	R4	2021	104,005	64,169	5,055	9,406	15,684	9,691	63,727
	R5	2022	103,310	63,801	5,008	9,328	15,580	9,593	63,263
	R6	2023	102,634	63,442	4,960	9,254	15,478	9,500	62,812
	R7	2024	102,041	63,091	4,977	9,182	15,379	9,412	62,439
	R8	2025	101,369	62,738	4,940	9,107	15,256	9,328	61,989
	R9	2026	100,718	62,394	4,905	9,035	15,135	9,249	61,554
	R10	2027	100,083	62,057	4,870	8,966	15,016	9,174	61,131
	R11	2028	99,464	61,727	4,836	8,899	14,900	9,102	60,719
	R12	2029	98,864	61,406	4,802	8,836	14,786	9,034	60,320
	R13	2030	98,346	61,128	4,772	8,765	14,712	8,969	59,977
	R14	2031	97,840	60,857	4,742	8,695	14,639	8,907	59,641
	R15	2032	97,350	60,592	4,713	8,628	14,569	8,848	59,317

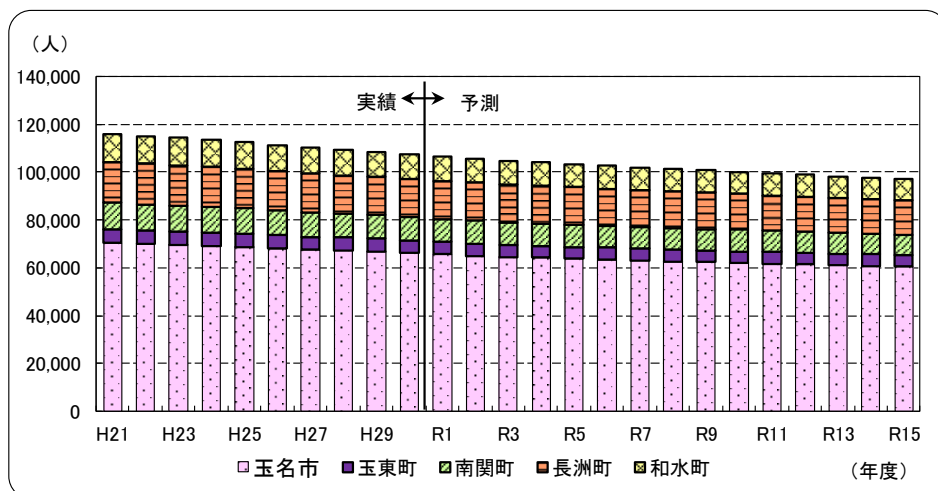


表 1-2 玉名市の人口予測結果

年度	実績 (人)	年度	推計結果(人)							人口ビジョ ン
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	玉名処理区を除く	
H21	70,484	R1	65,842	66,032	65,876	66,061	66,217	65,627	65,627	-
H22	70,049	R2	65,374	65,657	65,427	65,700	65,920	64,936	64,936	64,936
H23	69,587	R3	64,907	65,294	64,982	65,352	65,642	64,547	64,547	-
H24	69,182	R4	64,439	64,942	64,539	65,017	65,380	64,169	64,169	-
H25	68,777	R5	63,972	64,600	64,100	64,692	65,133	63,801	63,801	-
H26	68,060	R6	63,504	64,267	63,663	64,379	64,899	63,442	63,442	-
H27	67,577	R7	63,037	63,944	63,229	64,075	64,679	63,091	63,091	63,091
H28	67,242	R8	62,569	63,629	62,799	63,781	64,469	62,738	62,738	-
H29	66,850	R9	62,102	63,323	62,371	63,496	64,271	62,394	62,394	-
H30	66,319	R10	61,634	63,024	61,946	63,220	64,083	62,057	62,057	-
		R11	61,167	62,732	61,524	62,951	63,903	61,727	61,727	-
		R12	60,699	62,448	61,105	62,690	63,732	61,406	61,406	61,406
		R13	60,232	62,170	60,689	62,436	63,570	61,128	61,128	-
		R14	59,764	61,899	60,276	62,189	63,414	60,857	60,857	-
		R15	59,297	61,634	59,865	61,948	63,266	60,592	60,592	-
		R16	58,829	61,374	59,457	61,714	63,124	60,332	60,332	-
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^b x$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$			
a=			80333.5636	106559.4951	81421.8826	119441.8893	56730.5962			
b=			-467.4848	-11801.8883	-0.0068	-0.1725	294076.5779			
r=			-0.9983	-0.9972	-0.9983	-0.9967	0.9935			
採否								採用	採用	

※各年度3月31日実績

※玉名市人口ビジョン 平成27年12月

2060年
52,468

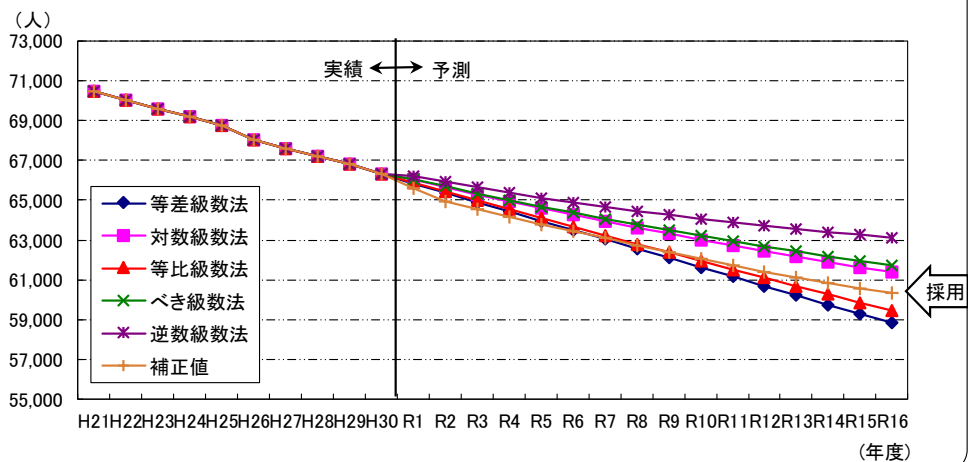


表 1-3 玉東町の人口予測結果

年度	実績 (人)	年度	推計結果(人)						人口ビジョン
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H21	5,707	R1	5,233	5,255	5,237	5,258	5,277	5,222	-
H22	5,684	R2	5,181	5,214	5,188	5,219	5,244	5,150	5,150
H23	5,661	R3	5,130	5,174	5,140	5,182	5,214	5,103	-
H24	5,625	R4	5,078	5,136	5,092	5,146	5,186	5,055	-
H25	5,568	R5	5,027	5,098	5,045	5,111	5,159	5,008	-
H26	5,492	R6	4,975	5,062	4,998	5,077	5,133	4,960	-
H27	5,463	R7	4,924	5,027	4,951	5,045	5,109	4,977	4,977
H28	5,363	R8	4,873	4,992	4,905	5,013	5,087	4,940	-
H29	5,295	R9	4,821	4,959	4,860	4,983	5,065	4,905	-
H30	5,295	R10	4,770	4,926	4,814	4,953	5,045	4,870	-
		R11	4,718	4,894	4,770	4,925	5,025	4,836	-
		R12	4,667	4,863	4,725	4,897	5,007	4,802	4,802
		R13	4,616	4,833	4,681	4,870	4,989	4,772	-
		R14	4,564	4,803	4,638	4,844	4,972	4,742	-
		R15	4,513	4,774	4,595	4,818	4,956	4,713	-
		R16	4,461	4,746	4,552	4,794	4,940	4,685	-
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{\hat{b}x}$	$Y=a\cdot x^{\hat{b}}$	$Y=a+b/x$		
		a=	6826.3091	9687.0253	6997.3270	11767.3157	4245.4190		2060年
		b=	-51.4121	-1290.6520	-0.0093	-0.2346	31967.0370		4,049
		r=	-0.9849	-0.9783	-0.9838	-0.9767	0.9689		
		採否						採用	

※各年度3月31日実績

※玉東町人口ビジョン 平成27年12月

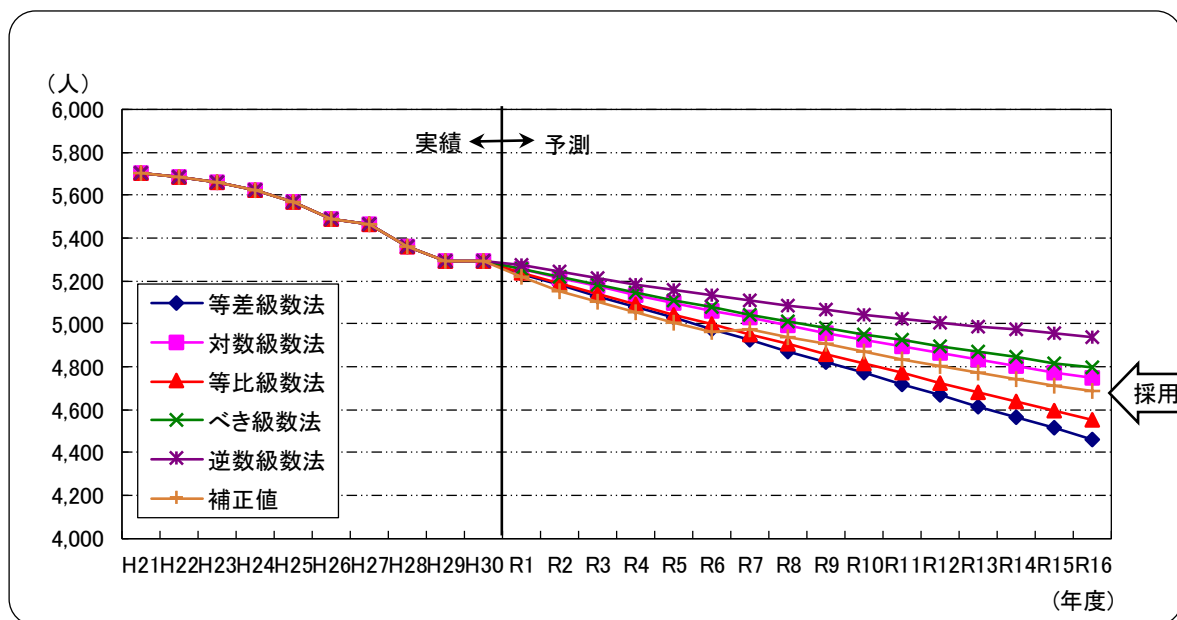


表 1-4 南関町の人口予測結果

年度	実績 (人)	年度	推計結果(人)						人口ビジョ ン
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H21	11,048	R1	9,652	9,714	9,670	9,729	9,775	9,657	-
H22	10,911	R2	9,507	9,599	9,537	9,622	9,684	9,574	9,574
H23	10,797	R3	9,362	9,487	9,405	9,519	9,598	9,488	-
H24	10,733	R4	9,217	9,378	9,275	9,420	9,518	9,406	-
H25	10,601	R5	9,072	9,272	9,146	9,325	9,442	9,328	-
H26	10,428	R6	8,927	9,170	9,020	9,234	9,370	9,254	-
H27	10,209	R7	8,782	9,070	8,895	9,146	9,302	9,182	9,182
H28	10,086	R8	8,637	8,973	8,772	9,061	9,238	9,107	-
H29	9,934	R9	8,492	8,878	8,651	8,979	9,177	9,035	-
H30	9,740	R10	8,347	8,786	8,531	8,900	9,120	8,966	-
		R11	8,203	8,696	8,413	8,823	9,064	8,899	-
		R12	8,058	8,609	8,297	8,749	9,012	8,836	8,836
		R13	7,913	8,523	8,182	8,678	8,962	8,765	-
		R14	7,768	8,439	8,069	8,608	8,914	8,695	-
		R15	7,623	8,357	7,957	8,541	8,869	8,628	-
		R16	7,478	8,277	7,847	8,475	8,825	8,562	-
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
		a=	14144.0364	22217.2739	14891.7136	32321.5658	6862.8010		
		b=	-144.9152	-3640.9715	-0.0139	-0.3496	90268.7506		
		r=	-0.9936	-0.9877	-0.9921	-0.9853	0.9792		
		採否						採用	

※各年度3月31日実績

※南関町人口ビジョン 平成28年2月

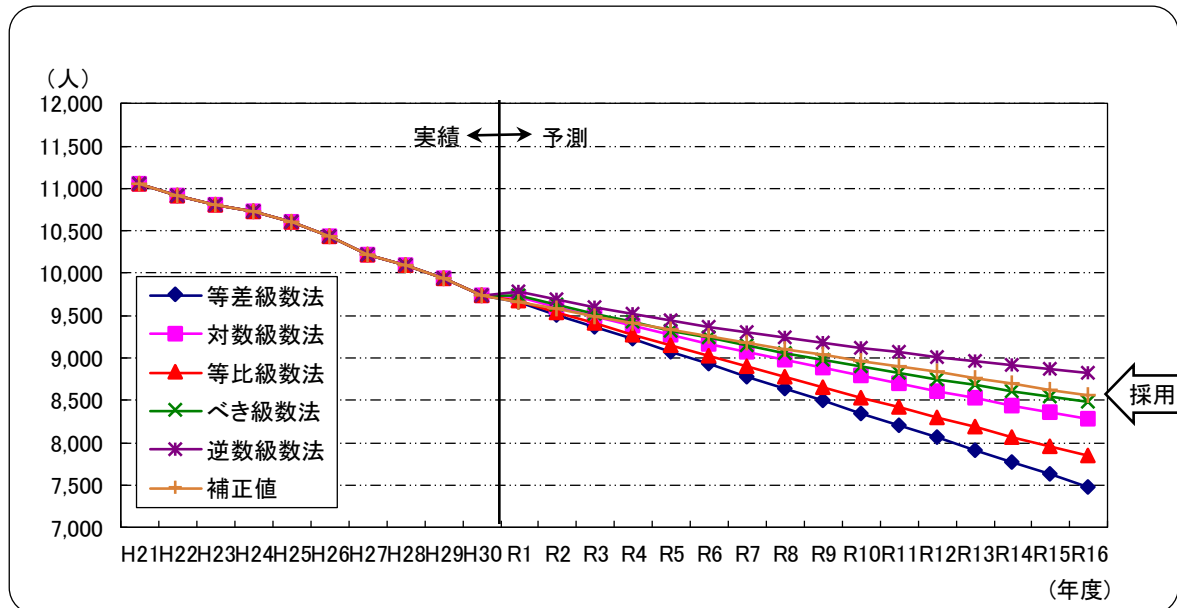


表 1-5 長洲町の人口予測結果

年度	実績 (人)	年度	推計結果(人)						人口ビジョン
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H21	17,051	R1	15,830	15,879	15,840	15,888	15,927	15,974	-
H22	16,968	R2	15,705	15,779	15,721	15,792	15,847	15,901	15,901
H23	16,938	R3	15,581	15,682	15,604	15,700	15,773	15,791	-
H24	16,655	R4	15,456	15,588	15,487	15,611	15,703	15,684	-
H25	16,503	R5	15,332	15,497	15,370	15,525	15,637	15,580	-
H26	16,463	R6	15,208	15,408	15,255	15,442	15,575	15,478	-
H27	16,336	R7	15,083	15,322	15,141	15,361	15,516	15,379	15,379
H28	16,125	R8	14,959	15,238	15,027	15,284	15,460	15,256	-
H29	16,049	R9	14,835	15,156	14,915	15,208	15,407	15,135	-
H30	16,048	R10	14,710	15,076	14,803	15,135	15,356	15,016	-
		R11	14,586	14,999	14,692	15,064	15,308	14,900	-
		R12	14,461	14,923	14,582	14,995	15,263	14,786	14,786
		R13	14,337	14,849	14,472	14,928	15,219	14,712	-
		R14	14,213	14,776	14,364	14,863	15,178	14,639	-
		R15	14,088	14,706	14,256	14,799	15,138	14,569	-
		R16	13,964	14,636	14,149	14,738	15,100	14,499	-
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
a=			19685.1818	26687.3385	20002.4873	30548.5233	13391.2386		
b=			-124.3758	-3147.5600	-0.0075	-0.1904	78599.9991		
r=			-0.9858	-0.9870	-0.9862	-0.9870	0.9856		
採否								採用	

※各年度3月31日実績

※長洲町人口ビジョン 平成27年10月

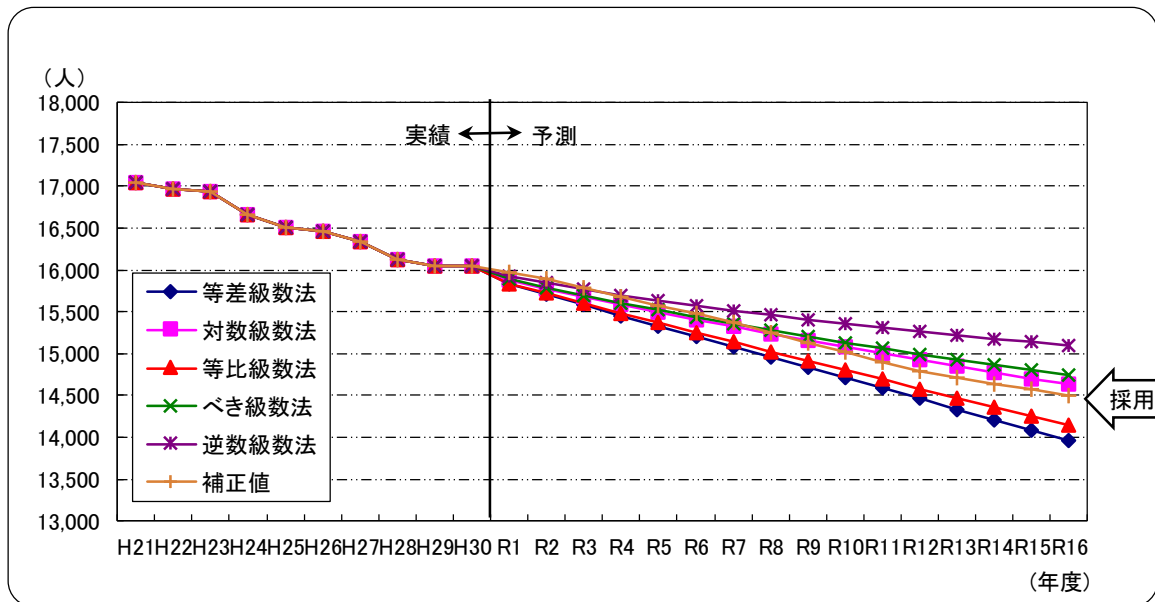
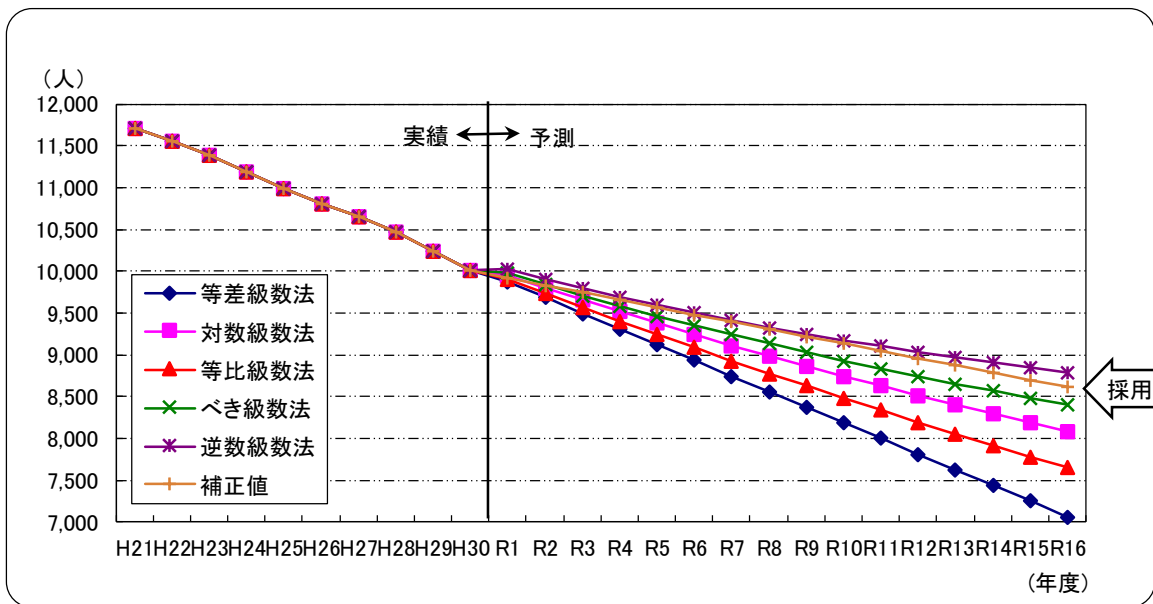


表 1-6 和水町の人口予測結果

年度	実績 (人)	年度	推計結果(人)						人口ビジョン
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H21	11,708	R1	9,871	9,950	9,903	9,976	10,025	9,918	-
H22	11,551	R2	9,684	9,800	9,734	9,839	9,907	9,831	-
H23	11,389	R3	9,497	9,655	9,568	9,709	9,796	9,744	-
H24	11,194	R4	9,310	9,514	9,405	9,584	9,691	9,657	-
H25	10,997	R5	9,122	9,377	9,244	9,464	9,593	9,570	-
H26	10,807	R6	8,935	9,244	9,086	9,349	9,500	9,483	-
H27	10,647	R7	8,748	9,115	8,931	9,239	9,412	9,396	-
H28	10,471	R8	8,561	8,989	8,778	9,133	9,328	9,309	-
H29	10,244	R9	8,373	8,866	8,628	9,030	9,249	9,222	-
H30	10,005	R10	8,186	8,747	8,481	8,932	9,174	9,135	-
		R11	7,999	8,630	8,336	8,837	9,102	9,048	-
		R12	7,812	8,517	8,193	8,745	9,034	8,961	-
		R13	7,624	8,406	8,054	8,656	8,969	8,874	-
		R14	7,437	8,297	7,916	8,570	8,907	8,787	-
		R15	7,250	8,191	7,781	8,487	8,848	8,700	-
		R16	7,063	8,087	7,648	8,407	8,791	8,613	-
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
		a=	15676.2909	26151.9448	16895.6040	44233.1621	6240.8969		
		b=	-187.2545	-4718.2576	-0.0172	-0.4337	117317.5157		
		r=	-0.9988	-0.9957	-0.9977	-0.9935	0.9900		
		採否						採用	

※各年度3月31日実績

※和水町人口ビジョン 平成28年3月



2. ごみ排出量の予測

(1) ごみ収集・処理量の予測結果（現状維持）

ごみ排出量の予測は各構成市町村のごみ分類別の直近5年間の実績原単位を用いて予測しました。

■現状維持のごみ排出量予測

項目	単位	実績値					予測値														
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
行政区内人口	人	111,250	110,232	109,287	108,372	107,407	106,398	105,392	104,673	103,971	103,287	102,616	102,025	101,350	100,691	100,043	99,410	98,791	98,250	97,719	97,201
家庭系ごみ	t/年	20,460	20,454	20,053	19,941	19,713	19,267	19,075	18,932	18,808	18,697	18,577	18,485	18,386	18,284	18,194	18,104	18,012	17,944	17,882	17,818
もえるごみ	t/年	17,472	17,299	17,015	17,005	17,115	16,869	16,756	16,689	16,625	16,564	16,504	16,457	16,397	16,339	16,283	16,229	16,177	16,137	16,099	16,062
リサイクルごみ（もえないごみ）	t/年	494	541	587	528	547	565	574	580	590	599	605	615	620	629	637	642	650	659	663	671
粗大ごみ	t/年	36	41	47	57	60	66	72	77	82	87	92	97	101	105	110	114	118	122	126	130
有害ごみ	t/年	37	37	36	33	33	32	31	30	30	29	29	28	28	28	27	27	26	26	26	25
資源ごみ	t/年	1,139	1,133	1,112	1,062	1,001	988	957	929	902	876	850	827	803	780	758	736	715	695	676	658
資源ごみ集団回収	t/年	1,282	1,403	1,256	1,256	957	747	686	627	579	542	496	462	436	403	379	356	325	304	292	271
直接搬入ごみ	t/年	1,053	1,285	1,396	1,349	1,105	1,342	1,346	1,354	1,361	1,367	1,373	1,381	1,386	1,391	1,395	1,398	1,401	1,406	1,409	1,413
事業系ごみ	t/年	6,054	6,010	6,074	6,269	6,275	6,347	6,417	6,487	6,557	6,626	6,696	6,765	6,834	6,903	6,972	7,041	7,109	7,178	7,246	7,314
総排出量	t/年	27,567	27,749	27,523	27,559	27,093	26,955	26,838	26,773	26,725	26,691	26,646	26,632	26,606	26,578	26,561	26,543	26,523	26,527	26,537	26,545
最終処分量	t/年	2,308	2,261	2,308	2,128	2,042	2,031	1,981	1,936	1,508	1,480	1,456	1,433	1,411	1,391	1,374	1,357	1,341	1,326	1,313	1,301
焼却灰	t/年	2,054	1,983	1,981	1,830	1,751	1,712	1,652	1,597	1,158.75	1,121.25	1,086.75	1,053.75	1,022.25	992.25	964.5	937.5	912	887.25	864	842.25
飛灰資源化量	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	386.25	373.75	362.25	351.25	340.75	330.75	321.5	312.5	304	295.75	288	280.75
不燃・粗大	t/年	254	278	327	298	291	319	329	339	349	359	369	379	389	399	409	419	429	439	449	459
最終処分率	—	8.4%	8.1%	8.4%	7.7%	7.5%	7.5%	7.4%	7.2%	5.6%	5.5%	5.5%	5.4%	5.3%	5.2%	5.2%	5.1%	5.1%	5.0%	4.9%	4.9%
総資源化量	t/年	3,559	3,743	3,676	3,517	3,272	3,112	3,056	3,002	3,344	3,298	3,243	3,201	3,166	3,123	3,090	3,058	3,018	2,988	2,967	2,939
内資源ごみ・集団回収を除く	t/年	1,138	1,207	1,308	1,199	1,314	1,377	1,413	1,446	1,477	1,507	1,534	1,561	1,586	1,609	1,632	1,653	1,674	1,693	1,711	1,729
総資源化率	—	12.9%	13.5%	13.4%	12.8%	12.1%	11.5%	11.4%	11.2%	12.5%	12.4%	12.2%	12.0%	11.9%	11.7%	11.6%	11.5%	11.4%	11.3%	11.2%	11.1%

原単位

項目	単位	実績値					予測値														
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
家庭系ごみ	g/人・日	503.86	508.37	502.71	504.12	502.84	496.12	495.88	495.53	495.60	495.94	495.98	496.39	497.01	497.49	498.26	498.95	499.53	500.37	501.35	502.22
もえるごみ	g/人・日	430.28	429.95	426.55	429.90	436.57	434.38	435.59	436.83	438.08	439.36	440.65	441.93	443.25	444.58	445.92	447.27	448.63	450.00	451.35	452.72
リサイクルごみ（もえないごみ）	g/人・日	12.17	13.45	14.72	13.35	13.95	14.54	14.91	15.18	15.55	15.90	16.16	16.51	16.77	17.11	17.46	17.70	18.03	18.36	18.60	18.93
粗大ごみ	g/人・日	0.89	1.02	1.18	1.44	1.53	1.70	1.86	2.01	2.15	2.31	2.45	2.60	2.73	2.87	3.01	3.15	3.28	3.41	3.54	3.67
有害ごみ	g/人・日	0.91	0.92	0.90	0.83	0.84	0.83	0.81	0.80	0.79	0.78	0.77	0.76	0.76	0.75	0.74	0.73	0.73	0.72	0.72	0.72
資源ごみ	g/人・日	28.05	28.16	27.88	26.85	25.53	25.44	24.87	24.31	23.76	23.23	22.70	22.19	21.70	21.22	20.75	20.28	19.83	19.39	18.96	18.54
資源ごみ集団回収	g/人・日	31.57	34.87	31.49	31.75	24.41	19.23	17.83	16.41	15.26	14.37	13.25	12.40	11.80	10.96	10.39	9.82	9.02	8.47	8.18	7.65
直接搬入ごみ	g/人・日	25.93	31.94	35.00	34.10	28.19	34.55	34.99	35.44	35.86	36.27	36.66	37.10	37.47	37.84	38.20	38.54	38.86	39.20	39.51	39.83
事業系ごみ	t/日	16.59	16.47	16.64	17.18	17.19	17.39	17.58	17.77	17.96	18.15	18.34	18.53	18.72	18.91	19.10	19.29	19.48	19.66	19.85	20.04
1人1日当たりの家庭ごみ排出量 （集団回収量、資源ごみ等を除く）	g/人・日	444.25	445.34	443.35	445.52	452.89	451.45	453.17	454.82	456.57	458.35	460.03	461.80	463.51	465.31	467.13	468.85	470.67	472.49	474.21	476.04
合計	t/年	679	690	690	697	691	694.09	697.67	700.75	704.23	707.98	711.41	715.15	719.22	723.16	727.39	731.53	735.55	739.71	744.02	748.20

(2) 本計画における減量化・資源化の目標の設定

減量化・資源化の目標は、排出原単位及び総排出量に対する割合より設定しました。

・第四次循環型社会形成推進基本計画より、1人1日当たりの家庭ごみ排出量（資源ごみ、資源ごみ集団回収量を除く）約440g/人・日为目标としました。もえるごみ、リサイクルごみ（もえないごみ）、粗大ごみ、有害ごみは平成30年度の案分率で算出し、直接搬入量、事業系ごみは家庭ごみ排出量の減少率（約2.85%）と同様としました。

・現在東部最終処分場に埋め立て処分を行っている焼却灰うち、25%にあたる飛灰を令和4年度より資源化する予定のため、最終処分率を5.4%としました。

・資源ごみおよび資源ごみは平成30年度の原単位を維持することに加え、飛灰の資源化を考慮し、総資源化量を約15%まで向上させるとしました。

令和7年までの目標

- ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量※を約440g/人・日まで削減する
- ・最終処分率を5.4%まで削減する
- ・総資源化量を約15%まで向上させる

※資源ごみ、資源ごみ集団回収量除く

■目標達成時のごみ排出量予測

項目	単位	実績値					予測値														
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
行政区内人口	人	111,250	110,232	109,287	108,372	107,407	106,398	105,392	104,673	103,971	103,287	102,616	102,025	101,350	100,691	100,043	99,410	98,791	98,250	97,719	97,201
家庭系ごみ	t/年	20,460	20,454	20,053	19,941	19,713	19,456	19,201	19,000	18,802	18,609	18,420	18,245	18,056	17,871	17,690	17,510	17,336	17,175	17,016	16,861
もえるごみ	t/年	17,472	17,299	17,015	17,005	17,115	16,885	16,658	16,476	16,298	16,124	15,953	15,795	15,625	15,458	15,294	15,133	14,975	14,829	14,685	14,545
リサイクルごみ（もえないごみ）	t/年	494	541	587	528	547	540	532	526	521	515	510	505	499	494	489	483	478	474	469	465
粗大ごみ	t/年	36	41	47	57	60	59	58	58	57	57	56	55	55	54	54	53	53	52	52	51
有害ごみ	t/年	37	37	36	33	33	33	32	32	31	31	31	30	30	30	30	29	29	29	28	28
資源ごみ	t/年	1,139	1,133	1,112	1,062	1,001	991	982	975	969	962	956	951	944	938	932	926	921	916	911	906
資源ごみ集団回収	t/年	1,282	1,403	1,256	1,256	957	948	939	933	926	920	914	909	903	897	891	886	880	875	871	866
直接搬入ごみ	t/年	1,053	1,285	1,396	1,349	1,105	1,090	1,076	1,064	1,053	1,042	1,031	1,021	1,010	1,000	989	979	969	960	951	942
事業系ごみ	t/年	6,054	6,010	6,074	6,269	6,275	6,249	6,224	6,198	6,173	6,147	6,122	6,096	6,071	6,045	6,020	5,994	5,968	5,943	5,917	5,892
総排出量	t/年	27,567	27,749	27,523	27,559	27,093	26,795	26,501	26,262	26,028	25,798	25,573	25,362	25,137	24,916	24,699	24,483	24,273	24,078	23,884	23,695
最終処分量	t/年	2,308	2,261	2,308	2,128	2,042	2,018	1,958	1,902	1,469	1,432	1,396	1,364	1,332	1,305	1,276	1,252	1,227	1,203	1,182	1,162
焼却灰	t/年	2,054	1,983	1,981	1,830	1,751	1,702	1,632	1,568	1,128	1,084	1,043	1,004	965	931	896	865	834	806	778	752
飛灰資源化量	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	376	361	348	335	322	310	299	288	278	268	259	250
不燃・粗大	t/年	254	278	327	298	291	316	326	334	341	348	353	360	367	374	380	387	393	397	404	410
最終処分率	—	8.4%	8.1%	8.4%	7.7%	7.5%	7.5%	7.4%	7.2%	5.6%	5.6%	5.5%	5.4%	5.3%	5.2%	5.2%	5.1%	5.1%	5.0%	4.9%	4.9%
総資源化量	t/年	3,559	3,743	3,676	3,517	3,272	3,316	3,334	3,354	3,748	3,750	3,752	3,756	3,755	3,754	3,754	3,753	3,753	3,752	3,752	3,751
内資源ごみ・集団回収を除く	t/年	1,138	1,207	1,308	1,199	1,314	1,377	1,413	1,446	1,477	1,507	1,534	1,561	1,586	1,609	1,632	1,653	1,674	1,693	1,711	1,729
総資源化率	—	12.9%	13.5%	13.4%	12.8%	12.1%	12.4%	12.6%	12.8%	14.4%	14.5%	14.7%	14.8%	14.9%	15.1%	15.2%	15.3%	15.5%	15.6%	15.7%	15.8%

原単位

項目	単位	実績値					予測値														
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
家庭系ごみ	g/人・日	503.86	508.37	502.71	504.12	502.84	500.99	499.14	497.31	495.45	493.61	491.79	489.94	488.10	486.26	484.45	482.57	480.77	478.93	477.07	475.25
もえるごみ	g/人・日	430.28	429.95	426.55	429.90	436.57	434.80	433.02	431.25	429.47	427.70	425.93	424.15	422.38	420.60	418.83	417.06	415.28	413.51	411.73	409.96
リサイクルごみ（もえないごみ）	g/人・日	12.17	13.45	14.72	13.35	13.95	13.89	13.84	13.78	13.72	13.67	13.61	13.55	13.49	13.44	13.38	13.32	13.27	13.21	13.15	13.10
粗大ごみ	g/人・日	0.89	1.02	1.18	1.44	1.53	1.52	1.52	1.51	1.51	1.50	1.49	1.49	1.48	1.48	1.47	1.46	1.46	1.45	1.45	1.44
有害ごみ	g/人・日	0.91	0.92	0.90	0.83	0.84	0.84	0.83	0.83	0.83	0.83	0.82	0.82	0.82	0.81	0.81	0.81	0.80	0.80	0.80	0.80
資源ごみ	g/人・日	28.05	28.16	27.88	26.85	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53	25.53
資源ごみ集団回収	g/人・日	31.57	34.87	31.49	31.75	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41	24.41
直接搬入ごみ	g/人・日	25.93	31.94	35.00	34.10	28.19	28.08	27.97	27.86	27.75	27.64	27.53	27.42	27.31	27.20	27.09	26.98	26.87	26.76	26.65	26.54
事業系ごみ	t/日	16.59	16.47	16.64	17.18	17.19	17.12	17.05	16.98	16.91	16.84	16.77	16.70	16.63	16.56	16.49	16.42	16.35	16.28	16.21	16.14
1人1日当たりの家庭ごみ排出量 （集団回収量、資源ごみ等を除く）	g/人・日	444.25	445.34	443.35	445.52	452.89	451.05	449.21	447.37	445.53	443.69	441.85	440.01	438.17	436.33	434.49	432.65	430.81	428.97	427.13	425.29
合計	t/年	679	690	690	697	691	689.98	688.91	687.39	685.86	684.31	682.76	681.06	679.50	677.95	676.38	674.75	673.16	671.42	669.64	667.86

3. 生活排水処理人口の予測

(1) 処理形態別人口の算出

構成市町毎に公共下水道人口、合併浄化槽人口、農業集落排水人口（玉名市のみ）、単独浄化槽人口、非水洗化人口を直近5年の実績を用いて予測しました。

1) 玉名市

玉名市の処理形態別人口予測を表3-1にまとめました。

なお、処理形態別人口予測は表3-2～3-5に示す通りです。

表3-1 生活排水別人口予測結果

単位:人

年 度	計画人口 (岱明処 理区を除 く)	水洗化・生活雑排水処理人口							水洗化 ・生活雑排水 未処理人口 (単独処理 浄化槽)	非水洗化 人口 (汲み取り 人口・自己 処理人口)	
		公共 下水道	合併処理 浄化槽	農業集落排水人口			計	処理率			
				横島地区	天水地区	合計					
実績	H26	25,730	8,752	3,589	3,842	1,084	4,926	17,267	67.1%	3,727	4,736
	H27	25,599	9,006	3,568	3,836	1,078	4,914	17,488	68.3%	3,606	4,505
	H28	25,434	9,136	3,543	3,858	1,063	4,921	17,600	69.2%	3,550	4,284
	H29	25,150	9,149	3,524	3,840	1,061	4,901	17,574	69.9%	3,464	4,112
	H30	24,889	9,257	3,410	3,825	1,065	4,890	17,557	70.5%	3,381	3,951
予測	R1	24,434	9,337	3,120	3,821	1,064	4,885	17,342	71.0%	3,312	3,780
	R2	24,176	9,417	3,009	3,814	1,062	4,876	17,302	71.6%	3,243	3,631
	R3	24,032	9,497	2,997	3,808	1,060	4,868	17,362	72.2%	3,178	3,492
	R4	23,891	9,577	2,976	3,802	1,058	4,860	17,413	72.9%	3,116	3,362
	R5	23,754	9,657	2,948	3,794	1,057	4,851	17,456	73.5%	3,058	3,240
	R6	23,620	9,737	2,911	3,788	1,055	4,843	17,491	74.1%	3,002	3,127
	R7	23,489	9,817	2,870	3,781	1,053	4,834	17,521	74.6%	2,948	3,020
	R8	23,358	9,897	2,819	3,775	1,051	4,826	17,542	75.1%	2,897	2,919
	R9	23,230	9,977	2,762	3,769	1,049	4,818	17,557	75.6%	2,848	2,825
	R10	23,105	10,057	2,703	3,762	1,047	4,809	17,569	76.0%	2,801	2,735
	R11	22,982	10,137	2,637	3,755	1,046	4,801	17,575	76.5%	2,756	2,651
	R12	22,862	10,217	2,569	3,749	1,044	4,793	17,579	76.9%	2,712	2,571
	R13	22,759	10,297	2,512	3,742	1,042	4,784	17,593	77.3%	2,671	2,495
	R14	22,658	10,377	2,451	3,736	1,040	4,776	17,604	77.7%	2,631	2,423
	R15	22,559	10,450	2,394	3,730	1,038	4,768	17,612	78.1%	2,592	2,355
予測根拠	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦=	⑧=	⑨	⑩	
	将来人口	公共下水道 計画より	①-②-⑥ -⑨-⑩	⑤を平成 年度の横島 地区と天水地区の人口 比で案分			推計より	②+③+④	⑤÷①	推計より	推計より

※各年度3月31日実績

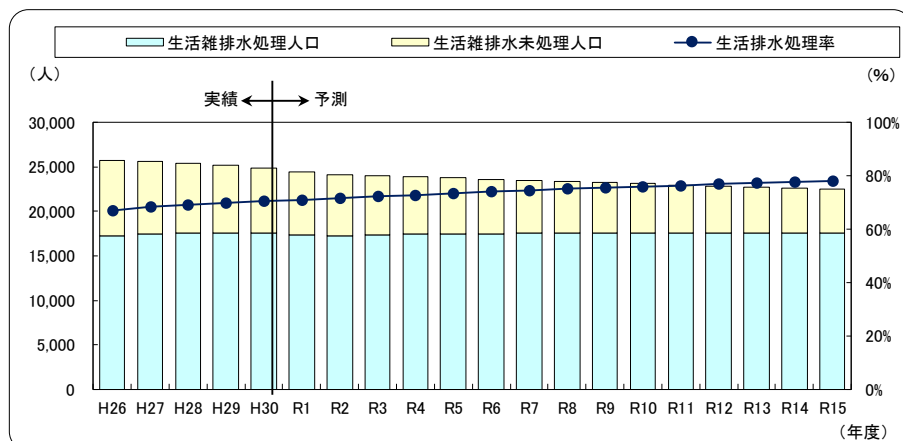


表 3-2 公共下水道人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)						公共下水道計画
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H26	8,752	R1	9,406	9,394	9,413	9,401	9,378	9,337	-
H27	9,006	R2	9,521	9,497	9,534	9,509	9,468	9,417	-
H28	9,136	R3	9,637	9,597	9,657	9,615	9,552	9,497	-
H29	9,149	R4	9,752	9,694	9,781	9,718	9,632	9,577	-
H30	9,257	R5	9,867	9,788	9,907	9,820	9,707	9,657	-
		R6	9,982	9,879	10,035	9,921	9,778	9,737	-
		R7	10,098	9,968	10,164	10,019	9,846	9,817	-
		R8	10,213	10,055	10,295	10,115	9,909	9,897	-
		R9	10,328	10,139	10,427	10,210	9,970	9,977	-
		R10	10,444	10,221	10,562	10,304	10,027	10,057	-
		R11	10,559	10,301	10,698	10,396	10,082	10,137	-
		R12	10,674	10,379	10,835	10,487	10,134	10,217	-
		R13	10,790	10,455	10,975	10,576	10,183	10,297	-
		R14	10,905	10,530	11,116	10,664	10,230	10,377	-
		R15	11,020	10,603	11,259	10,750	10,276	10,450	10,450
		R16	11,135	10,674	11,404	10,836	10,319	10,530	-
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
a=			5831.6000	-1742.3040	6330.7998	2731.1783	12264.4325		
b=			115.3000	3243.0331	0.0128	0.3599	-89494.7890		
r ² =			0.8846	0.8956	0.8802	0.8915	0.8913		
採否								採用	

※各年度3月31日実績

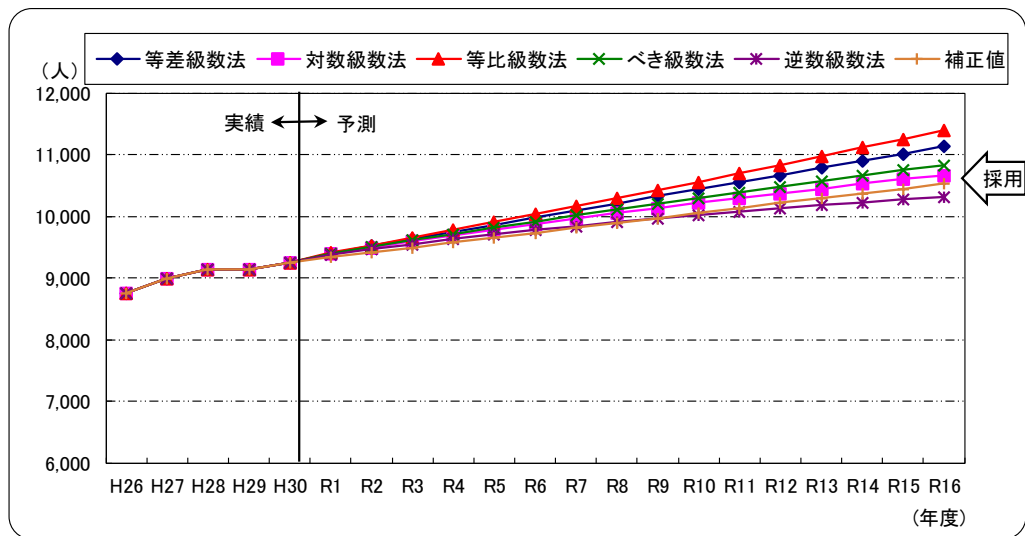


表 3-3 農業集落排水人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	4,926	R1	4,885	4,886	4,885	4,886	4,888
H27	4,914	R2	4,876	4,879	4,876	4,879	4,881
H28	4,921	R3	4,868	4,871	4,868	4,871	4,875
H29	4,901	R4	4,859	4,864	4,860	4,864	4,869
H30	4,890	R5	4,851	4,857	4,851	4,858	4,864
		R6	4,842	4,851	4,843	4,851	4,859
		R7	4,834	4,844	4,834	4,845	4,854
		R8	4,825	4,838	4,826	4,838	4,849
		R9	4,817	4,832	4,818	4,832	4,845
		R10	4,808	4,826	4,809	4,826	4,841
		R11	4,800	4,820	4,801	4,821	4,837
		R12	4,791	4,814	4,793	4,815	4,833
		R13	4,783	4,809	4,784	4,810	4,830
		R14	4,774	4,803	4,776	4,804	4,826
		R15	4,766	4,798	4,768	4,799	4,823
		R16	4,757	4,793	4,760	4,794	4,820
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
		a=	5148.4000	5697.5473	5154.3704	5764.5805	4680.1586
		b=	-8.5000	-236.3148	-0.0017	-0.0481	6430.2830
		r ² =	0.8274	0.8185	0.8274	0.8185	0.7919
		採否			採用		

※各年度3月31日実績

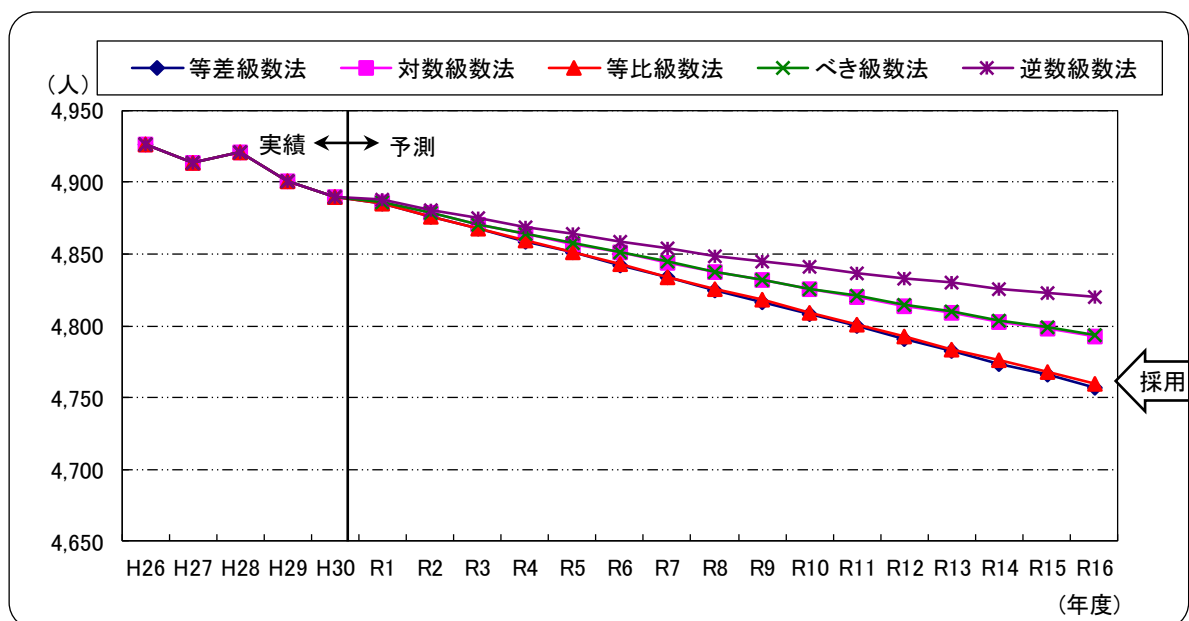


表 3-4 単独浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	3,727	R1	3,295	3,305	3,302	3,312	3,319
H27	3,606	R2	3,212	3,231	3,226	3,243	3,254
H28	3,550	R3	3,129	3,159	3,151	3,178	3,193
H29	3,464	R4	3,045	3,090	3,078	3,116	3,136
H30	3,381	R5	2,962	3,022	3,006	3,058	3,083
		R6	2,878	2,956	2,936	3,002	3,032
		R7	2,795	2,892	2,868	2,948	2,984
		R8	2,712	2,830	2,801	2,897	2,938
		R9	2,628	2,770	2,736	2,848	2,895
		R10	2,545	2,710	2,673	2,801	2,854
		R11	2,461	2,653	2,611	2,756	2,815
		R12	2,378	2,597	2,550	2,712	2,778
		R13	2,295	2,542	2,491	2,671	2,742
		R14	2,211	2,488	2,433	2,631	2,708
		R15	2,128	2,436	2,376	2,592	2,676
		R16	2,044	2,384	2,321	2,555	2,645
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
		a=	5880.8000	11317.1974	6843.2262	31646.6181	1253.6478
		b=	-83.4000	-2333.1641	-0.0235	-0.6573	64010.6416
		r ² =	0.9891	0.9906	0.9906	0.9915	0.9744
		採否				採用	

※各年度3月31日実績

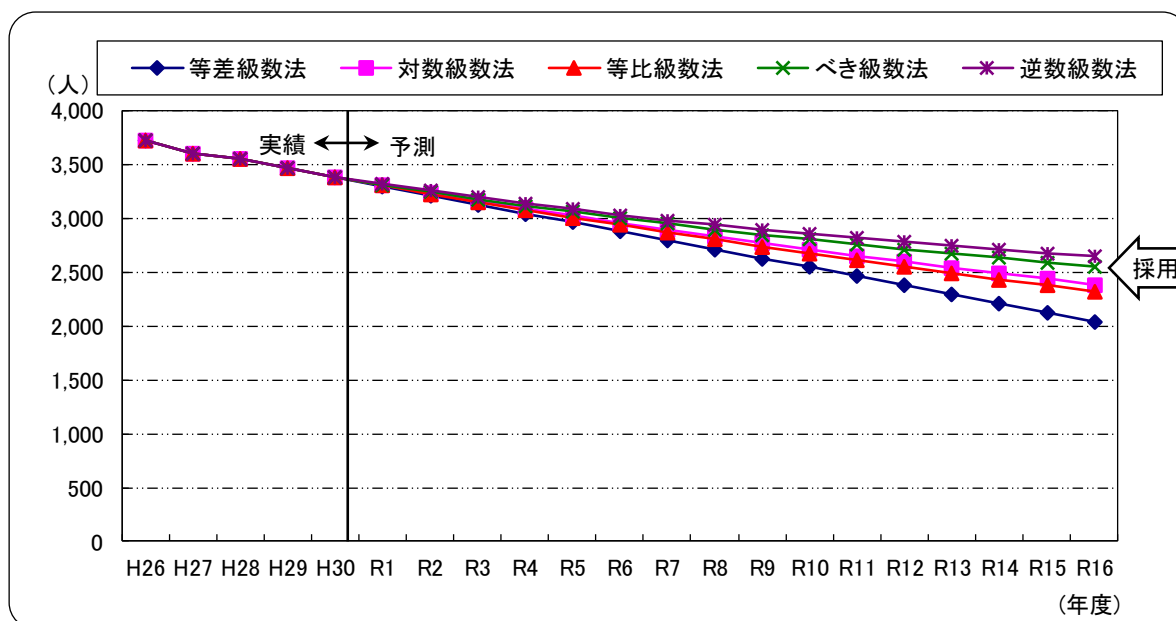
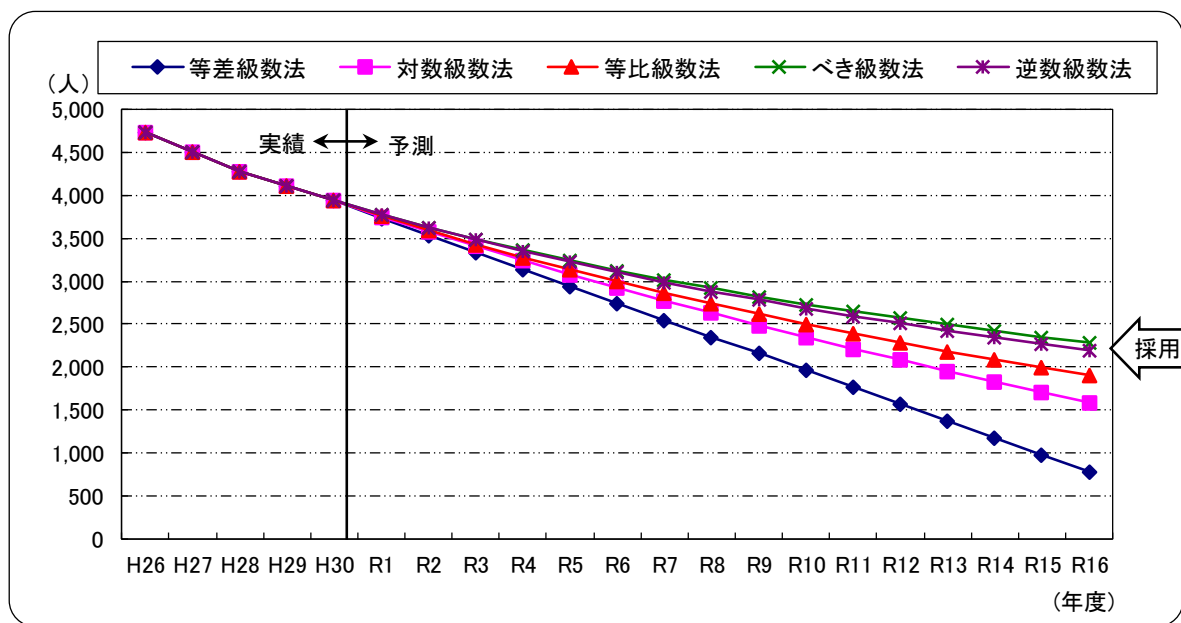


表 3-5 非水洗化人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	4,736	R1	3,729	3,751	3,760	3,780	3,782
H27	4,505	R2	3,532	3,577	3,594	3,631	3,630
H28	4,284	R3	3,336	3,408	3,434	3,492	3,487
H29	4,112	R4	3,140	3,244	3,282	3,362	3,353
H30	3,951	R5	2,944	3,084	3,136	3,240	3,226
		R6	2,747	2,929	2,997	3,127	3,106
		R7	2,551	2,779	2,864	3,020	2,993
		R8	2,355	2,632	2,737	2,919	2,886
		R9	2,158	2,490	2,616	2,825	2,784
		R10	1,962	2,350	2,500	2,735	2,687
		R11	1,766	2,215	2,389	2,651	2,595
		R12	1,569	2,082	2,283	2,571	2,508
		R13	1,373	1,953	2,182	2,495	2,424
		R14	1,177	1,827	2,085	2,423	2,344
		R15	981	1,703	1,992	2,355	2,268
		R16	784	1,582	1,904	2,291	2,195
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			9814.0000	22622.4661	15349.2113	295666.2432	-1084.6918
b=			-196.3000	-5495.4283	-0.0454	-1.2695	150877.5609
r ² =			0.9932	0.9962	0.9968	0.9986	0.9812
採否						採用	

※各年度3月31日実績



2) 玉東町

玉東町の処理形態別人口予測を表 3-6 にまとめました。

なお、処理形態別人口予測は表 3-7～3-8 に示す通りです。

表 3-6 生活排水別人口予測結果

単位:人

年 度		計画人口	水洗化・生活雑排水処理人口					水洗化・生活雑排水未処理人口 (单独処理浄化槽)	非水洗化人口 (汲み取り人口・自己処理人口)
			公共下水道	合併処理浄化槽	農業集落排水人口	計	処理率		
実績	H26	5,492	0	2,931	0	2,931	53.4%	1,881	664
	H27	5,463	0	3,009	0	3,009	55.1%	1,838	616
	H28	5,363	0	3,224	0	3,224	60.1%	1,800	339
	H29	5,295	0	3,240	0	3,240	61.2%	1,736	319
	H30	5,295	0	3,260	0	3,260	61.6%	1,726	309
予測	R1	5,222	0	3,324	0	3,324	63.7%	1,673	225
	R2	5,150	0	3,334	0	3,334	64.7%	1,631	185
	R3	5,071	0	3,328	0	3,328	65.6%	1,590	153
	R4	4,991	0	3,314	0	3,314	66.4%	1,549	128
	R5	4,912	0	3,297	0	3,297	67.1%	1,508	107
	R6	4,832	0	3,275	0	3,275	67.8%	1,467	90
	R7	4,753	0	3,252	0	3,252	68.4%	1,425	76
	R8	4,674	0	3,226	0	3,226	69.0%	1,384	64
	R9	4,594	0	3,196	0	3,196	69.6%	1,343	55
	R10	4,514	0	3,165	0	3,165	70.1%	1,302	47
	R11	4,462	0	3,161	0	3,161	70.8%	1,261	40
	R12	4,411	0	3,157	0	3,157	71.6%	1,219	35
	R13	4,360	0	3,152	0	3,152	72.3%	1,178	30
	R14	4,308	0	3,145	0	3,145	73.0%	1,137	26
	R15	4,257	0	3,138	0	3,138	73.7%	1,096	23
予測根拠		①	②	③	④	⑤=	⑥=	⑦	⑧
		将来人口		①-②-⑦-⑧		②+③+④	⑤÷①	推計より	推計より

※各年度3月31日実績

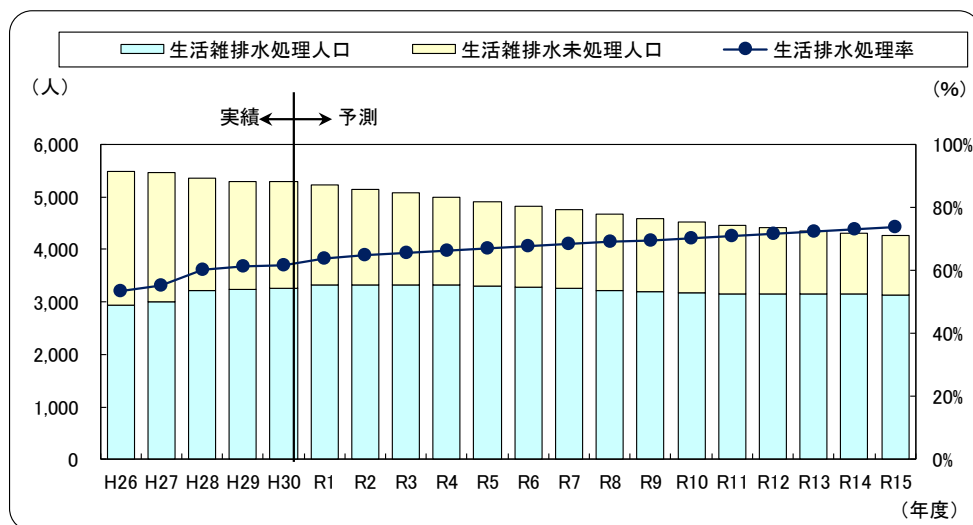


表 3-7 単独浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	1,881	R1	1,673	1,677	1,676	1,680	1,684
H27	1,838	R2	1,631	1,641	1,638	1,647	1,652
H28	1,800	R3	1,590	1,605	1,601	1,614	1,622
H29	1,736	R4	1,549	1,571	1,565	1,584	1,594
H30	1,726	R5	1,508	1,537	1,529	1,555	1,567
		R6	1,467	1,505	1,495	1,527	1,542
		R7	1,425	1,473	1,461	1,500	1,518
		R8	1,384	1,443	1,428	1,475	1,496
		R9	1,343	1,413	1,395	1,450	1,474
		R10	1,302	1,383	1,364	1,427	1,454
		R11	1,261	1,355	1,333	1,405	1,435
		R12	1,219	1,327	1,303	1,383	1,416
		R13	1,178	1,300	1,273	1,362	1,399
		R14	1,137	1,273	1,244	1,342	1,382
		R15	1,096	1,248	1,216	1,323	1,366
		R16	1,055	1,222	1,189	1,305	1,351
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			2949.8000	5637.9047	3409.5455	15192.3477	662.6069
b=			-41.2000	-1153.3443	-0.0229	-0.6412	31659.4827
r ² =			0.9697	0.9725	0.9698	0.9722	0.9576
採否			採用				

※各年度3月31日実績

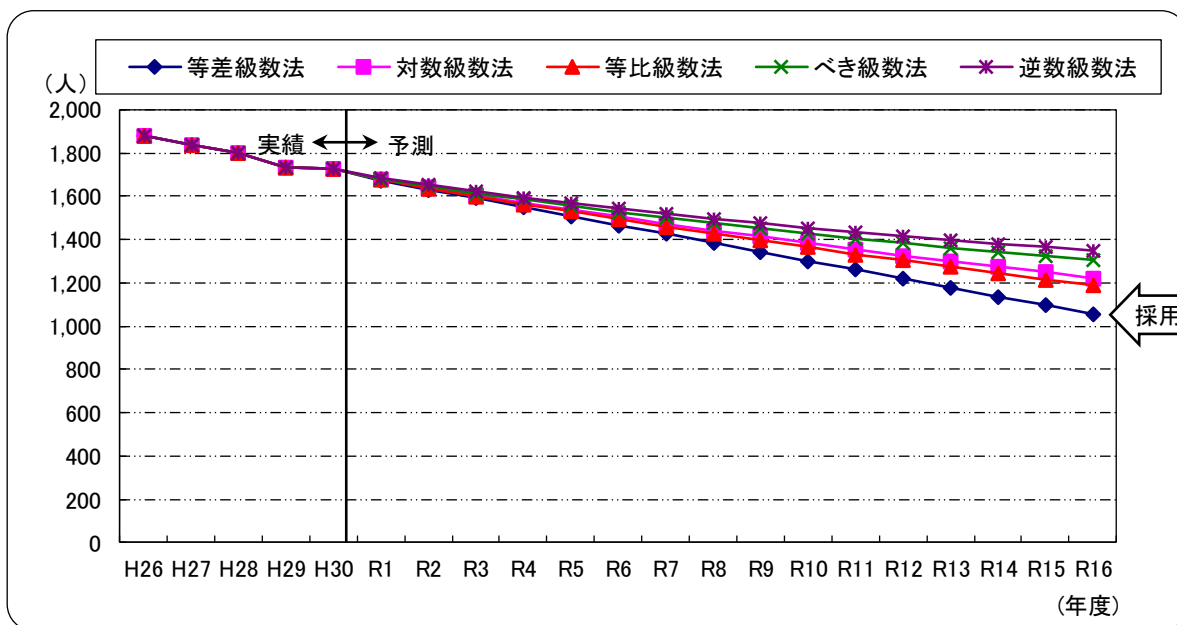
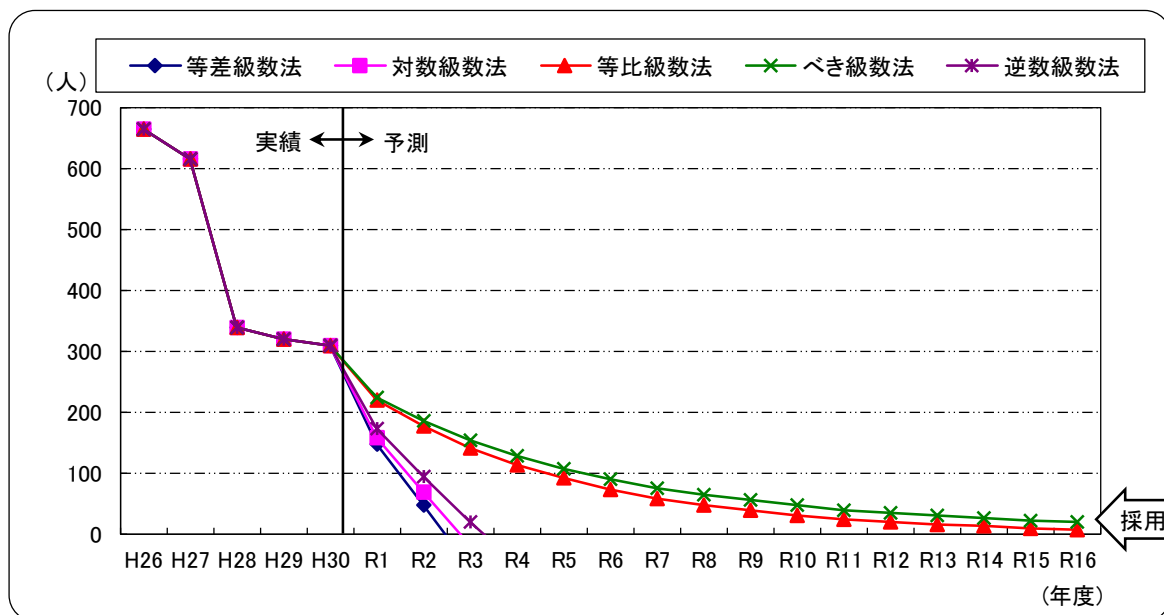


表 3-8 非水洗化人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	664	R1	147	158	220	225	173
H27	616	R2	47	68	177	185	94
H28	339	R3	-54	-19	142	153	20
H29	319	R4	-155	-104	114	128	-49
H30	309	R5	-256	-186	92	107	-115
		R6	-356	-266	74	90	-177
		R7	-457	-343	59	76	-236
		R8	-558	-419	48	64	-291
		R9	-658	-492	38	55	-344
		R10	-759	-564	31	47	-394
		R11	-860	-634	25	40	-441
		R12	-960	-702	20	35	-487
		R13	-1,061	-769	16	30	-530
		R14	-1,162	-834	13	26	-571
		R15	-1,263	-897	10	23	-610
		R16	-1,363	-959	8	20	-648
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
		a=	3269.0000	9877.7507	193965.8936	328414856505	-2344.2204
		b=	-100.7000	-2830.5493	-0.2188	-6.1449	78021.4501
		r ² =	0.8264	0.8356	0.8371	0.8451	0.8296
		採否				採用	

※各年度3月31日実績



3) 南関町

南関町の処理形態別人口予測を表 3-9 にまとめました。

なお、処理形態別人口予測は表 3-10～3-12 に示す通りです。

表 3-9 生活排水別人口予測結果

単位:人

年 度	計画人口	水洗化・生活雑排水処理人口				計	処理率	水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽)	非水洗化人口 (汲み取り人口・自己処理人口)
		公共下水道	合併処理浄化槽	農業集落排水人口					
実績	H26	10,428	1,616	3,539	0	5,155	49.4%	645	4,628
	H27	10,209	1,728	3,548	0	5,276	51.7%	605	4,328
	H28	10,086	1,629	3,586	0	5,215	51.7%	567	4,304
	H29	9,934	1,678	3,597	0	5,275	53.1%	543	4,116
	H30	9,740	1,510	3,645	0	5,155	52.9%	515	4,070
予測	R1	9,657	1,545	3,705	0	5,250	54.4%	487	3,920
	R2	9,574	1,579	3,718	0	5,297	55.3%	462	3,815
	R3	9,488	1,614	3,720	0	5,334	56.2%	439	3,715
	R4	9,406	1,649	3,720	0	5,369	57.1%	417	3,620
	R5	9,328	1,684	3,717	0	5,401	57.9%	396	3,531
	R6	9,254	1,718	3,714	0	5,432	58.7%	376	3,446
	R7	9,182	1,753	3,705	0	5,458	59.4%	358	3,366
	R8	9,107	1,788	3,690	0	5,478	60.2%	340	3,289
	R9	9,035	1,822	3,674	0	5,496	60.8%	323	3,216
	R10	8,966	1,857	3,655	0	5,512	61.5%	307	3,147
	R11	8,899	1,892	3,634	0	5,526	62.1%	292	3,081
	R12	8,836	1,927	3,614	0	5,541	62.7%	278	3,017
	R13	8,765	1,961	3,583	0	5,544	63.3%	264	2,957
	R14	8,695	1,996	3,549	0	5,545	63.8%	251	2,899
	R15	8,628	2,031	3,515	0	5,546	64.3%	239	2,843
	R16	8,562	2,065	3,480	0	5,545	64.8%	227	2,790
	R17	8,499	2,100	3,446	0	5,546	65.3%	215	2,738
予測根拠		① 将来人口	② 公共下水道計画より	③ ①-②-⑦-⑧	④	⑤= ②+③+④	⑥= ⑤÷①	⑦ 推計より	⑧ 推計より

※各年度3月31日実績

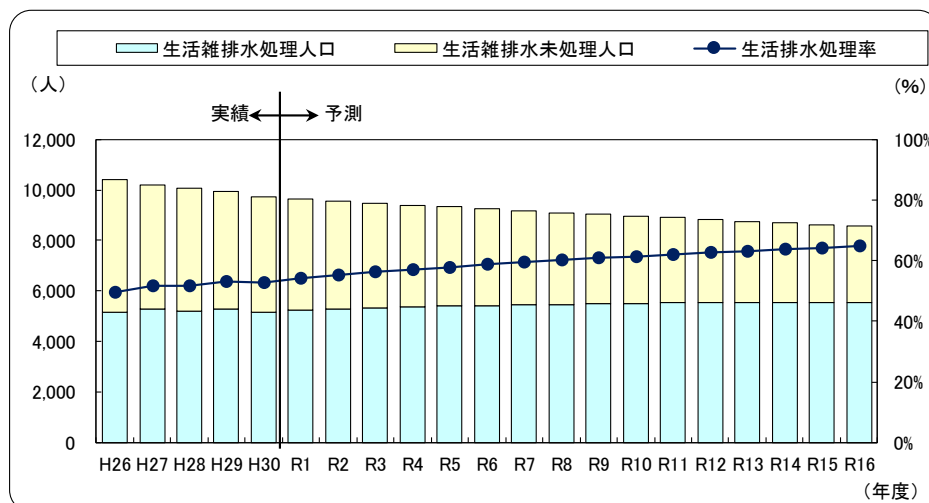


表 3-10 公共下水道人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)						公共下水道計画
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H26	1,616	R1	1,554	1,559	1,552	1,557	1,565	1,545	-
H27	1,728	R2	1,527	1,536	1,526	1,535	1,546	1,579	-
H28	1,629	R3	1,501	1,514	1,501	1,514	1,528	1,614	-
H29	1,678	R4	1,475	1,493	1,477	1,494	1,511	1,649	-
H30	1,510	R5	1,449	1,472	1,453	1,474	1,495	1,684	-
		R6	1,423	1,452	1,429	1,456	1,480	1,718	-
		R7	1,396	1,433	1,405	1,438	1,466	1,753	-
		R8	1,370	1,414	1,382	1,421	1,452	1,788	-
		R9	1,344	1,395	1,360	1,405	1,440	1,822	-
		R10	1,318	1,377	1,338	1,389	1,428	1,857	-
		R11	1,292	1,360	1,316	1,373	1,416	1,892	-
		R12	1,265	1,343	1,294	1,359	1,405	1,927	-
		R13	1,239	1,326	1,273	1,344	1,395	1,961	-
		R14	1,213	1,310	1,252	1,331	1,385	1,996	-
		R15	1,187	1,294	1,232	1,317	1,375	2,031	-
		R16	1,161	1,278	1,211	1,304	1,366	2,065	-
		R17	1,134	1,263	1,192	1,292	1,357	2,100	2,100
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
a=			2365.8000	4002.5578	2588.4555	7262.4320	954.1572		
b=			-26.2000	-711.6212	-0.0165	-0.4485	18936.6754		
r ² =			0.2592	0.2447	0.2678	0.2530	0.2265		
採否								採用	

※各年度3月31日実績

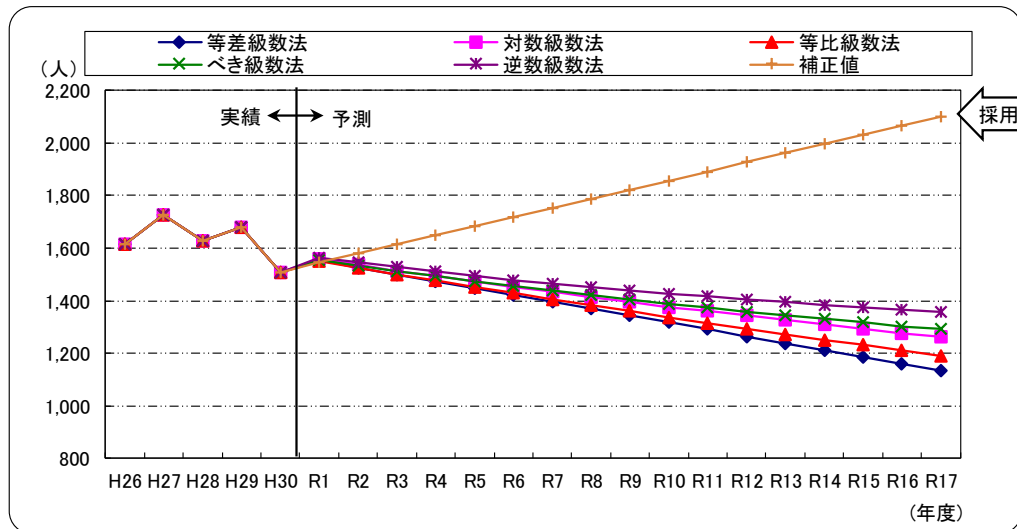


表 3-11 単独浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	645	R1	478	482	485	488	487
H27	605	R2	446	453	458	464	462
H28	567	R3	414	426	434	443	439
H29	543	R4	382	399	410	422	417
H30	515	R5	350	373	388	404	396
		R6	317	347	367	386	376
		R7	285	323	347	370	358
		R8	253	298	328	355	340
		R9	221	275	310	341	323
		R10	189	252	293	328	307
		R11	156	230	277	315	292
		R12	124	208	262	304	278
		R13	92	187	248	293	264
		R14	60	166	235	282	251
		R15	28	146	222	273	239
		R16	-5	126	210	263	227
		R17	-37	107	198	255	215
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			1476.6000	3578.8258	2736.4687	104358.8311	-311.8874
b=			-32.2000	-901.7990	-0.0558	-1.5624	24769.3778
r ² =			0.9886	0.9923	0.9941	0.9964	0.9783
採否							採用

※各年度3月31日実績

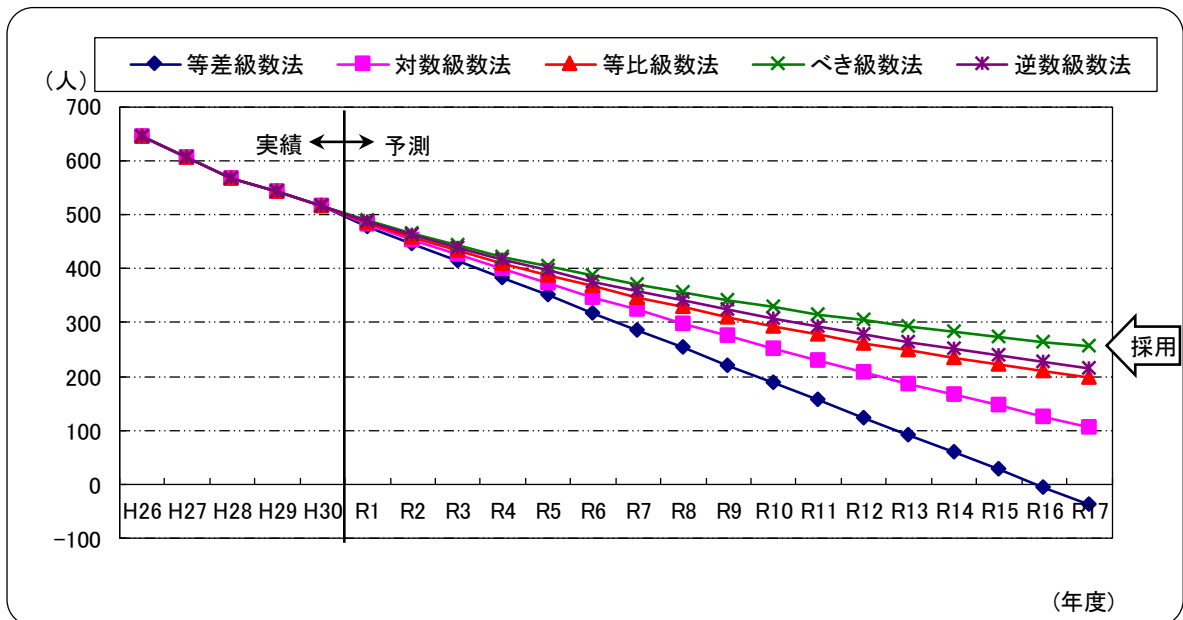
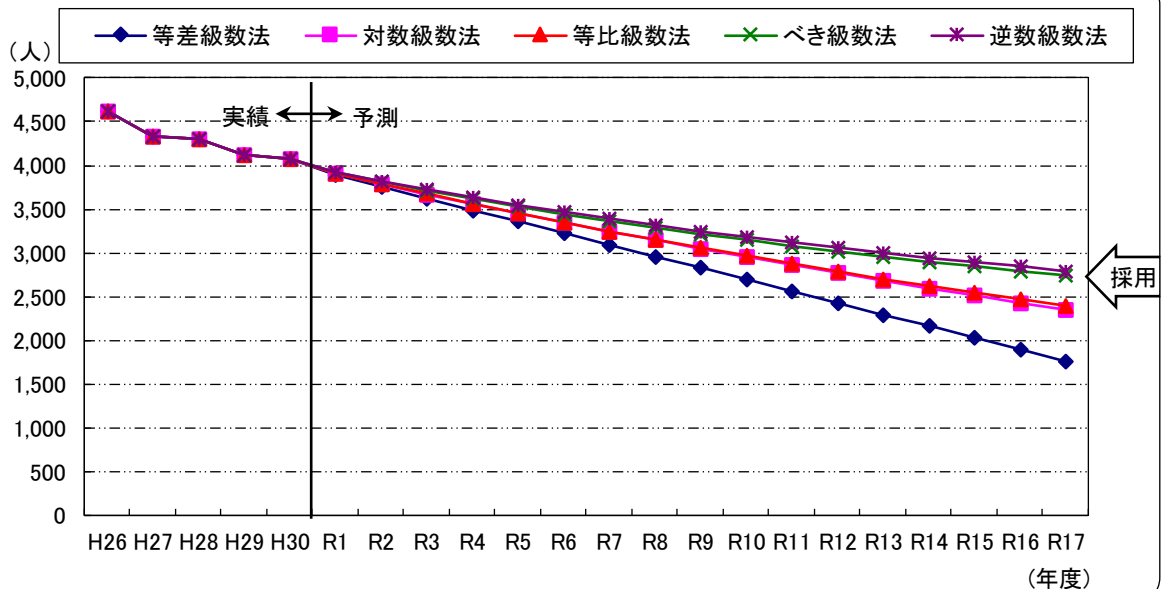


表 3-12 非水洗化人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	4,628	R1	3,891	3,905	3,908	3,920	3,925
H27	4,328	R2	3,758	3,787	3,789	3,815	3,821
H28	4,304	R3	3,625	3,672	3,675	3,715	3,724
H29	4,116	R4	3,492	3,560	3,564	3,620	3,633
H30	4,070	R5	3,360	3,452	3,456	3,531	3,546
		R6	3,227	3,347	3,351	3,446	3,465
		R7	3,094	3,245	3,250	3,366	3,388
		R8	2,961	3,146	3,151	3,289	3,315
		R9	2,828	3,049	3,056	3,216	3,246
		R10	2,696	2,954	2,964	3,147	3,180
		R11	2,563	2,862	2,874	3,081	3,117
		R12	2,430	2,773	2,787	3,017	3,057
		R13	2,297	2,685	2,703	2,957	3,001
		R14	2,164	2,599	2,621	2,899	2,946
		R15	2,032	2,515	2,542	2,843	2,894
		R16	1,899	2,433	2,465	2,790	2,845
		R17	1,766	2,353	2,390	2,738	2,797
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
		a=	8007.6000	16709.3753	10126.7917	75704.9920	612.8013
		b=	-132.8000	-3728.7452	-0.0307	-0.8622	102676.0668
		r ² =	0.9065	0.9146	0.9146	0.9220	0.9062
		採否				採用	

※各年度3月31日実績



4) 長洲町

長洲町の処理形態別人口予測を表 3-13 にまとめました。

なお、処理形態別人口予測は表 3-14～3-16 に示す通りです。

表 3-13 生活排水別人口予測結果

単位：人										
年 度		計画人口	水洗化・生活雑排水処理人口						水洗化 ・生活雑排水 未処理人口 (単独処理 浄化槽)	非水洗化 人口 (汲み取り 人口・自己 処理人口)
			公共 下水道	合併処理 浄化槽	農業集落 排水人口	計	下水道率 (H30を 96%とす る)	処理率		
実 績	H26	16,463	13,867	291	0	14,158		86.0%	330	1,975
	H27	16,336	13,942	251	0	14,193		86.9%	270	1,873
	H28	16,125	13,902	235	0	14,137		87.7%	247	1,741
	H29	16,049	13,902	210	0	14,112		87.9%	232	1,705
	H30	16,048	14,067	192	0	14,259	96%	88.9%	212	1,577
予 測	R1	15,974	14,098	188	0	14,285	96%	89.4%	187	1,502
	R2	15,901	14,126	183	0	14,309	97%	90.0%	169	1,423
	R3	15,791	14,113	179	0	14,291	96%	90.5%	152	1,348
	R4	15,684	14,097	174	0	14,271	96%	91.0%	137	1,276
	R5	15,580	14,078	170	0	14,247	96%	91.4%	124	1,209
	R6	15,478	14,057	165	0	14,222	96%	91.9%	111	1,145
	R7	15,379	14,035	161	0	14,195	96%	92.3%	100	1,084
	R8	15,256	13,983	156	0	14,139	96%	92.7%	90	1,027
	R9	15,135	13,930	152	0	14,081	95%	93.0%	82	972
	R10	15,016	13,874	147	0	14,021	95%	93.4%	74	921
	R11	14,900	13,820	143	0	13,962	94%	93.7%	66	872
	R12	14,786	13,762	138	0	13,900	94%	94.0%	60	826
	R13	14,712	13,743	134	0	13,876	94%	94.3%	54	782
	R14	14,639	13,720	129	0	13,849	94%	94.6%	49	741
	R15	14,569	13,700	125	0	13,824	94%	94.9%	44	701
	R16	14,499	13,676	120	0	13,796	93%	95.2%	39	664
予測根拠		①	②	③	④	⑤=		⑥=	⑦	⑧
		将来人口	①-③-⑦-⑧	推計より		②+③+④		⑤÷①	推計より	推計より

※各年度3月31日実績

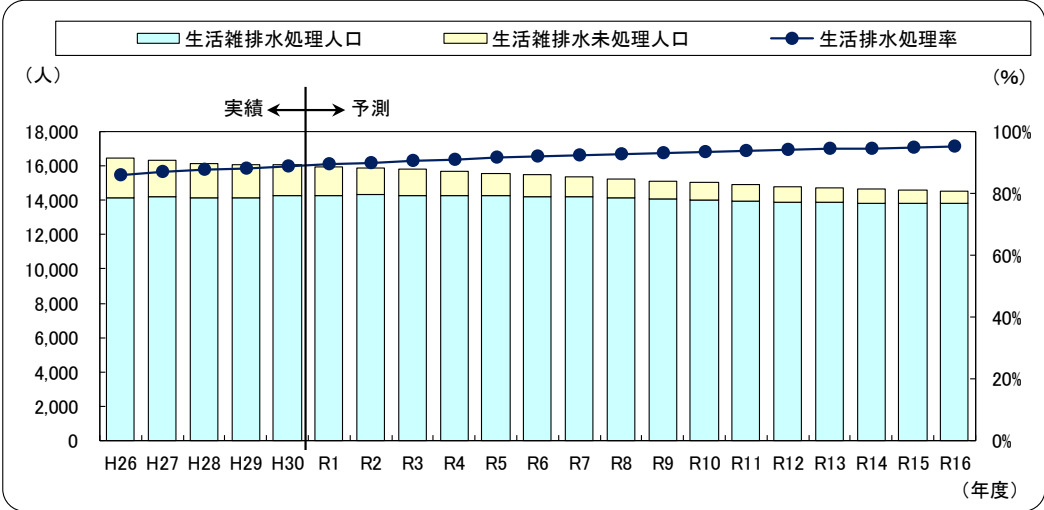


表 3-14 合併浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)					補正值
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	
H26	291	R1	164	167	172	174	171	188
H27	251	R2	140	146	156	159	152	183
H28	235	R3	116	125	141	146	135	179
H29	210	R4	92	105	127	134	118	174
H30	192	R5	69	86	115	124	103	170
		R6	45	67	104	114	88	165
		R7	21	48	94	106	74	161
		R8	-3	30	85	98	61	156
		R9	-27	13	77	91	49	152
		R10	-51	-4	69	85	37	147
		R11	-75	-20	63	79	26	143
		R12	-99	-37	57	74	15	138
		R13	-123	-52	51	69	5	134
		R14	-147	-68	46	65	-5	129
		R15	-171	-83	42	61	-14	125
		R16	-194	-98	38	57	-23	120
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$	
		a=	905.0000	2466.5412	3946.5469	2860594.4196	-423.2208	
		b=	-23.9000	-669.7060	-0.1010	-2.8262	18405.4208	
		r ² =	0.9743	0.9790	0.9878	0.9899	0.9663	
		採否						採用

※各年度3月31日実績

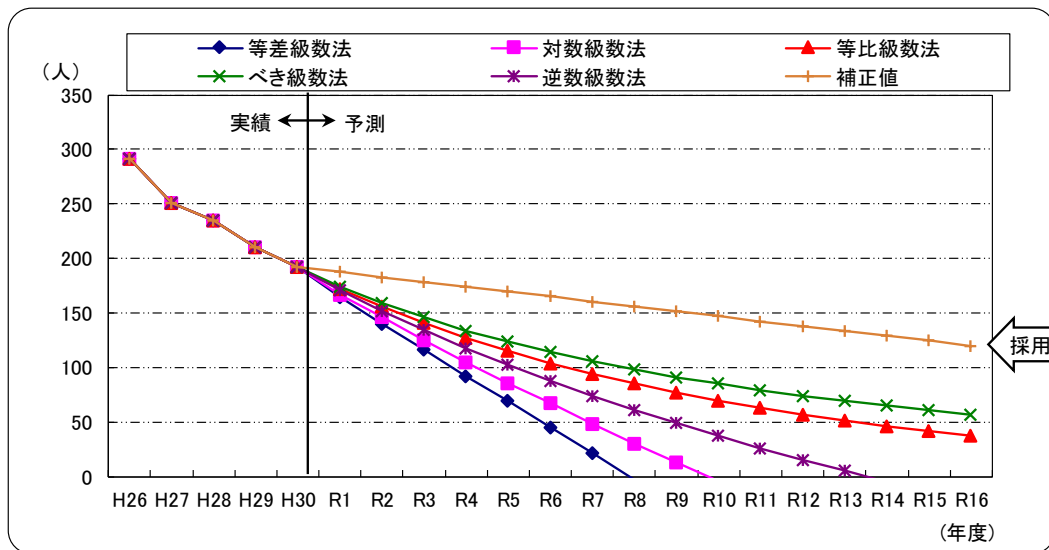


表 3-15 単独浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	330	R1	176	179	187	189	183
H27	270	R2	149	154	169	172	161
H28	247	R3	121	131	152	158	141
H29	232	R4	94	108	137	145	122
H30	212	R5	66	85	124	133	105
		R6	39	64	111	122	88
		R7	12	43	100	113	72
		R8	-16	22	90	105	57
		R9	-43	2	82	97	42
		R10	-71	-17	74	90	29
		R11	-98	-37	66	84	16
		R12	-125	-55	60	78	3
		R13	-153	-73	54	73	-8
		R14	-180	-91	49	68	-20
		R15	-208	-108	44	64	-30
		R16	-235	-125	39	60	-40
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			1025.4000	2823.6935	4650.8156	4132648.1073	-502.1214
b=			-27.4000	-770.2042	-0.1037	-2.9098	21234.5889
r ² =			0.9110	0.9213	0.9444	0.9522	0.9150
採否					採用		

※各年度3月31日実績

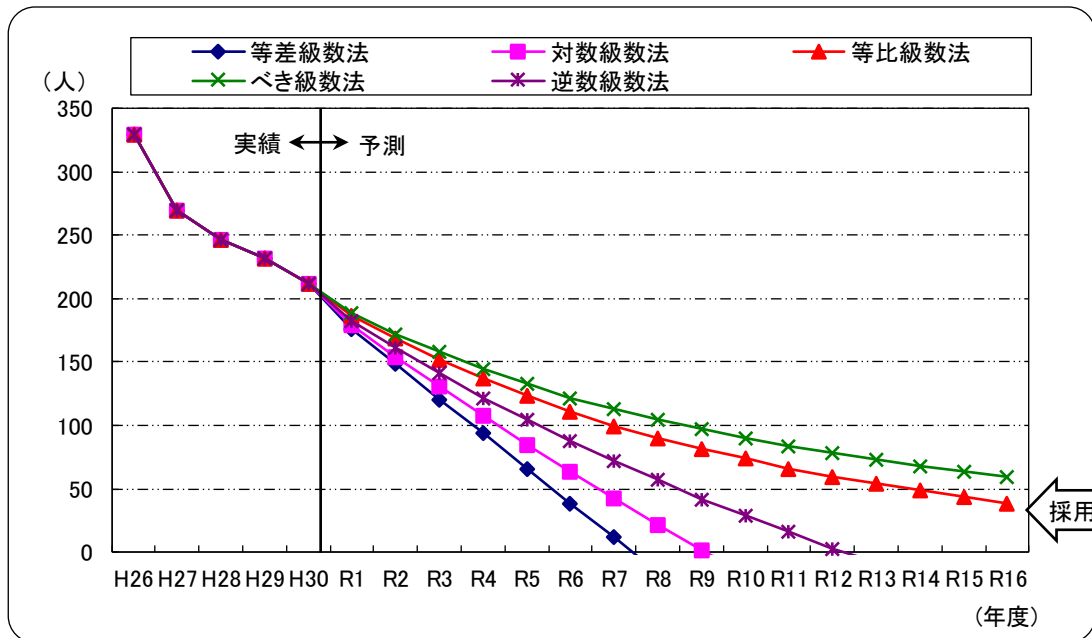
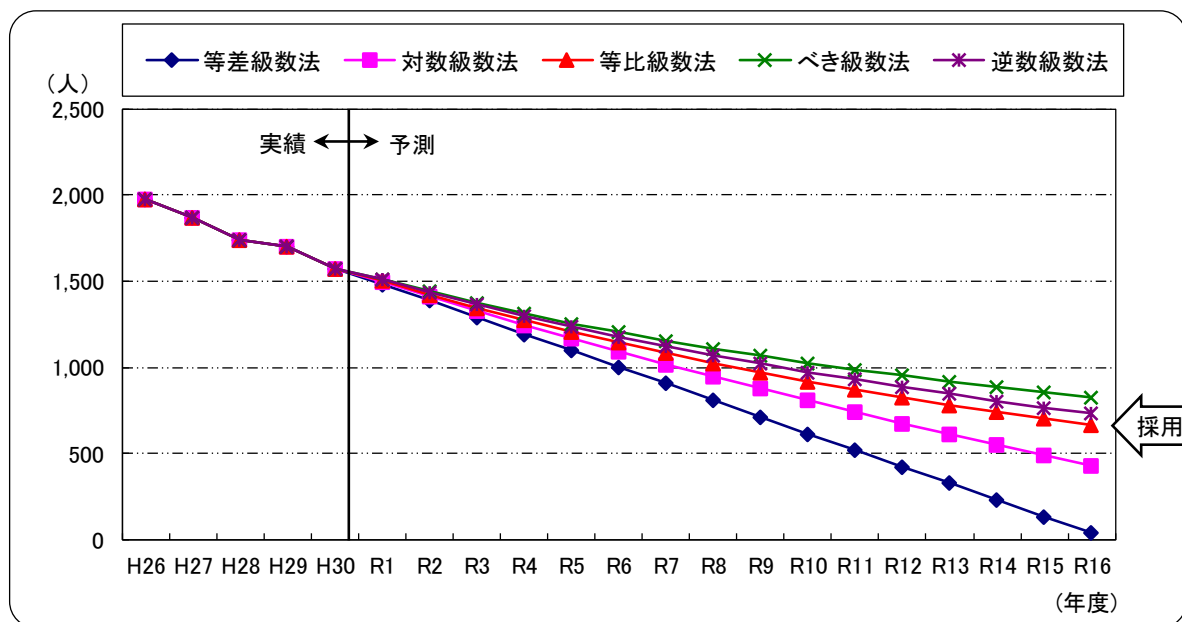


表 3-16 非水洗化人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	1,975	R1	1,485	1,496	1,502	1,512	1,512
H27	1,873	R2	1,389	1,411	1,423	1,441	1,437
H28	1,741	R3	1,292	1,328	1,348	1,375	1,367
H29	1,705	R4	1,196	1,247	1,276	1,314	1,301
H30	1,577	R5	1,099	1,169	1,209	1,257	1,239
		R6	1,003	1,093	1,145	1,205	1,180
		R7	907	1,019	1,084	1,156	1,125
		R8	810	947	1,027	1,110	1,072
		R9	714	877	972	1,067	1,022
		R10	617	809	921	1,026	975
		R11	521	742	872	989	930
		R12	425	677	826	953	887
		R13	328	614	782	919	846
		R14	232	552	741	888	807
		R15	135	491	701	858	769
		R16	39	432	664	830	734
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			4473.4000	10755.6082	8114.9851	280203.1367	-874.2821
b=			-96.4000	-2696.3696	-0.0544	-1.5207	73967.9639
r ² =			0.9796	0.9809	0.9798	0.9796	0.9646
採否					採用		

※各年度3月31日実績



5) 和水町

和水町の処理形態別人口予測を表 3-17 にまとめました。

なお、処理形態別人口予測は表 3-18～3-20 に示す通りです。

表 3-17 生活排水別人口予測結果

単位:人									
年 度		計画人口	水洗化・生活雑排水処理人口					水洗化 ・生活雑排水 未処理人口 (単独処理 浄化槽)	非水洗化 人口 (汲み取り 人口・自己 処理人口)
			公共 下水道	合併処理 浄化槽	農業集落 排水人口	計	処理率		
実 績	H26	10,807	1,027	7,803	0	8,830	81.7%	693	1,284
	H27	10,647	1,077	7,714	0	8,791	82.6%	651	1,205
	H28	10,471	1,132	7,697	0	8,829	84.3%	603	1,039
	H29	10,244	1,198	7,658	0	8,856	86.5%	551	837
	H30	10,005	1,210	7,503	0	8,713	87.1%	523	769
予 測	R1	9,918	1,223	7,533	0	8,756	88.3%	487	675
	R2	9,831	1,234	7,543	0	8,777	89.3%	457	597
	R3	9,744	1,245	7,540	0	8,785	90.2%	429	530
	R4	9,657	1,256	7,526	0	8,782	90.9%	403	472
	R5	9,570	1,267	7,501	0	8,768	91.6%	380	422
	R6	9,483	1,278	7,468	0	8,746	92.2%	359	378
	R7	9,396	1,289	7,427	0	8,716	92.8%	340	340
	R8	9,309	1,300	7,380	0	8,680	93.2%	322	307
	R9	9,222	1,291	7,349	0	8,640	93.7%	305	277
	R10	9,135	1,283	7,311	0	8,594	94.1%	290	251
	R11	9,048	1,274	7,271	0	8,545	94.4%	275	228
	R12	8,961	1,265	7,226	0	8,491	94.8%	262	208
	R13	8,874	1,257	7,177	0	8,434	95.0%	250	190
	R14	8,787	1,248	7,127	0	8,375	95.3%	238	174
	R15	8,700	1,239	7,074	0	8,313	95.6%	228	159
	R16	8,613	1,231	7,018	0	8,249	95.8%	218	146
予測根拠		①	②	③	④	⑤=	⑥=	⑦	⑧
		将来人口	公共下水道計画より	①-②-⑦-⑧		②+③+④	⑤÷①	推計より	推計より

※各年度3月31日実績

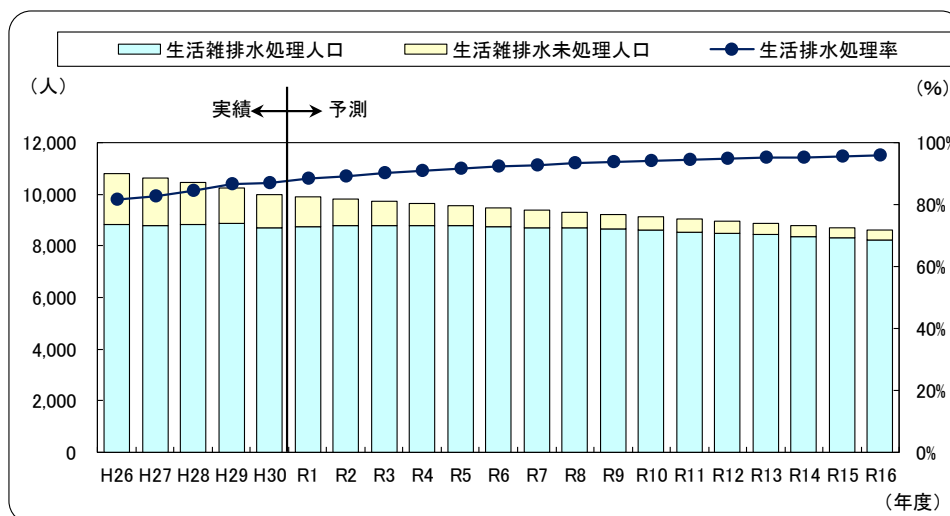


表 3-18 公共下水道人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)						公共下水道計画
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值	
H26	1,027	R1	1,275	1,269	1,283	1,277	1,262	1,223	-
H27	1,077	R2	1,324	1,313	1,340	1,328	1,300	1,234	-
H28	1,132	R3	1,372	1,355	1,400	1,378	1,335	1,245	-
H29	1,198	R4	1,421	1,395	1,462	1,429	1,368	1,256	-
H30	1,210	R5	1,470	1,435	1,527	1,481	1,400	1,267	-
		R6	1,518	1,473	1,595	1,532	1,430	1,278	-
		R7	1,567	1,511	1,666	1,584	1,458	1,289	-
		R8	1,616	1,547	1,740	1,636	1,484	1,300	1,300
		R9	1,665	1,583	1,817	1,689	1,510	1,291	-
		R10	1,713	1,617	1,897	1,742	1,534	1,283	-
		R11	1,762	1,651	1,982	1,795	1,557	1,274	-
		R12	1,811	1,684	2,070	1,849	1,578	1,265	-
		R13	1,859	1,716	2,162	1,902	1,599	1,257	-
		R14	1,908	1,747	2,258	1,956	1,619	1,248	-
		R15	1,957	1,778	2,358	2,011	1,638	1,239	-
		R16	2,005	1,808	2,463	2,065	1,656	1,231	-
		R17	2,054	1,837	2,572	2,120	1,673	1,222	-
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$		
a=	-234.8000		-3415.1864	333.8076	19.5261	2470.8078			
b=	48.7000		1364.1810	0.0434	1.2174	-37480.1780			
r ² =	0.9705		0.9745	0.9681	0.9730	0.9613			
採否								採用	

※各年度3月31日実績

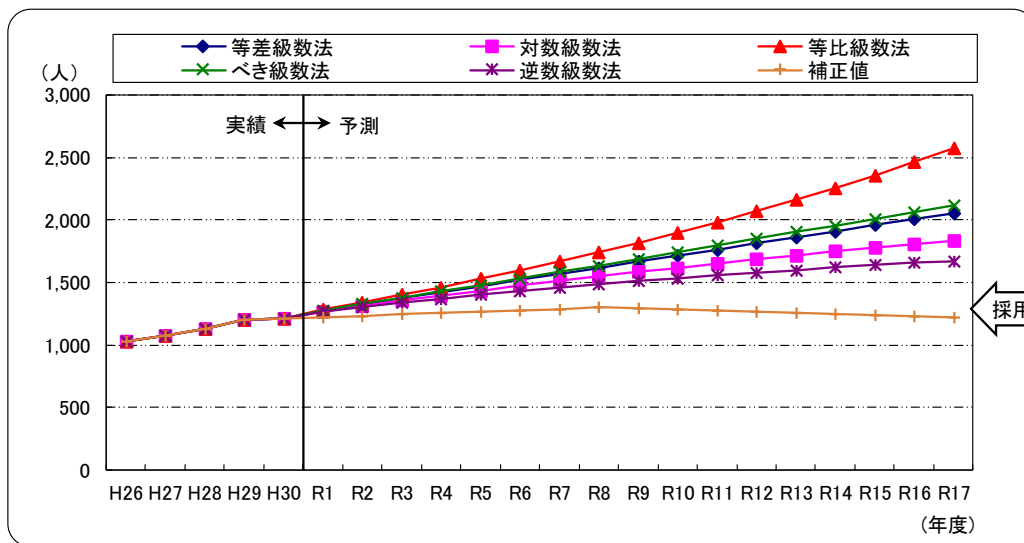


表 3-19 単独浄化槽人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	693	R1	472	477	483	487	484
H27	651	R2	428	438	449	457	450
H28	603	R3	384	400	417	429	418
H29	551	R4	340	364	388	403	388
H30	523	R5	296	328	361	380	360
		R6	252	293	335	359	333
		R7	208	260	312	340	308
		R8	164	227	290	322	284
		R9	120	195	269	305	261
		R10	76	164	250	290	239
		R11	32	133	233	275	219
		R12	-12	104	216	262	199
		R13	-56	75	201	250	180
		R14	-100	46	187	238	163
		R15	-144	19	174	228	146
		R16	-188	-8	162	218	129
		R17	-232	-35	150	208	114
式			$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
a=			1836.2000	4703.9786	4636.1333	536035.6985	-604.8182
b=			-44.0000	-1230.8224	-0.0730	-2.0395	33765.9882
r ² =			0.9928	0.9942	0.9942	0.9940	0.9778
採否						採用	

※各年度3月31日実績

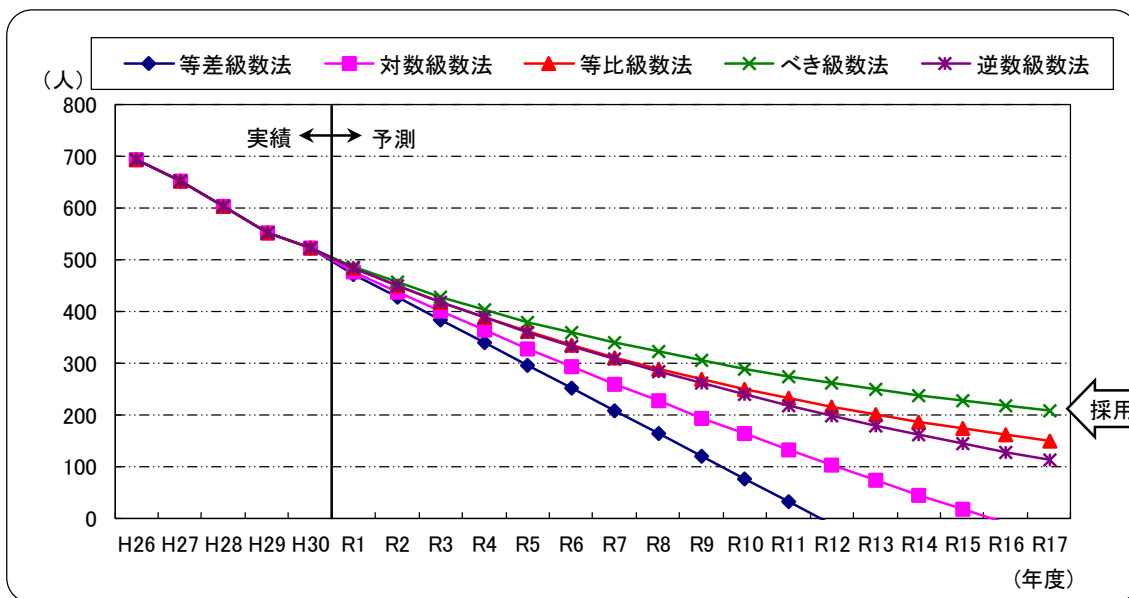
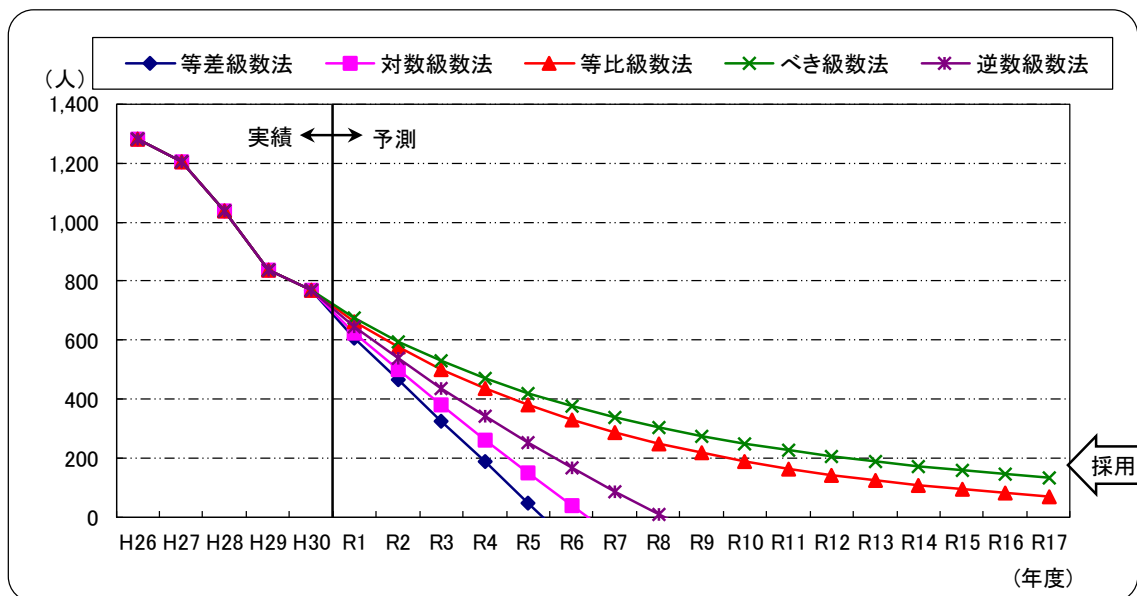


表 3-20 非水洗化人口の予測

年度	実績 (人口)	年度	推計結果(人)				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
H26	1,284	R1	607	624	664	675	647
H27	1,205	R2	468	500	577	597	539
H28	1,039	R3	328	380	503	530	438
H29	837	R4	188	263	437	472	342
H30	769	R5	48	150	381	422	253
		R6	-92	40	331	378	168
		R7	-231	-67	288	340	87
		R8	-371	-171	251	307	11
		R9	-511	-272	218	277	-61
		R10	-651	-371	190	251	-130
		R11	-791	-468	165	228	-195
		R12	-930	-562	144	208	-257
		R13	-1,070	-654	125	190	-316
		R14	-1,210	-744	109	174	-373
		R15	-1,350	-831	95	159	-427
		R16	-1,490	-917	83	146	-479
		R17	-1,629	-1,001	72	134	-528
		式	$Y=a+bx$	$Y=a+b\cdot\ln x$	$Y=a\cdot e^{bx}$	$Y=a\cdot x^b$	$Y=a+b/x$
		a=	4941.2000	14037.2938	49302.9564	410046323.4167	-2805.2890
		b=	-139.8000	-3905.9688	-0.1390	-3.8780	107024.2532
		r ² =	0.9746	0.9736	0.9698	0.9664	0.9552
		採否				採用	

※各年度3月31日実績



(2) 生し尿及び浄化槽汚泥の収集量の算出

構成市町毎にで平成 26 年度から平成 30 年度の直近 5 年間の実績の平均から 1 人 1 日当たりの収集量（原単位）を設定し、予測人口を掛け合わせて算出しました。

1) 玉名市

表 3-21 計画原単位の設定

区分\年度		H26	H27	H28	H29	H30	
収集人口 (人)	し 尿	4,589	4,363	4,144	3,976	3,818	
	単独浄化槽	3,727	3,606	3,550	3,464	3,381	
	合併浄化槽	3,589	3,568	3,543	3,524	3,410	
	浄化槽計	7,316	7,174	7,093	6,988	6,791	
収集量 (kL/年)	し 尿	3,006	2,918	2,897	2,813	2,667	
	浄化槽汚泥	8,033	8,065	8,089	8,024	8,238	
	計	11,039	10,983	10,986	10,837	10,905	平均
原単位 (L/人・日)	し 尿	1.79	1.83	1.92	1.94	1.91	1.88
	単独浄化槽	2.27	2.36	2.40	2.44	2.57	2.41
	合併浄化槽	3.77	3.81	3.85	3.84	4.07	3.87

※各年度3月31日実績

注) 単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の各原単位は、以下の方法により求めた。

し尿処理施設構造指針解説の原単位(単独処理浄化槽汚泥:0.75、合併処理浄化槽汚泥:1.2)

$$c:d=0.75:1.2$$

$$\text{単独+合併処理浄化槽汚泥量(kL/年)}=(a \times c + b \times d) \times 365 \text{日} \times 10^{-3}$$

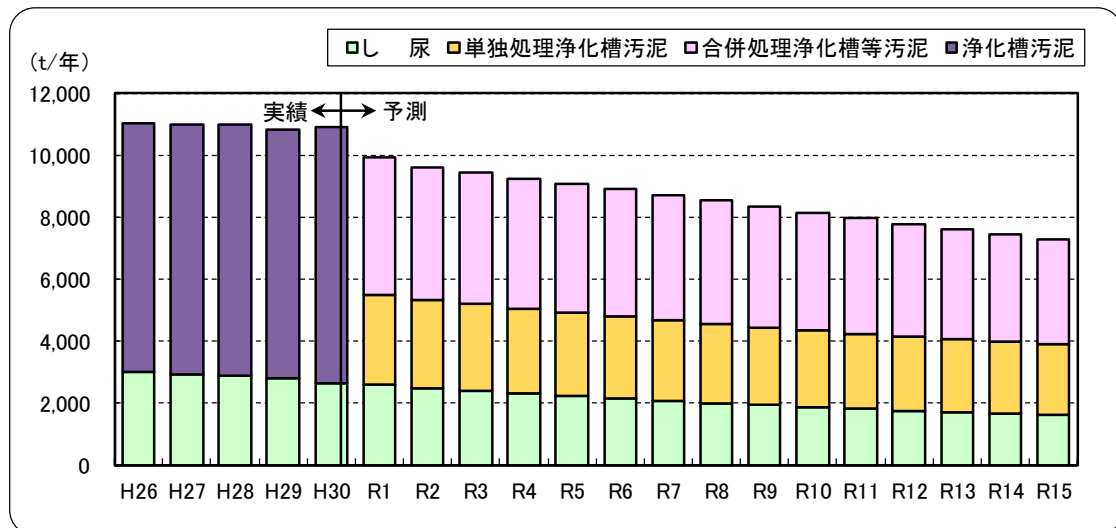
単独処理浄化槽人口:a、合併処理浄化槽人口:b

単独処理浄化槽原単位:c、合併処理浄化槽原単位:d

表 3-22 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果

年 度	し 尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計	合 計	
	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)		(kL/年)	(kL/日)
実 績	H26	4,736	1.79	3,006	3,727	2.27	－	3,589	3.77	－	8,033	11,039 30.2
	H27	4,505	1.83	2,918	3,606	2.36	－	3,568	3.81	－	8,065	10,983 30.1
	H28	4,284	1.92	2,897	3,550	2.40	－	3,543	3.85	－	8,089	10,986 30.1
	H29	4,112	1.94	2,813	3,464	2.44	－	3,524	3.84	－	8,024	10,837 29.7
	H30	3,951	1.91	2,667	3,381	2.57	－	3,410	4.07	－	8,238	10,905 29.9
予 測	R1	3,780	1.88	2,594	3,312	2.41	2,913	3,120	3.87	4,407	7,320	9,914 27.2
	R2	3,631	1.88	2,492	3,243	2.41	2,853	3,009	3.87	4,250	7,103	9,595 26.3
	R3	3,492	1.88	2,396	3,178	2.41	2,796	2,997	3.87	4,233	7,029	9,425 25.8
	R4	3,362	1.88	2,307	3,116	2.41	2,741	2,976	3.87	4,204	6,945	9,252 25.3
	R5	3,240	1.88	2,223	3,058	2.41	2,690	2,948	3.87	4,164	6,854	9,077 24.9
	R6	3,127	1.88	2,146	3,002	2.41	2,641	2,911	3.87	4,112	6,753	8,899 24.4
	R7	3,020	1.88	2,072	2,948	2.41	2,593	2,870	3.87	4,054	6,647	8,719 23.9
	R8	2,919	1.88	2,003	2,897	2.41	2,548	2,819	3.87	3,982	6,530	8,533 23.4
	R9	2,825	1.88	1,939	2,848	2.41	2,505	2,762	3.87	3,901	6,406	8,345 22.9
	R10	2,735	1.88	1,877	2,801	2.41	2,464	2,703	3.87	3,818	6,282	8,159 22.4
	R11	2,651	1.88	1,819	2,756	2.41	2,424	2,637	3.87	3,725	6,149	7,968 21.8
	R12	2,571	1.88	1,764	2,712	2.41	2,386	2,569	3.87	3,629	6,015	7,779 21.3
	R13	2,495	1.88	1,712	2,671	2.41	2,350	2,512	3.87	3,548	5,898	7,610 20.8
	R14	2,423	1.88	1,663	2,631	2.41	2,314	2,451	3.87	3,462	5,776	7,439 20.4
	R15	2,355	1.88	1,616	2,592	2.41	2,280	2,394	3.87	3,382	5,662	7,278 19.9
予測根拠	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	将来 人口	過去 5年 平均	①×② × 365日	予測 結果	過去 5年 平均	④×⑤ × 365日	予測 結果	過去 5年 平均	⑦×⑧ × 365日	⑥+⑨	③+⑩	365日 平均

※各年度3月31日実績



2) 玉東町

表 3-23 計画原単位の設定

区分\年度		H26	H27	H28	H29	H30	
収集人口 (人)	し 尿	632	587	311	292	282	
	単独浄化槽	1,881	1,838	1,800	1,736	1,726	
	合併浄化槽	2,931	3,009	3,224	3,240	3,260	
	浄化槽計	4,812	4,847	5,024	4,976	4,986	
収集量 (kL/年)	し 尿	812	780	733	691	676	
	浄化槽汚泥	3,323	3,404	3,451	3,235	3,228	
	計	4,135	4,184	4,184	3,926	3,904	平均
原単位 (L/人・日)	し 尿	3.52	3.64	6.46	6.48	6.57	5.33
	単独浄化槽	1.86	1.95	2.02	1.96	1.97	1.95
	合併浄化槽	1.91	1.91	1.80	1.68	1.67	1.79

※各年度3月31日実績

注) 単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の各原単位は、以下の方法により求めた。

し尿処理施設構造指針解説の原単位(単独処理浄化槽汚泥:0.75、合併処理浄化槽汚泥:1.2)

$$c:d=0.75:1.2$$

$$\text{単独+合併処理浄化槽汚泥量(kL/年)}=(a \times c + b \times d) \times 365 \text{日} \times 10^{-3}$$

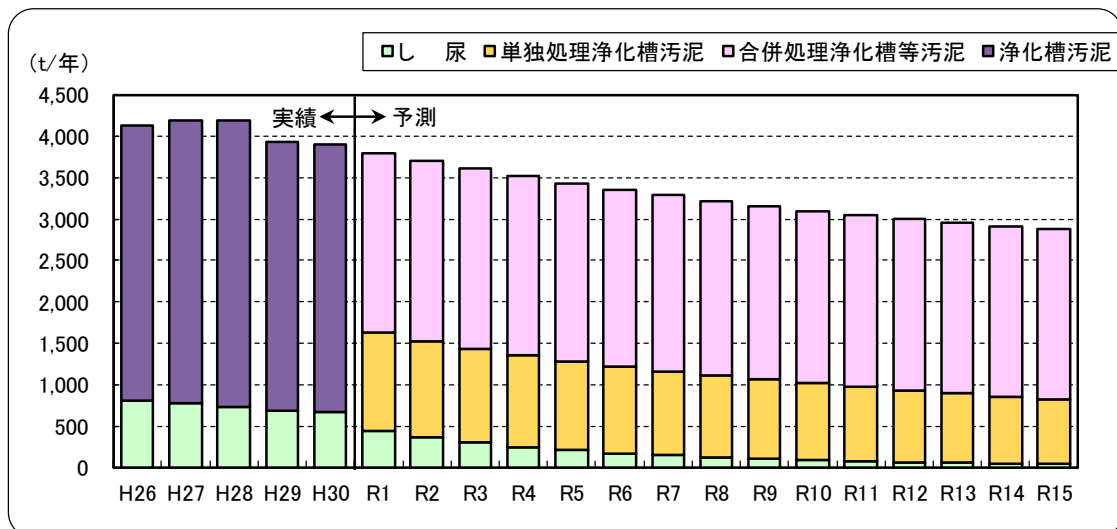
単独処理浄化槽人口:a、合併処理浄化槽人口:b

単独処理浄化槽原単位:c、合併処理浄化槽原単位:d

表 3-24 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果

年 度		し 尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計 合計 (kL/年)	合 計	
		人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量			
		(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)		(kL/年)	(kL/年)
実 績	H26	664	3.52	812	1,881	1.86	－	2,931	1.91	－	3,323	4,135	11.3
	H27	616	3.64	780	1,838	1.95	－	3,009	1.91	－	3,404	4,184	11.5
	H28	339	6.46	733	1,800	2.02	－	3,224	1.80	－	3,451	4,184	11.5
	H29	319	6.48	691	1,736	1.96	－	3,240	1.68	－	3,235	3,926	10.8
	H30	309	6.57	676	1,726	1.97	－	3,260	1.67	－	3,228	3,904	10.7
予 測	R1	225	5.33	438	1,673	1.95	1,191	3,324	1.79	2,172	3,363	3,801	10.4
	R2	185	5.33	360	1,631	1.95	1,161	3,334	1.79	2,178	3,339	3,699	10.1
	R3	153	5.33	298	1,590	1.95	1,132	3,328	1.79	2,174	3,306	3,604	9.9
	R4	128	5.33	249	1,549	1.95	1,103	3,314	1.79	2,165	3,268	3,517	9.6
	R5	107	5.33	208	1,508	1.95	1,073	3,297	1.79	2,154	3,227	3,435	9.4
	R6	90	5.33	175	1,467	1.95	1,044	3,275	1.79	2,140	3,184	3,359	9.2
	R7	76	5.33	148	1,425	1.95	1,014	3,252	1.79	2,125	3,139	3,287	9.0
	R8	64	5.33	125	1,384	1.95	985	3,226	1.79	2,108	3,093	3,218	8.8
	R9	55	5.33	107	1,343	1.95	956	3,196	1.79	2,088	3,044	3,151	8.6
	R10	47	5.33	91	1,302	1.95	927	3,165	1.79	2,068	2,995	3,086	8.5
	R11	40	5.33	78	1,261	1.95	898	3,161	1.79	2,065	2,963	3,041	8.3
	R12	35	5.33	68	1,219	1.95	868	3,157	1.79	2,063	2,931	2,999	8.2
	R13	30	5.33	58	1,178	1.95	838	3,152	1.79	2,059	2,897	2,955	8.1
	R14	26	5.33	51	1,137	1.95	809	3,145	1.79	2,055	2,864	2,915	8.0
	R15	23	5.33	45	1,096	1.95	780	3,138	1.79	2,050	2,830	2,875	7.9
予測根拠		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		将来人口	過去5年平均	①×② × 365日	予測結果	過去5年平均	④×⑤ × 365日	予測結果	過去5年平均	⑦×⑧ × 365日	⑥＋⑨	③＋⑩	365日平均

※各年度3月31日実績



3) 南関町

表 3-25 計画原単位の設定

区分\年度		H26	H27	H28	H29	H30	
収集人口 (人)	し 尿	4,571	4,276	4,254	4,067	4,022	
	単独浄化槽	645	605	567	543	515	
	合併浄化槽	3,539	3,548	3,586	3,597	3,645	
	浄化槽計	4,184	4,153	4,153	4,140	4,160	
収集量 (kL/年)	し 尿	4,302	4,157	4,407	3,663	3,797	
	浄化槽汚泥	4,118	4,202	4,303	4,347	4,484	
	計	8,420	8,359	8,710	8,010	8,281	平均
原単位 (L/人・日)	し 尿	2.58	2.66	2.84	2.47	2.59	2.63
	単独浄化槽	6.73	7.32	8.00	8.44	9.17	7.93
	合併浄化槽	1.96	2.00	2.02	2.04	2.07	2.02

※各年度3月31日実績

注) 単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の各原単位は、以下の方法により求めた。

し尿処理施設構造指針解説の原単位(単独処理浄化槽汚泥:0.75、合併処理浄化槽汚泥:1.2)

$c:d=0.75:1.2$

単独+合併処理浄化槽汚泥量(kL/年) $= (a \times c + b \times d) \times 365 \text{日} \times 10^{-3}$

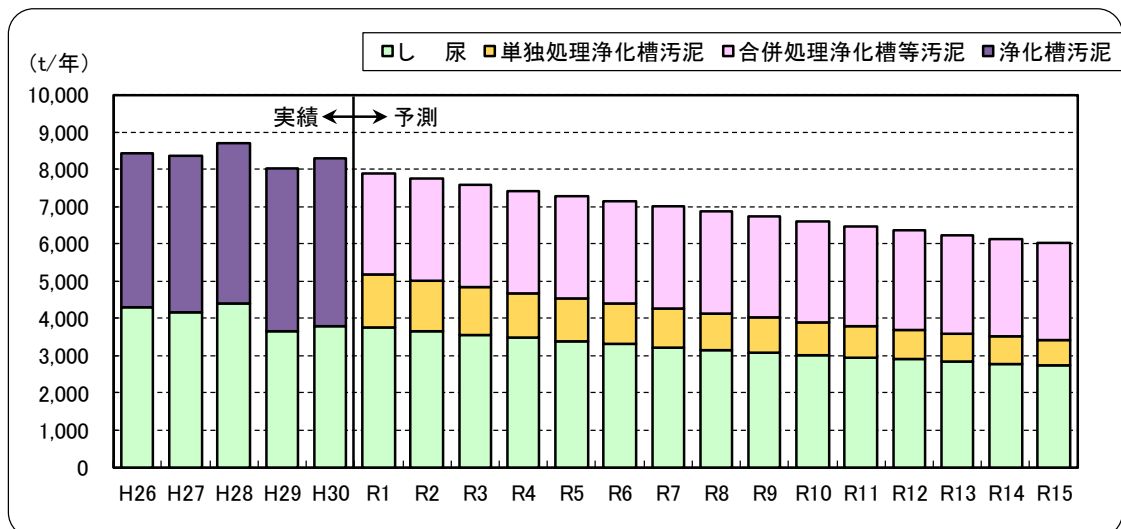
単独処理浄化槽人口:a、合併処理浄化槽人口:b

単独処理浄化槽原単位:c、合併処理浄化槽原単位:d

表 3-26 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果

年 度	し 尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計	合 計	
	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)	人 口 (人)	原単位 (L/人・日)	収集量 (kL/年)			
実 績	H26	4,628	2.58	4,302	645	6.73	－	3,539	1.96	－	4,118	8,420 23.1
	H27	4,328	2.66	4,157	605	7.32	－	3,548	2.00	－	4,202	8,359 22.9
	H28	4,304	2.84	4,407	567	8.00	－	3,586	2.02	－	4,303	8,710 23.9
	H29	4,116	2.47	3,663	543	8.44	－	3,597	2.04	－	4,347	8,010 21.9
	H30	4,070	2.59	3,797	515	9.17	－	3,645	2.07	－	4,484	8,281 22.7
予 測	R1	3,920	2.63	3,763	487	7.93	1,410	3,705	2.02	2,732	4,142	7,905 21.7
	R2	3,815	2.63	3,662	462	7.93	1,337	3,718	2.02	2,741	4,078	7,740 21.2
	R3	3,715	2.63	3,566	439	7.93	1,271	3,720	2.02	2,743	4,014	7,580 20.8
	R4	3,620	2.63	3,475	417	7.93	1,207	3,720	2.02	2,743	3,950	7,425 20.3
	R5	3,531	2.63	3,390	396	7.93	1,146	3,717	2.02	2,741	3,887	7,277 19.9
	R6	3,446	2.63	3,308	376	7.93	1,088	3,714	2.02	2,738	3,826	7,134 19.5
	R7	3,366	2.63	3,231	358	7.93	1,036	3,705	2.02	2,732	3,768	6,999 19.2
	R8	3,289	2.63	3,157	340	7.93	984	3,690	2.02	2,721	3,705	6,862 18.8
	R9	3,216	2.63	3,087	323	7.93	935	3,674	2.02	2,709	3,644	6,731 18.4
	R10	3,147	2.63	3,021	307	7.93	889	3,655	2.02	2,695	3,584	6,605 18.1
	R11	3,081	2.63	2,958	292	7.93	845	3,634	2.02	2,679	3,524	6,482 17.8
	R12	3,017	2.63	2,896	278	7.93	805	3,614	2.02	2,665	3,470	6,366 17.4
	R13	2,957	2.63	2,839	264	7.93	764	3,583	2.02	2,642	3,406	6,245 17.1
	R14	2,899	2.63	2,783	251	7.93	727	3,549	2.02	2,617	3,344	6,127 16.8
	R15	2,843	2.63	2,729	239	7.93	692	3,515	2.02	2,592	3,284	6,013 16.5
予測根拠	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	将来 人口	過去 5年 平均	①×② × 365日	予測 結果	過去 5年 平均	④×⑤ × 365日	予測 結果	過去 5年 平均	⑦×⑧ × 365日	⑥+⑨	③+⑩	365日 平均

※各年度3月31日実績



4) 長洲町

表 3-27 計画原単位の設定

区分\年度		H26	H27	H28	H29	H30	
収集人口 (人)	し 尿	1,966	1,865	1,733	1,697	1,569	
	単独浄化槽	330	270	247	232	212	
	合併浄化槽	291	251	235	210	192	
	浄化槽計	621	521	482	442	404	
収集量 (kL/年)	し 尿	1,981	1,911	1,798	1,685	1,619	
	浄化槽汚泥	1,834	1,832	1,805	1,814	1,786	
	計	3,815	3,743	3,603	3,499	3,405	平均
原単位 (L/人・日)	し 尿	2.76	2.81	2.84	2.72	2.83	2.79
	単独浄化槽	5.86	7.15	7.70	8.24	8.88	7.57
	合併浄化槽	10.63	12.31	12.95	14.56	15.68	13.23

※各年度3月31日実績

注) 単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の各原単位は、以下の方法により求めた。

し尿処理施設構造指針解説の原単位(単独処理浄化槽汚泥:0.75、合併処理浄化槽汚泥:1.2)

$$c:d=0.75:1.2$$

$$\text{単独+合併処理浄化槽汚泥量(kL/年)} = (a \times c + b \times d) \times 365 \text{日} \times 10^{-3}$$

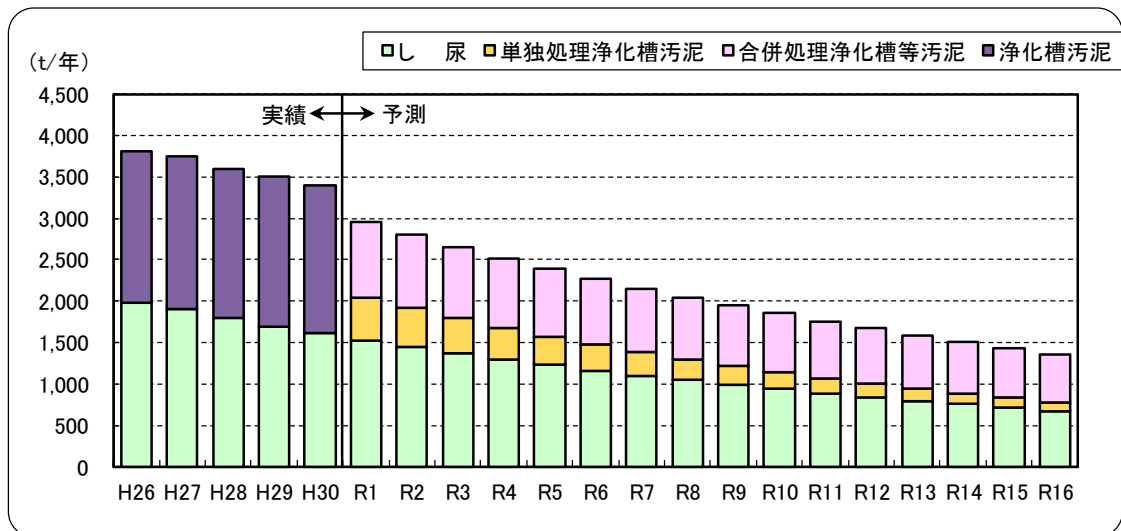
単独処理浄化槽人口:a、合併処理浄化槽人口:b

単独処理浄化槽原単位:c、合併処理浄化槽原単位:d

表 3-28 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果

年 度		し 尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計	合 計	
		人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量			
		(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)		(kL/年)	(kL/年)
実 績	H26	1,975	2.76	1,981	330	5.86	－	291	10.63	－	1,834	3,815	10.5
	H27	1,873	2.81	1,911	270	7.15	－	251	12.31	－	1,832	3,743	10.3
	H28	1,741	2.84	1,798	247	7.70	－	235	12.95	－	1,805	3,603	9.9
	H29	1,705	2.72	1,685	232	8.24	－	210	14.56	－	1,814	3,499	9.6
	H30	1,577	2.83	1,619	212	8.88	－	192	15.68	－	1,786	3,405	9.3
予 測	R1	1,502	2.79	1,530	187	7.57	517	188	13.23	905	1,422	2,952	8.1
	R2	1,423	2.79	1,449	169	7.57	467	183	13.23	884	1,351	2,800	7.7
	R3	1,348	2.79	1,373	152	7.57	420	179	13.23	862	1,282	2,655	7.3
	R4	1,276	2.79	1,299	137	7.57	379	174	13.23	840	1,219	2,518	6.9
	R5	1,209	2.79	1,231	124	7.57	343	170	13.23	819	1,162	2,393	6.6
	R6	1,145	2.79	1,166	111	7.57	307	165	13.23	797	1,104	2,270	6.2
	R7	1,084	2.79	1,104	100	7.57	276	161	13.23	775	1,051	2,155	5.9
	R8	1,027	2.79	1,046	90	7.57	249	156	13.23	753	1,002	2,048	5.6
	R9	972	2.79	990	82	7.57	227	152	13.23	732	959	1,949	5.3
	R10	921	2.79	938	74	7.57	204	147	13.23	710	914	1,852	5.1
	R11	872	2.79	888	66	7.57	182	143	13.23	688	870	1,758	4.8
	R12	826	2.79	841	60	7.57	166	138	13.23	666	832	1,673	4.6
	R13	782	2.79	796	54	7.57	149	134	13.23	645	794	1,590	4.4
	R14	741	2.79	755	49	7.57	135	129	13.23	623	758	1,513	4.1
	R15	701	2.79	714	44	7.57	122	125	13.23	601	723	1,437	3.9
	R16	664	2.79	676	39	7.57	108	120	13.23	579	687	1,363	3.7
予測根拠		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		将来人口	過去5年平均	①×② × 365日	予測結果	過去5年平均	④×⑤ × 365日	予測結果	過去5年平均	⑦×⑧ × 365日	⑥＋⑨	③＋⑩	365日平均

※各年度3月31日実績



5) 和水町

表 3-29 計画原単位の設定

区分\年度		H26	H27	H28	H29	H30	
収集人口 (人)	し 尿	1,255	1,178	1,012	811	744	
	単独浄化槽	693	651	603	551	523	
	合併浄化槽	7,803	7,714	7,697	7,658	7,503	
	浄化槽計	8,496	8,365	8,300	8,209	8,026	
収集量 (kL/年)	し 尿	1,795	1,775	1,733	1,632	1,556	
	浄化槽汚泥	5,294	5,309	5,178	5,206	5,311	
	計	7,089	7,084	6,911	6,838	6,867	平均
原単位 (L/人・日)	し 尿	3.92	4.13	4.69	5.51	5.73	4.80
	単独浄化槽	8.05	8.59	9.05	9.96	10.70	9.27
	合併浄化槽	1.14	1.16	1.13	1.15	1.19	1.15

※各年度3月31日実績

注) 単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の各原単位は、以下の方法により求めた。

し尿処理施設構造指針解説の原単位(単独処理浄化槽汚泥:0.75、合併処理浄化槽汚泥:1.2)

$c:d=0.75:1.2$

単独+合併処理浄化槽汚泥量(kL/年) $= (a \times c + b \times d) \times 365 \text{日} \times 10^{-3}$

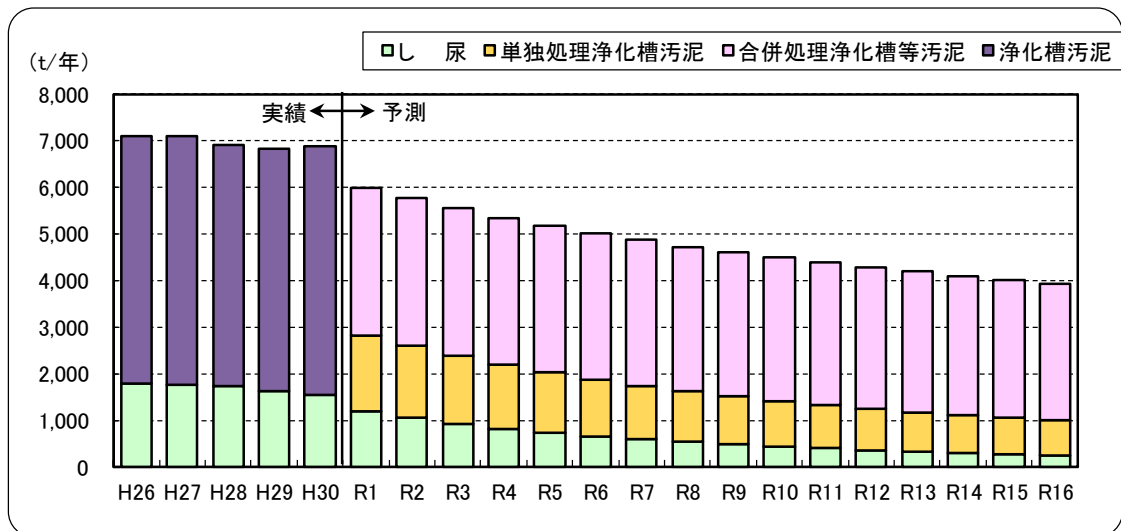
単独処理浄化槽人口:a、合併処理浄化槽人口:b

単独処理浄化槽原単位:c、合併処理浄化槽原単位:d

表 3-30 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果

年 度		し 尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計	合 計	
		人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量	人 口	原単位	収集量			
		(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)		(kL/年)	(kL/年)
実 績	H26	1,284	3.92	1,795	693	8.05	－	7,803	1.14	－	5,294	7,089	19.4
	H27	1,205	4.13	1,775	651	8.59	－	7,714	1.16	－	5,309	7,084	19.4
	H28	1,039	4.69	1,733	603	9.05	－	7,697	1.13	－	5,178	6,911	18.9
	H29	837	5.51	1,632	551	9.96	－	7,658	1.15	－	5,206	6,838	18.7
	H30	769	5.73	1,556	523	10.70	－	7,503	1.19	－	5,311	6,867	18.8
予 測	R1	675	4.80	1,183	487	9.27	1,648	7,533	1.15	3,162	4,810	5,993	16.4
	R2	597	4.80	1,046	457	9.27	1,546	7,543	1.15	3,166	4,712	5,758	15.8
	R3	530	4.80	929	429	9.27	1,452	7,540	1.15	3,165	4,617	5,546	15.2
	R4	472	4.80	827	403	9.27	1,364	7,526	1.15	3,159	4,523	5,350	14.7
	R5	422	4.80	739	380	9.27	1,286	7,501	1.15	3,149	4,435	5,174	14.2
	R6	378	4.80	662	359	9.27	1,215	7,468	1.15	3,135	4,350	5,012	13.7
	R7	340	4.80	596	340	9.27	1,150	7,427	1.15	3,117	4,267	4,863	13.3
	R8	307	4.80	538	322	9.27	1,090	7,380	1.15	3,098	4,188	4,726	12.9
	R9	277	4.80	485	305	9.27	1,032	7,349	1.15	3,085	4,117	4,602	12.6
	R10	251	4.80	440	290	9.27	981	7,311	1.15	3,069	4,050	4,490	12.3
	R11	228	4.80	399	275	9.27	930	7,271	1.15	3,052	3,982	4,381	12.0
	R12	208	4.80	364	262	9.27	886	7,226	1.15	3,033	3,919	4,283	11.7
	R13	190	4.80	333	250	9.27	846	7,177	1.15	3,013	3,859	4,192	11.5
	R14	174	4.80	305	238	9.27	805	7,127	1.15	2,992	3,797	4,102	11.2
	R15	159	4.80	279	228	9.27	771	7,074	1.15	2,969	3,740	4,019	11.0
	R16	146	4.80	256	218	9.27	738	7,018	1.15	2,946	3,684	3,940	10.8
予測根拠		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		将来人口	過去5年平均	①×② × 365日	予測結果	過去5年平均	④×⑤ × 365日	予測結果	過去5年平均	⑦×⑧ × 365日	⑥＋⑨	③＋⑩	365日平均

※各年度3月31日実績



6) 組合管内

表 3-31 し尿及び浄化槽汚泥量の予測結果（組合管内全体）

年 度		し　尿			単独処理浄化槽汚泥			合併処理浄化槽等汚泥			浄化槽 汚泥 合計	合　計	
		人　口	原単位	収集量	人　口	原単位	収集量	人　口	原単位	収集量			
		(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(人)	(L/人・日)	(kL/年)	(kL/年)	(kL/日)	
実績	H26	13,287	2.45	11,896	7,276	24.77	0	18,153	19.41	0	22,602	34,498	94.5
	H27	12,527	2.52	11,541	6,970	27.37	0	18,090	3.81	0	22,812	34,353	94.1
	H28	11,707	2.71	11,568	6,767	29.17	0	18,285	3.85	0	22,826	34,394	94.2
	H29	11,089	2.59	10,484	6,526	31.04	0	18,229	3.84	0	22,626	33,110	90.7
	H30	10,676	2.65	10,315	6,357	33.29	0	18,010	4.07	0	23,047	33,362	91.4
予測	R1	10,102	2.58	9,508	6,146	3.42	7,679	17,870	2.05	13,378	21,057	30,565	83.7
	R2	9,651	2.56	9,009	5,962	3.38	7,364	17,787	2.04	13,219	20,583	29,592	81.1
	R3	9,238	2.54	8,562	5,788	3.35	7,071	17,763	2.03	13,177	20,248	28,810	78.9
	R4	8,858	2.52	8,157	5,622	3.31	6,794	17,710	2.03	13,111	19,905	28,062	76.9
	R5	8,509	2.51	7,791	5,466	3.28	6,538	17,633	2.02	13,027	19,565	27,356	74.9
	R6	8,186	2.50	7,457	5,315	3.24	6,295	17,533	2.02	12,922	19,217	26,674	73.1
	R7	7,886	2.48	7,151	5,171	3.22	6,069	17,415	2.01	12,803	18,872	26,023	71.3
	R8	7,606	2.47	6,869	5,033	3.19	5,856	17,271	2.01	12,662	18,518	25,387	69.6
	R9	7,345	2.46	6,608	4,901	3.16	5,655	17,132	2.00	12,515	18,170	24,778	67.9
	R10	7,101	2.46	6,367	4,774	3.14	5,465	16,981	1.99	12,360	17,825	24,192	66.3
	R11	6,872	2.45	6,142	4,650	3.11	5,279	16,846	1.99	12,209	17,488	23,630	64.7
	R12	6,657	2.44	5,933	4,531	3.09	5,111	16,704	1.98	12,056	17,167	23,100	63.3
	R13	6,454	2.44	5,738	4,417	3.07	4,947	16,558	1.97	11,907	16,854	22,592	61.9
	R14	6,263	2.43	5,557	4,306	3.05	4,790	16,401	1.96	11,749	16,539	22,096	60.5
	R15	6,081	2.43	5,383	4,199	3.03	4,645	16,246	1.96	11,594	16,239	21,622	59.2

※各年度3月31日実績

